

仙台市博物館年報

第 49 号

令和 3 年度

目 次

ごあいさつ

1. 令和3年度の事業について	2
概要／新型コロナウイルス感染症への対応／令和3年2月13日の福島県 沖地震による被害とその対応／令和4年3月16日の福島県沖地震による 被害とその対応	
2. 大規模改修工事に伴う休館中の取り組み	6
大規模改修工事の実施／休館中の取り組み	
3. 展示	9
常設展示／国指定文化財の公開／特別展・企画展	
4. 資料の収集保管	35
受贈資料／購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／ 写真資料の貸出・利用／収蔵指定文化財一覧／収蔵資料一覧	
5. 教育・普及	41
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／ 学校教育との連携／生涯学習施設との連携(SMMA・歴ネット)／ 広報・情報発信／刊行物・グッズ等	
6. 調査・研究	57
7. 仙台市史活用推進事業	61
8. ボランティア	64
9. 友の会	66
10. 大規模改修工事	67
11. 組織・予算・運営	68
組織・事務分掌／予算概要／職員／仙台市博物館協議会	
12. 利用状況	71
月別観覧者数／施設利用状況／講師等利用状況／視察対応状況	
13. 条例・規則・要綱等	73
仙台市博物館条例／仙台市博物館条例施行規則／仙台市博物館資料 取扱要綱／仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱	
仙台市博物館のあゆみ	82

ごあいさつ

昭和36年（1961）に開館した仙台市博物館は、令和3年（2021）に60周年の節目の年を迎えました。また、昭和61年（1986）に新たに開館した現在の建物も令和4年3月で丸36年が経過し、年月と共に建築や設備の老朽化が進んでおり、これを改修し、施設の長寿命化を図るため、令和3年10月から令和6年3月まで休館して工事を行っております。利用者の皆様には大変なご不便をおかけしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、前年同様、新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威をふるい続けました。当館も仙台市の方針に基づき、5月11日まで臨時休館いたしました。5月12日より感染症対策を講じて開館いたしました。

一方、地震の影響も深刻でした。令和3年2月13日に発生した福島県沖地震によって、建物と設備に被害があり、その点検調査と修繕のために臨時休館を余儀なくされ、4月の開館を目指しましたが、上述の通り5月11日まで休館は延長されました。さらに、令和4年3月16日には、再び福島県沖を震源とする地震があり、建物と設備に被害を受けました。この修繕については、大規模改修工事との調整を図りながら実施する予定です。

以上のような状況により、令和3年度の博物館活動は大きな制限を受けるなかでのものとなりましたが、多くの方々のご理解ご協力と、職員の工夫により様々な事業を行うことができました。

展覧会は、まず5月から6月にかけて企画展「たっぷり わくわく 名品尽し」を開催しました。これは開館60周年を記念したもので、当館の主要な資料について、その魅力をお客様が主体的に発見できるような工夫を散りばめて展示しました。また、7月から9月にかけては特別展「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」を開催しました。世界的にも知られた優れたコレクションを、たくさんのお客様に楽しんでいただくことができました。

教育普及事業では、感染症の状況により中止となった事業がある一方で、対策を講じて実施できた講座やイベントもありました。また、年度後半から休館に入ることを踏まえ、情報発信に一層力を入れました。例えば、資料の特色を伝える動画を制作・配信し、アプリ「ポケット学芸員」による資料解説も始めました。ミュージアムの連携組織である、SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）や仙台歴史ミュージアムネットワーク（歴ネット）の枠組みを活用して、仙台の伝統門松に関わる映像作品も制作・配信しました。

仙台市史活用推進事業では、各種講座を開催したほか、最終号となる『市史せんだい Vol. 30』を発行して、市史編さん事業の成果の総括と普及に努めました。東日本大震災に関わる資料レスキュー活動等を紹介するパネル展示も、他館に会場を借りて実施しました。

長期の休館とはなりますが、様々な活動を通して、博物館の資料をご覧いただく機会を提供し、また、これまで蓄積してきた調査研究の成果をお届けできるよう、これまで以上に努めてまいりますので、引き続き当館の活動にご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

仙台市博物館
館長 今井 吏

1. 令和3年度の事業について

概要

令和3年度は、当館の開館60周年となる節目の年であり、また、現施設（新館）の建築から35年を経過し、老朽化した設備等の2年半に及ぶ大規模改修の始まりの年でもある。そのようななか、当館事業に影響を及ぼす3つの大きな出来事があり、それぞれについて対応を迫られることとなった。ひとつは令和元年度からの新型コロナウイルス感染症の流行であり、あとのふたつは、令和3年2月13日および令和4年3月16日に発生した福島県沖地震である。これらに関わる主な事項を時系列でたどると次のようになる。

令和3年4月1日～5月11日

臨時休館（令和3年2月13日に発生した福島県沖地震による被害箇所の修繕および新型コロナウイルスまん延防止等重点措置に伴う感染拡大防止のため2月14日から休館。市有各施設は感染症対策のため3月26・27日～5月11日臨時休館）。

5月12日～6月20日

再開館。感染防止対策を講じた上で企画展「開館60周年記念祭「たっぷり わくわく 名品尽し」開催（総合展示室は地震被害のため引き続き閉室。なお、レストラン・ミュージアムショップの運営事業者が令和3年3月31日をもって撤退したため、レストラン・ミュージアムショップは休業）。

6月21日～7月8日

臨時休館（展示替えのため）。

7月9日～9月5日

再開館。感染防止対策を講じた上で特別展「古代エジプト展」開催（8月12日から県・市の緊急事態宣言発令、8月20日からまん延防止等重点措置適用、8月26日から国の緊急事態宣言発令のもと、感染防止対策および入場規制の徹底により対応した。市有各施設は8月26・27日～9月12日臨時休館）。

9月6日～9月13日

臨時休館（感染拡大防止のため。13日は月曜日のため通常休館）。

9月14日～9月30日

再開館（長期休館を踏まえ9月24日、27日は臨時休館）。

10月1日～（令和6年3月31日（予定））

大規模改修工事に伴う休館。

令和4年3月16日

福島県沖地震発生（総合展示室の展示ケース、館内の石壁等が被災）。

以下、これらの出来事について当館の状況と対応を述べる。

新型コロナウイルス感染症への対応

1. 対応体制の整備

通常業務とは別に感染症対策業務が種々必要となるため、令和2年度からの体制を継続するとともに、随時見直しを行った。その業務とは、(1)館内での感染拡大を防止する策を講じること、(2)博物館活動のガイドラインを更新すること、(3)事業の見直しを行うこと、(4)臨時休館中にも情報を発信する策を講じることなどである。

(1)は主に庶務係が担い、(2)～(4)は主に学芸企画室・学芸普及室が担った。また、それぞれの業務を束ねる対策本部会議を随時開催し、館としての方針を決定した。

2. 対応策の内容

(1) 館内の感染拡大防止策

① 衛生上の感染防止対策

宮城県内外から多数の来館者を迎える施設として、館内での感染拡大を防止するために以下の対策を講じた。

- ・自動手指消毒器等消毒液の設置
- ・トイレ洗面所の蛇口の一部自動化
- ・入口へのサーマルカメラ設置
- ・窓口カウンターへのアクリル板等の設置
- ・館内共有場所の定期的消毒
- ・観覧時の一定間隔確保の呼びかけ
- ・館内表示やホームページへの掲載によるマスクや咳エチケット等の協力の呼びかけ

② 施設・設備の利用制限

- ・ミニシアターの閉室（番組はロビーでモニター上映）
- ・プレイミュージアムを体験ではなく「見る展示」を主として開室
- ・情報資料センターの利用制限（人数・時間）
- ・水飲み場の閉鎖
- ・休憩スペースのソファ、椅子の削減

(2) 博物館活動のガイドライン更新

国や仙台市のガイドラインに示されている密閉・密集・密接を回避する考え方に基づき、前年度に策定した当館ガイドラインについて、国や市の動向を踏まえて随時見直し、更新した。

ガイドラインの主な点は以下のとおり。

- ①展示室について、各室とも観覧者同士の間隔を概ね2メートル確保することを目安に、観覧者数を制限する。
- ②講演会等について、参加者数の上限は、ホールを44名（定員204名）、講習室を21名（定員60名）とする。また、時間は60分程度以内とする。

(3) 事業の見直し

全国や宮城県の感染状況を踏まえ、かつ国や仙台市のガイドラインに基づきながら、予定していた事業を絶えず見直すことが求められ、感染防止対策を講じた上で実施した。以下にその要点を述べる（詳細は本年報の各項目を参照されたい）。

①展示

i 常設展示

前述のとおり、ミニシアターは令和2年度から引き続き閉室した。また、引き出し式の浮世絵展示ケースや、音声ガイドのサービス、タッチパネル式の情報検索システム等についても休止した。

ii 企画展・特別展

広範な広報によって多くの来館者を期待する企画展・特別展については感染防止対策を講じた上で開催した。特に来館者の多い特別展では、平日観覧割引の導入や土曜日夕方の開館時間延長、ツイッターでの混雑状況の周知などによる観覧者の分散来館を図り、また、展示室の収容人数に応じた入場規制を実施し、密集や密接防止を徹底した。

②教育・普及

i 講座・イベント

講座や講演会は、やむを得ず中止したのもあったが、募集人数を縮減し、感染防止対策を講じた上で開催したのもあった。また、対面式ではなく、オンラインでの配信型の講座も開催した（東北工業大学との連携による「まちなか博物館講座」など）。

イベントにおいても、密閉・密集・密接の状況を避け得るような企画を練り、感染防止対策を講じた上で開催した。

ii 学校教育との連携

学校団体の見学受け入れについては、人数を分散するなどの対策をお願いした。

学校教員対象の講座や研修や、学芸員資格取得を目指す学生を対象とする博物館実習も感染防止対策を講じた上で開催した。

③生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）の研修部会の一員として、ミュージアムでのバリアフリー対応をテーマに取り上げた研修会を開催した。

SMMA主催のミュージアムユニバースについては、昨年度は中止したが、本年度は開催。感染拡大防止のためにトークイベントの開催は見送ったものの、パネル展示やワークショップの開催などを通じて、ミュージアムの魅力や楽しさを伝えた。

また、仙台歴史ミュージアムネットワーク（歴ネット）では、「仙台の伝統的な門松」をつくるための四季折々の作業の様子を映像に収めて仙台市公式動画チャンネル「せんだいTube」（以下「せんだいTube」という。）で配信し、伝統門松の魅力を全国に向けて発信した。

④広報

新型コロナウイルスおよび地震により令和2年度から引き続き、当館の活動は休止もしくは変更を余儀なくされる事態が断続的に起きており、その周知を図るために「仙台市博物館だより」の内容・発行時期を変更し、また、ホームページやツイッターにより中止・変更等の周知を頻繁に行った。

⑤仙台市史活用推進事業

仙台市史講座や図書館連携講座は、昨年度と

同様に人数を縮減し、感染防止対策を講じた上で実施した。

また、令和2年度に開催を見送った座談会を令和3年7月に開催し、その内容を収録した『市史せんだい Vol.30』を発行した。

⑥ボランティア活動の支援

展示解説活動は対面式であるため、本年度も休止せざるを得なかった。なお、解説のための学習活動や、運営のための役員会は、令和2年度後半に再開したものの、令和3年2月13日の地震後の臨時休館によって一時休止。館再開後も感染拡大等の影響で学習活動は休止の状況が続いたが、役員会は7月以降2回開催した。

⑦友の会活動の支援

友の会会員向けの特別展の広報セミナーは、2回に分けて参加者数を分散させる方式で実施した（なお、5月および令和4年1月の広報セミナーは感染拡大によりやむなく延期した）。また、日帰り研修会は中止したが、他施設への見学セミナーは感染防止対策を講じた上で実施した。

(4) 情報発信

臨時休館があり、また開館したとしても、市民が外出を控える社会状況のなかで、博物館のもつ歴史・文化にまつわる情報を市民に届けるために、インターネットを用いた新たな手法の開拓を行った。

主なものとして、まず動画の制作・配信が挙げられる。昨年度に伊達武将隊と共同で制作した常設展示の一部を紹介する動画2本を5月から「せんだいTube」で配信した。

なお、大規模改修工事に伴う10月からの休館中も、当館資料を通じて仙台の文化や歴史を発信できるよう、職員で試行錯誤のうえ自作動画を制作し「せんだいTube」で配信した。あわせてツイッターで資料にまつわる小話なども紹介し、インターネットを活用した情報発信の試み・開拓に取り組んだ。

このようにインターネットを用いる手法は、各地のミュージアムが取り組んでいるものであり、このコロナ禍を機に広がった取り組みでもある。例えば、北海道博物館のホームページに設けられた「おうちミュージアム」は、家で楽しみながら

学べるアイデアを発信する館を紹介する企画であり、当館をはじめ全国の240を超える館が登録している（令和4年4月現在）。

なお、詳細は本年報の「5. 教育・普及」の「広報」の項を参照されたい。

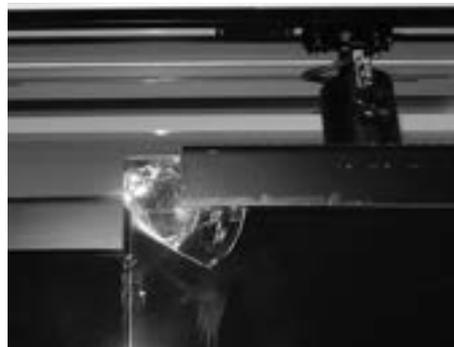
令和3年2月13日の福島県沖地震による被害とその対応

1. 当館の被害

令和3年2月13日（土）23時8分頃に福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震があり、当館が所在する仙台市青葉区の揺れは震度5強であった。

この地震で当館は建物および設備に被害を受けたため、2月14日（日）より臨時休館とした。主な被害は以下のとおりである。

- 1階エントランスホールのスプリンクラーヘッド落下による水損
- 館内天井各所における部材の落下
- 館内各所の壁石の破損
- 1階ロビー南側窓ガラスの割れ
- 総合展示室および企画展示室をはじめとする展示ケース各所のガラスの割れ、亀裂
- 企画展示室の展示ケース開閉機構の破損



破損した展示ケースのガラス（総合展示室内）

2. 臨時休館と修繕

館内の設備点検を行い、上記の破損箇所および修繕が必要な箇所について修繕を行った。

この間臨時休館とし、4月下旬の一部開館を目指していたが、3月26日（金）より、新型コロナウイルス感染拡大防止のために市有各施設が臨時休館となり、これが5月11日（火）まで延長されたことにより、当館の開館も5月12日（水）となった。

開館にあたっては、展示ケースの修繕が終了していない総合展示室を除く全ての展示室を開室した。

企画展「たっぷり わくわく 名品尽し」は当初4月23日（金）からの開催を予定していたが、上記の事情により5月12日からの開催となった。

なお、総合展示室はこの修繕等による閉室が続き、9月14日（火）に再開の運びとなった。9月30日（木）まで常設展を開催（長期休館をふまえ9月24日（金）・27日（月）は臨時開館）し、10月1日（金）から大規模改修工事に伴う全館休館に入った。

令和4年3月16日の福島県沖地震による被害とその当館の対応

1. 当館の被害

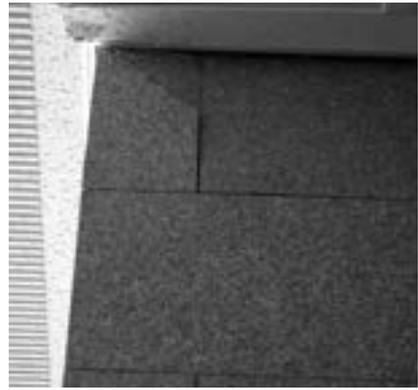
令和4年3月16日（水）23時36分頃に福島県沖を震源とするマグニチュード7.4の地震があり、当館が所在する仙台市青葉区の揺れは震度5強であった。

この地震により、収蔵資料の一部と建物及び設備に被害があった。建物・設備については、大規模改修工事の工程との調整を図りながらの復旧が必要となった。主な被害は以下のとおりである。

- ・市指定文化財「三宝荒神形兜」の火焰先端の破損
- ・総合展示室・特別展示室の展示ケースの変形（展示ケースと壁とを接合する金具の破損により、展示ケースに倒壊のおそれが生じた）
- ・総合展示室・特集展示室の展示ケース不具合（ガラスの開閉機構に不具合）
- ・守衛室窓口のガラスの破損
- ・石壁等の亀裂
- ・壁や天井の一部漆喰等の剥落
- ・館庭のイベント広場のタイル等の破損



壁からはがれた展示ケース（総合展示室内）



亀裂が入った石壁（館内）



破損したタイル（イベント広場内）

2. 修繕

館内の設備点検を行い、上記の破損箇所および修繕が必要な箇所については令和4年度以降に復旧することとなった。

なお、令和4年4月に、壁からはがれて倒壊のおそれがある展示ケースについての応急措置を行い、また、ほかの展示ケースについても被害の詳細調査を行った。その結果、総合展示室・特集展示室の展示ケース全般について接合金具等の破損のおそれがあるなどの甚大な被害があることがわかり、令和4年度に復旧および補強措置を予定している。

2. 大規模改修工事に伴う 休館中の取り組み

大規模改修工事の実施

現施設（新館）は、昭和61年に建築してから35年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、仙台市公共施設総合マネジメントプランにより、施設の長寿命化を図る大規模改修工事を令和3年10月から実施している。これに伴い、当館は10月1日から全館休館に入った。この工事は約2年半におよび、令和6年3月まで休館し、翌4月から再開館の予定である。

なお、休館中も、仙台の歴史・美術・文化の魅力を発信するために、職員が館外に出向いて行う講座や授業、イベントの機会を増やし、また、広報印刷物「博物館だより」のデザイン・内容の一新、インターネットを活用した動画やツイッター等による情報発信を手厚くするなど、休館中ならではの取り組みを行っている。

詳細は本年報の「10. 大規模改修工事」や「5. 教育・普及」の項を参照されたい。

休館中の取り組み

1. 資料の保存（一時移動等）

仙台市博物館では約10万点もの資料を収蔵庫で保管している。大規模改修期間中の収蔵庫工事にあたり、これらの資料を一時的に移動させる必要が生じたため、適宜梱包・移動作業を行っている。

令和3年度は、6つある収蔵庫のうち最も容積の大きい収蔵庫Ⅰと、隣接する収蔵庫Ⅱに収納されていた資料を梱包し、移動する作業を実施した。

(1) 資料一時保管のための展示室環境整備

資料移動に先立ち、それらを一時保管する収蔵場所の環境整備を実施した。

- ・一時保管室（展示室）内の清掃
- ・壁面の断熱材取り付け、温湿度測定
- ・虫菌害・塵埃調査、空気環境調査
- ・仮設収蔵棚の設置
- ・セキュリティ・監視強化
- ・扉等の隙間遮蔽、出入り口の制限、下足禁止等運用面の徹底



仮設収蔵棚

(2) 資料の状態調査、梱包、移動作業

移動前に収蔵資料の状態調査および移動作業リストの作成・記録を行った。また、移動による損傷を防ぎ、温湿度変化の影響を低減するため資料の梱包を行った。大型の屏風や歴史資料、脆弱な工芸品など各資料の状態に適した形で梱包した後、順次収蔵庫から搬出した。

また、特に注意が必要な資料や重量のある資料等については、美術品取扱専門業者とともに作業にあたった。今回の該当区画に収蔵していた資料の梱包・移動にかかった期間は、12月～3月までの約4カ月間であった。

一時保管室に移動した資料は、今後も状態を確認するとともに、室内環境を良好な状態に保つための調整・対応を継続する。また、翌令和4年度も工事区分ごとに収蔵資料の梱包・移動を順次実施する予定である。



漆工芸資料を梱包する様子



資料を搬出した後の収蔵庫内



仮設棚の収納状況

(3) 地震に伴う緊急作業

令和4年3月16日に発生した地震により、館内展示ケースが破損し、ケース内に保管していた収蔵資料については早急に移動させる必要が生じたため、この時も別途移動作業を行った。

2. 教育普及

大規模改修工事による休館中、対外的な教育普及活動として、下記のような取り組みを実施、または計画している。

(1) 市民センターとの共催講座

休館中、より多くの市民の皆様には博物館の魅力に触れていただくため、市民センターと共催で講座・イベント等の事業を実施することを計画した。令和4年度に実施するため、下記のような具体的な講座案を企画。令和3年10月21日(木)に開催された市民センター事業説明会で、仙台市内の各市民センターに共催事業をPRし、応募を呼び掛けた。

①「仙台市博物館巡回講座」

博物館の職員が各区を巡り講座を開催。博物館所蔵の文化財を紹介しつつ、普段の展示では語り尽くせない話題も織り交ぜながら、仙台の歴史と文化の魅力を届けるといったもの。対象は一般の方、開催回数・場所は各区1つの市民センターを会場に、3カ月に一度のペースで年間4つのテーマを開講するとしていた。なお、具体的なテーマ・内容は以下の通り。

テーマ	主な内容
伊達政宗 (歴史担当学芸員)	政宗に焦点を当て、仙台の歴史について紹介する。
仙台藩の武器と工芸品 (工芸担当学芸員)	政宗のよろいをはじめ、仙台藩の武器・武具、華やかな婚礼調度などを中心に紹介する。

江戸時代の アートな仙台 (絵画担当学芸員)	仙台城の障壁画や仙台四大画家の作品、絵が得意な藩主の作品など、幅広く紹介する。
体験！プレイ ミュージアム (指導主事)	プレイミュージアムで展示していた昔の玩具や楽器、遊び等を紹介する。

②「仙台市史講座」

市史編さん事業で得られた調査研究の成果を生かし、各地域と関連したテーマを取り上げて開催。対象は一般の方、講師は当館職員ほか大学等外部の研究者。開催場所は年4カ所とし、令和4年度は若林区、泉区、宮城野区、太白区西部(秋保・生出地域)の市民センター、令和5年度は太白区東部、青葉区西部、青葉区東部とした。

③「夏休み親子工作教室」

親子で触れあいながら、日本の伝統や文化に興味を持つ機会として、毎年博物館で行っていた夏休み工作教室を市民センターで開催。

対象は、小学生～中学生とその親子。日時は、夏休み(7月末または8月上旬の土曜日か日曜日、午前の部・午後の部の2回)。人数は、午前の部・午後の部各5組(10名ずつ)参加費は材料費のみ(1組につき500円程度)とした。



市民センター事業説明会チラシ(一部抜粋)

上記の内容を周知した結果、各市民センターから共催の申し出が多数寄せられた。担当者間で調整した結果、令和4年度に共催講座を開催する市民センターは「仙台市博物館巡回講座」が7館、「仙台市史講座」が2館、「夏休み工作教室」が8館となった。

本格的な開催は令和4年度以降となるが、各館担当者と連携して事業を進めていきたい。

(2) 出前授業

これまで、指導主事が担当する学校向け学習プ

プログラムは、主に見学を目的として来館した学校の児童生徒に対し、館内で実施してきた。一方、博物館職員が学校に出向いて学習プログラムを行う、いわゆる出前授業の事業についても継続して実施してきたが、その数は館内での実績数と比べれば少なかった。

令和3年10月以降、大規模改修工事による休館のため、学校団体が来館して見学することができない状況となった。そこで、学校向け学習プログラムを、学校の授業で活用していただくため、出前授業を積極的にPRしていくこととした。出前授業は、指導主事が申込のあった学校に直接出向いて行うことから、対象を仙台市内の各学校とした。PRの際は、教育委員会のポータルサイトC4th（シーフォース）等を活用し、特に教育現場に関連する博物館情報を掲載した教職員向け通信（博学だより）で定期的に行った。また、この通信は、教職員対象の研修会等でも配布した。



博学だより（一部抜粋）

その結果、仙台市内の小学校を中心に、例年を上回る数の出前授業の申し込みがあり、指導主事が各学校に出向いて対応した。中でも申込件数が多かった学習プログラムは、社会科では「伊達政宗と仙台」「仙台藩の参勤交代を調べよう」、図工・美術科では「もんきりがたで遊ぼう」「ようこそ屏風絵の世界へ」である。



出前授業の様子

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、出前授業の実施が困難となった際には、試みとしてオンラインによる出前授業を実施した。学校に

出向いての出前授業に比べ、児童生徒とのやりとりに難があるなど、課題はあるが、コロナ禍における教育普及活動の一手段として、令和4年度以降も随時実施を検討する。



オンラインによる出前授業の様子

出前授業の申し込みについては、小学校を中心に、今後もある程度の数が見込まれるが、小学校以外の学校からの申し込みを増やしていくためには、学習プログラムの内容の吟味やPR方法の再検討など、さらなる働きかけが必要と感じている。今後もより多くの学校に出前授業を活用していただけるよう、工夫していきたい。

3. 展示

常設展示

今年度は、令和3年2月に発生した福島県沖を震源とする地震により展示ケースに被害のあった総合展示室・企画展示室等の修繕のため、閉館した状態からのスタートとなった。

企画展「たっぷり わくわく 名品尽し」(5/12～6/20)では、修繕が終了していなかった総合展示室を除く各展示室を会場として展示を実施した。そのため、会場は常設展示室を使用したものの、展示内容については後掲の「特別展・企画展」の項で報告している。

その後、特別展「古代エジプト展」(7/9～9/5)の期間と、同展のための展示替期間(6/21～7/8)、および宮城県を対象とした緊急事態宣言発出期間(～9/12)を経て、ようやく令和3年度の常設展を9/14～9/30の間だけ開催することができた。10/1からは大規模改修工事に伴う臨時休館となったため、令和3年度の開館日数102日のうち、常設展のみを実施していた期間は16日間(休館日除く)であった。

(1) 展示概要と使用展示室

当館の常設展示室は、総合展示室、特集展示室、テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ、コレクション展示室Ⅰ・Ⅱ、プレイミュージアムの合計7室で構成している。総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の6ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、通史的な展示では紹介しにくい資料などを、様々なテーマのもとに展示することとしている。

2室あるテーマ展示室では、名称のとおり当館収蔵資料の中で特色あるテーマを抽出して展示している。「仙台藩の武器・武具」と題したテーマ展示室Ⅰについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織・刀剣などを展示し、「慶長遣欧使節」と題したⅡでは、「慶長遣欧使節関係資料」

を主に展示している。なお、両展示室はともに前・奥室の2空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室期間を設ける場合がある。

同じく2室あるコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を特集して展示している。Ⅰでは、茶道具や古人形・漆工芸・陶磁器を展示している。令和元年度までは、この展示室の前には引き出し式の特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示していた。しかし、ケースへの接触を伴う展示形態であるため、新型コロナウイルス感染症対策の観点から令和2年度以降は展示を停止している。Ⅱでは、例年絵画を展示することが多いが、本年度は「伊達政宗文書特集」として古文書の特集展示を行った。

これら展示室のほか、具足などの複製資料や郷土玩具などを豊富にそろえた体験型展示を実施してきたプレイミュージアムがある。大人から子供まで楽しめる展示は来館者アンケートでも好評を得てきたが、昨年度に続き今年度も接触を伴う体験型展示の開催を見送ることとなった。ただし、鑑賞型の展示を行ったほか、企画展「たっぷり わくわく 名品尽し」の期間中は、来館者が持ち帰って自宅等で工作を行うことのできる「ミニ掛け軸」制作キットを配布した。また、混雑が予想された特別展「古代エジプト展」の会期中は閉室することとなった。詳細については、「5. 教育・普及 プレイミュージアム」の項を参照されたい。

(2) 令和3年度の常設展示

例年であれば、10万点近くを収蔵している当館の資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、常設展示では春夏秋冬と年4回の展示替えを実施している。

今年度は、前記した特殊な状況により展示期間が大きく制限されたが、それぞれの展示コーナーにおいて学芸員が日頃の研究を生かし、様々な切り口による展示を行った。

なお、常設展の展示替えの詳細については、小テーマは11頁「表1」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示資料目録(抄録)」を参照されたい。

(3) 外国人来館者への配慮

外国人来館者に、展示をより深く理解していた

だくために、当館では以下のような取り組みを行っている。

- 1 英・中・韓 3 カ国語パンフレットの作成
- 2 小テーマの解説への英・中・韓 3 カ国語併記
- 3 展示資料のキャプションへの英文併記

昨年度まで導入していた英・中・韓 3 カ国語対応の常設展音声ガイドについては、接触を伴う機器を使用していたことから、令和 3 年度は運用せず、同様の情報をアプリ「ポケット学芸員」を通じ、音声・画像付きで提供している。

(4) 今後の課題等

大規模改修工事後には、当館常設展の特色である実物資料中心の展示により仙台の歴史と文化を概観できる、という点は維持しつつ、博物館利用者にわかりやすく情報を届けていく工夫を館内外において実施していきたい。

表1 令和3年度展示替え一覧

展示室	ゾーン	コーナー	春		夏		旬の常設展2021秋「奥羽再仕置430年記念 政宗と秀吉」ほか(9/14-9/30)※	冬	
総合展示室	1 むかしの仙台	1 仙台のあけぼの	令和3年2月13日に発生した福島県沖地震被害の修繕のため閉室	4/1-5/11 地震被害および新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉室	令和3年2月13日に発生した福島県沖地震被害の修繕のため閉室		上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか 上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(蔵王町下別当遺跡出土土器) (弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか 郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか 陸奥国分寺模型 洞ノ口遺跡の出土資料 陸奥国分寺の仏像		
		2 縄文人のくらし							
		3 稲作の始まりと有力者の出現							
		4 中央政権の進出							
		5 陸奥国分寺							
		6 武士の台頭							
		7 神仏への祈り							
	2 伊達政宗、仙台へ	8 伊達氏の登場							奥羽再仕置430年記念展示 政宗と秀吉
		9 仙台藩主、伊達政宗							黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領
	3 城	10 仙台城のすがた							仙台城と仙台市域の城館
		11 藩主と夫人たち							城に勤める、藩主に仕える
		12 武家のくらし							伊達家の漆工芸
	4 藩	13 仙台藩のようす							仙台藩の武器・武具
		14 仙台藩の家臣たち							寛文事件
	5 町	15 城下町仙台							仙台下の治安維持
		16 町のくらし							東照宮祭礼
		17 教育と文化							仙台藩の学問と思想家(天文学/林子平)
		18 新たな時代へ							仙台藩の軍備拡充
	6 近代都市へのあゆみ	19 戊辰戦争と明治維新							仙台藩の戊辰戦争
		20 近代都市仙台							「杜の都」「学都」「軍都」仙台
特集展示室	東側・中央ケース	-5/11 閉室	5/12-6/20 仙台市博物館開館60周年記念祭 たっぷりわくわく 名品尽し	6/21-7/8 閉室	7/9-9/5 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展	屏風絵特集			
	西側ケース								
コレクションI	北側ケース(陶磁器)	-5/11 閉室	5/12-6/20 特集展示 仙台・宮城の工芸の名品尽し	6/21-9/13 閉室		館蔵のやきもの			
	中央ケース					茶道具			
	L					東北の古人形			
	S(茶道具)								
	奥室								
浮世絵	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため閉室								
企画展示室						閉室			
テーマI	仙台藩の武器武具 前室	-5/11 閉室	5/12-6/20 仙台市博物館開館60周年記念祭 たっぷりわくわく 名品尽し	6/21-7/8 閉室	7/9-9/5 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展	仙台藩の武器武具			
	仙台藩の武器武具 奥室					仙台藩の武器武具			
テーマII	慶長遣欧使節 前室	-5/11 閉室	5/12-6/20 仙台市博物館開館60周年記念祭 たっぷりわくわく 名品尽し	6/21-7/8 閉室	7/9-9/5 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展	慶長遣欧使節関係資料			
	慶長遣欧使節 奥室					閉室			
コレクションII						伊達政宗文書特集			
プレイミュージアム		-5/11 閉室	5/12-6/20 ミニ掛軸をつくろう	6/21-7/8 閉室	7/9-9/5 閉室(8/14-9/3 べたくたをつかって遊ぼう(配布))	9/14-9/30 閉室			

10/1- 大規模改修工事のため休館

※旬の常設展2021秋は当初9/7から開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の発令により、9/12まで臨時休館となった(9/13は通常の休館日)。

常設展示資料目録（抄録）

1. 表記のうち重文は重要文化財
2. コレクション名については一部略記した。
3. その他の略記事項については以下の通り。
 仙台市博物館蔵資料＝館蔵 伊達家寄贈文化財＝伊文
 斎藤報恩会寄贈資料＝報恩会
 仙台市教育委員会＝仙台市教委
 社会福祉法人共生福祉会蔵＝共生福祉会
 コレクション＝C、世紀＝C

総合展示室

1 むかしの仙台

仙台のあけぼの

2021.9/14～30

1. ペン先形ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 1点 仙台市教委
2. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 2点 仙台市教委
3. 石刃 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 1点 仙台市教委
4. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 3点 仙台市教委
5. スクレイパー 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
6. 彫刻刀形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
7. 両面加工の石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
8. へら形石器 野川遺跡 縄文草創期 2点 仙台市教委
9. 土器の破片 野川遺跡 縄文草創期 一括 仙台市教委

縄文人のくらし

2021.9/14～30

1. 縄文土器・深鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 2点 仙台市教委
2. 縄文土器・浅鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
3. 縄文土器・注口土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
4. 縄文土器・革袋形土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
5. 縄文土器 高柳遺跡 縄文中期中葉 6点 仙台市教委
6. 狩りの道具・石槍 三神峯遺跡 縄文前期前葉 1点 仙台市教委
7. 狩りの道具・石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 2点 仙台市教委
8. 狩りの道具・石鎌 大野田遺跡 縄文後期前葉 10点 仙台市教委

9. 漁の道具・鹿角製銚 大野田遺跡 縄文後期前葉 2点 仙台市教委
10. 漁の道具・土製錘 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
11. 漁の道具・軽石製浮子 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
12. 打製石斧 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
13. 磨製石斧 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
14. 凹石 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
15. 石皿 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
16. 土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 9点 仙台市教委
17. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 4点 仙台市教委
18. 土偶 蔵王町鍛冶沢遺跡 縄文晩期 1点 片倉家資料

稲作の始まりと有力者の出現

2021.9/14～30

1. 弥生土器・高坏 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
2. 弥生土器・甕 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
3. 弥生土器・壺 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
4. 堅杵 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
5. 堅杵未製品 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
6. 石包丁 高田B遺跡 弥生 7点 仙台市教委
7. 太形蛤石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
8. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
9. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
10. ガラス小玉 遠見塚古墳 4C末 3点 仙台市教委
11. 手づくね土器 遠見塚古墳 4C末 5点 仙台市教委
12. 土師器・壺 遠見塚古墳 4C末 1点 仙台市教委
13. 朝顔形埴輪 大野田5号墳 5C後半 1点 仙台市教委
14. 須恵器・有蓋脚付壺 南小泉遺跡（26次）5C後半 1点 仙台市教委
15. 円筒埴輪 大野田1号墳 6C 1点 仙台市教委

中央政権の進出

2021.9/14～30

1. 材木列（外堀）のクリ材 郡山遺跡
7C後半～9C前半 2点 仙台市教委
2. 土師器・坏（在地） 郡山遺跡
8C初頭 1点 仙台市教委
3. 土師器・坏（畿内産） 郡山遺跡
7C末～8C前半 1点 仙台市教委
4. 土師器・坏（関東系） 郡山遺跡
7C中葉 1点 仙台市教委
5. 単弁蓮華文軒丸瓦 郡山遺跡
7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
6. 重弧文軒平瓦 郡山遺跡
7C後半～8C前半 1点 仙台市教委

7. 土師器・坏（関東系） 長町駅東遺跡 7～8 C前半 2点	仙台市教委	2. 小壺（在地） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
8. 土師器・坏（在地） 長町駅東遺跡 7～8 C前半 2点	仙台市教委	3. 片口鉢（在地） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
9. 須恵器・長頸瓶 茂ヶ崎横穴墓群1号墓 7 C後半～8 C前半 1点	仙台市教委	4. 合子（古瀬戸） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
10. 須恵器・大甕 茂ヶ崎横穴墓群3号墓 7 C後半～8 C前半 1点	仙台市教委	5. 仏花瓶（古瀬戸） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
11. 須恵器・平瓶 茂ヶ崎横穴墓群20号墓 7 C後半～8 C前半 1点	仙台市教委	6. 天目茶碗（瀬戸美濃） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
12. 勾玉（ガラス） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7 C後半～8 C前半 1点	仙台市教委	7. 青磁・碗（中国） 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
13. 勾玉（瑪瑙） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7 C後半～8 C前半 3点	仙台市教委	8. 青磁・皿（中国） 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
14. ガラス小玉（大） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7 C後半～8 C前半 4点	仙台市教委	9. 青白磁・合子（中国） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
15. ガラス小玉（中） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7 C後半～8 C前半 3点	仙台市教委	10. 青白磁・梅瓶（中国） 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
16. ガラス小玉（小） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7 C後半～8 C前半 40点	仙台市教委	11. 白磁・四耳壺（中国） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
17. 切子玉（水晶） 茂ヶ崎横穴墓群8号墓 7 C後半～8 C前半 2点	仙台市教委	12. 白磁・壺（中国） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
18. 管玉（碧玉） 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7 C後半～8 C前半 3点	仙台市教委	13. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 11点	仙台市教委
19. 切子玉（琥珀） 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7 C後半～8 C前半 1点	仙台市教委	14. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 15点	仙台市教委
20. 丸玉（蛇紋岩） 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7 C後半～8 C前半 1点	仙台市教委	15. 短刀（拵付） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
21. 白玉 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7 C後半～8 C前半 4点	仙台市教委	16. 短刀 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
22. 陸奥国分寺創建瓦（重弁蓮華文軒丸瓦） 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委	17. 鎌 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
23. 陸奥国分寺創建瓦（偏行唐草文軒平瓦） 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委	18. 馬具（轡） 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
24. 刻印文字瓦（「丸」「占」「伊」「物」） 陸奥国分寺跡 奈良～平安 4点	仙台市教委	19. 板碑 洞ノ口遺跡 延慶3年 1点	仙台市教委
25. 指書き文字瓦 陸奥国分寺跡 平安 3点	仙台市教委	20. 板碑 洞ノ口遺跡 応長2年 1点	仙台市教委
26. 陸奥国分寺修復瓦（宝相華文軒丸瓦） 陸奥国分寺跡 平安 1点	仙台市教委	21. 板碑 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
27. 陸奥国分寺修復瓦（連珠文軒平瓦） 陸奥国分寺跡 平安 1点	仙台市教委	22. 呪符木簡 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
28. 棟平瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点	仙台市教委	23. 地藏菩薩木像 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
29. 獣面文鬼瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点	仙台市教委	24. 木製五輪塔 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
30. 七重塔水煙片 陸奥国分寺跡 奈良～平安 1点 東北大学文学部		25. 洪武通寶 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
31. 七重塔九輪 陸奥国分寺跡 奈良～平安 1点	仙台市教委	26. 永樂通寶 洞ノ口遺跡 中世 7点	仙台市教委
		27. 銭種不明 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
		28. 鬼瓦 東光寺遺跡 中世 2点	仙台市教委
武士の台頭			
2021.9/14～30		神仏への祈り	
1. 大甕（常滑） 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委	「陸奥国分寺の仏像」 2021.9/14～30	
		1. 木造十二神将立像 辰神 鎌倉時代 1軀	陸奥国分寺
		2. 木造十二神将立像 巳神 鎌倉時代 1軀	陸奥国分寺
		3. 木造十二神将立像 午神 鎌倉時代 1軀	陸奥国分寺
		4. 木造十二神将立像 未神 鎌倉時代 1軀	陸奥国分寺
		2 伊達政宗、仙台へ	
		伊達氏の登場	
		「奥羽再仕置430年記念 政宗と秀吉」 2021.9/14～30	
		1. 重文 伊達政宗書状 宛所不明	
		（天正18年）6月14日 1幅	伊文
		2. 重文 蒲生氏郷起請文 伊達左京大夫（政宗）宛	
		天正18年11月28日 1通	伊文
		3. 重文 伊達政宗起請文案 羽柴忠三郎（蒲生氏郷）宛	
		（天正18年）1通	伊文

4. 重文 伊達政宗書状 浅弾□(浅野弾正少弼長吉)宛
(天正19年) 2月9日 1巻 伊文
5. 重文 豊臣秀吉朱印状 羽柴伊達侍従(政宗)宛
(天正19年) 6月20日 1通 伊文



5. 豊臣秀吉朱印状

6. 貞山公治家記録 卷17(天正19年此年条) 元禄16年
1冊 伊文
7. 岩出山要害図 江戸時代 1鋪 伊文

仙台藩主、伊達政宗

2021.9/14~30

1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領
桃山~江戸初期 1領 伊文



1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用

3 城

仙台城の姿

「仙台城と仙台市域の城館」 2021.9/14~30

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆
原本は江戸前期 1幅 館蔵(原本は伊文)
2. 奥州仙台城絵図(複製) 原本は正保2年頃 1幅
館蔵(原本は報恩会)
3. 仙台領古館記(古城書上) 大槻平常治筆
寛保3年 1冊 報恩会
4. 奥州宮城国分古館書上控写(古城書上)
延享4年2月 1冊 鷺尾栄一郎氏寄贈資料

5. 岩切城絵図 江戸 1鋪 個人蔵
6. 岩切居城知行調 天正18年9月4日 1冊 個人蔵
7. 入生田家之故実 江戸後期 1冊 個人蔵
8. 館記 江戸後期 8枚中1枚 個人蔵
9. 漆器椀 北目城跡出土 江戸前期 1点 仙台市教委
10. 漆器椀 北目城跡出土 江戸前期 1点 仙台市教委
11. 脇指 北目城跡出土 江戸前期 1件 仙台市教委
12. 国分千代御城之事 江戸 1通 千田文彦氏寄贈資料
13. 金箔瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点 仙台市教委
14. 五七桐紋軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
15. 菊唐草文飾り金具 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
16. 青花金彩鳳凰合子片 仙台城本丸跡出土
明末~清初 5点 仙台市教委
17. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料
江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈資料
18. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈資料
19. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈資料
20. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本
伊達貞宗氏寄贈資料
21. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面
伊達貞宗氏寄贈資料
22. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口
伊達貞宗氏寄贈資料
23. 硯 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈資料
24. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末~17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈資料
25. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈資料
26. えんぴつ(複元品) 2点 館蔵

藩主と夫人たち

「城に勤める、藩主に仕える」 2021.9/14~30

1. 伊達政宗書状 高屋松庵宛 年未詳3日 1幅 館蔵
2. 伊達政宗自筆相伴衆書付 年月日未詳 1幅
遠藤一雄氏寄贈資料
3. 秋草図蒔絵葉簞笥 高屋松庵拜領 桃山 1点 個人蔵
4. 綱元君記録 江戸 1冊 個人蔵
5. 茂庭綱元書状 奥山与一左衛門(兼清)宛
(慶長7年)9月27日 1通 館蔵

武家のくらし

「伊達家の漆工芸」 2021.9/14~30

1. 蔓草蒔絵太鼓胴 江戸初期 1口 館蔵
2. 竹に雀桐九曜紋蒔絵短冊箱 江戸前期 1合 個人蔵

- 3. 金梨地竹に雀紋蒔絵系図箱 江戸中期 1合 館蔵
- 4. 金梨地牡丹紋旗箱 江戸中期 1合 伊文
- 5. 円窓繋春日野蒔絵見台 江戸後期 1基 館蔵



5. 円窓繋春日野蒔絵見台

4 藩

仙台藩のようす

「仙台藩の武器・武具」 2021.9/14~30

- 1. 白地黒獅子文旗 江戸 1幅 青木家資料
- 2. 黒漆五枚胴具足 江戸後期 1領 青木家資料
- 3. 紺糸威桶側胴具足 江戸 1領 桜田家資料
- 4. 白地波文に虎図旗 岩崎周昌筆 明和7年 1旒 桜田家資料

仙台藩の家臣たち

「寛文事件」 2021.9/14~30

- 1. 浮世絵「伽羅仙代萩」 歌川国芳画
嘉永元~6年 大判3枚続 大宮司雅之輔C
- 2. 浮世絵「早苗鳥伊達聞書」 豊原国周画
明治9年 大判3枚続 大宮司雅之輔C



2. 浮世絵「早苗鳥伊達聞書」

- 3. 古内志摩義如書状 古内志摩(義如)宛
(寛文11年)3月27日 1通 伊文
- 4. 伊達の黒箱 寛文11年 1件 伊文
- 5. 伊達記 桂秀画 (江戸後期・19C) 2冊 館蔵
- 6. 伊達実録 (江戸後期・19C) 16巻のうち1巻 館蔵
- 7. 容色仙台萩 初編上・下 外題歌川国貞画・内題景斎英寿画
安政2年 2冊 報恩会

5 町

城下町仙台

「仙台北下の治安維持」 2021.9/14~30

- 1. 慶応元年仙台北下図屏風 吉成東温画
慶応元年 6曲1双 三原良吉C
- 2. 仙台鹿の子(写本) 元禄8年頃成立 1冊 尚文館C
- 3. 御屋敷方定 江戸後期 1冊 報恩会
- 4. 火消方定 懸田利序写 天保3年写 1冊 報恩会
- 5. 仙台北下絵図 宝暦10~明和3年 1鋪 報恩会
- 6. 目明仲吉通達状 目明仲吉筆 大和屋久兵衛宛
(宝暦2年)5月20日 1通 大久保良雄C
- 7. 女川くどき 明治5年写 1冊 報恩会
- 8. 徳川幕府刑事図譜 藤田新太郎編画
明治26年刊行 1点 伊藤つき氏寄贈資料
- 9. 評定所格式帳 元禄16年成立 1冊 齋藤武子氏寄贈資料
- 10. 御修復帳(写) 原本は安永年間頃 1帖 報恩会



10. 御修復帳(写)

町のくらし

「東照宮祭礼」 2021.9/14~30

- 1. 「仙台年中行事絵巻」より仙台東照宮祭礼図
江戸後期 1巻 三原良吉C
- 2. 得可主屋次右衛門祭礼渡物免除願案
得可主屋次右衛門浅井忠内 文政11年6月 1通
三原良吉C
- 3. 渡物札 江戸後期 2枚 三原良吉C
- 4. 仙台東照宮祭礼小絵図
江戸中期~後期(17C後半~19C初頭) 3枚 館蔵
- 5. 東照宮御祭礼渡物行列帳 嘉永3年 1冊 三原良吉C
- 6. 東照宮祭礼 渡物図 源頼光公足柄山ニテ金時を尋給フ躰
大町日野屋源四郎 江戸後期~末期 1面 館蔵
- 7. 東照宮祭礼 渡物図 浦島太郎龍宮へいたつて乙姫に
まみゆる躰 江戸後期~末期 1面 館蔵
- 8. 東照宮祭礼 渡物図 坂上田村麻呂鈴鹿山出陣の躰
新伝馬町鈴木利三郎 江戸後期~末期 1面 館蔵
- 9. 東照宮祭礼 渡物図 坂上千熊磨流躰馬に趣く躰
柳町相澤屋善兵衛 江戸後期~末期 1面 館蔵

10. 東照宮祭礼 渡物図 福神角力の鉢 染師町堺屋庄助
江戸後期～末期 1面 館蔵

教育と文化

- 「仙台藩の学問と思想家」 2021.9/14～30
仙台藩の天文学
1. 獅山公治家記録 正徳4年2月7日条(遠藤盛俊入門)
田辺希文・兄玉秀基編 宝暦8年 1冊 伊文
 2. 伊達世臣家譜(戸板氏) 田辺希元撰
寛政4年12月 1冊 伊文
 3. 潮汐図説 高野立斎著 寛延2年 1冊 尚文館C
 4. 天文図屏風 名取春仲筆 江戸後期 6曲1隻 館蔵
- 林子平の人生と思想
5. 林子平肖像 佐々城朴庵筆 嘉永7年 1冊 尚文館C
 6. 林子平肖像 牧互秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
 7. 輿地国名訳 林子平筆写 安永6年 1冊 藤塚家資料
 8. 和蘭地理書ゼオガラヒー 林子平筆写
安永7年 1冊 藤塚家資料
 9. 和蘭人宴会図 林子平筆 江戸後期 1額 館蔵
 10. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊
猪苗代翁・弼氏寄贈資料
 11. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 3冊 館蔵
 12. 林子平辞世拓本 江戸中期(18C) 1幅 中村徳重郎C

新たな時代へ

- 「仙台藩の軍備拡充」 2021.9/14～30
1. 大槻俊斎書状 大槻竜之進宛(弘化3年)5月朔日 1通
大槻祐一氏寄贈資料
 2. 伊達慶邦西洋銃術稽古申渡書控(安政3年7月) 1通
伊文
 3. 開成丸進水図写 熊耳耕年写 原図:小野寺鳳谷画
近代 1幅 菊田定郷C
 4. 騎兵体歩兵体散兵大訓練之図 月岡芳年画
慶応3年 3枚続 大宮司雅之輔C
 5. 仙台城および城下町砲筒備案 江戸後期 1点 個人蔵
 6. 高島流砲術皆伝書 大槻敬五郎安貞筆 橘川宣蔵宛
安政5年6月 1通 橘川孚氏・敦子氏寄贈資料
 7. 殺生之巻 安永4年4月～文化14年3月 1巻
橘川孚氏・敦子氏寄贈資料
 8. 大手脇御多門櫓大筒調帳 橘川堅吉・菅原光脩筆
文久3年4月21日 1綴 橘川孚氏・敦子氏寄贈資料

6 近代都市へのあゆみ

戊辰戦争と明治維新

- 「仙台藩の戊辰戦争」 2021.9/14～30
1. 伊達慶邦画像 明治 1幅 伊文
 2. 本しらべ城州伏見大火の図 慶応4年正月 1枚 個人蔵
 3. 太政官沙汰書写 伊達慶邦宛
(慶応4年)正月20日 1通 伊文
 4. 伊達慶邦書状案 上杉齊憲宛
(慶応4年)2月15日 1通 伊文
 5. 会津追討二付仙台様御出陣被遊御行列図
慶応4年4月 1枚 報恩会
 6. 白河口戦闘絵図(複製) 明治 1幅 館蔵
 7. 新庄領金山本陣絵図 慶応4年7月 1紙 報恩会
 8. 駒ヶ嶺口惣御人数調 慶応4年9月 1綴 個人蔵
 9. スタール銃 江戸～明治 1挺 個人蔵

近代都市仙台

- 「杜の都」「学都」「軍都」仙台 2021.9/14～30
1. 釈迦堂・歩兵第四連隊全図 玉虫龍之進画
明治30年 1点 三原良吉C
 2. 仙台第二師団全部之図 楊斎延一画 明治25年 1枚
大宮司雅之輔C
 3. 増補 仙台区全図 伊勢斎助発行 明治20年 1枚
三原良吉C
 4. 大橋の銘板 明治25年～昭和13年 1点 報恩会



4. 大橋の銘板

5. 長町駅で出征兵士を見送る人々(写真)
明治27年 1点 館蔵
6. 仙台市発展策 早川智寛筆 明治36年頃 1綴 館蔵
7. 第二師団遠望之図 奥山無門筆 大正8年 1額 館蔵
8. 第二師団凱旋歌 河北新報社選・土井晚翠作曲
昭和8年 1紙 板橋家資料
9. 満州守備軍帰還の凱旋パレード(写真)
昭和8年 1点 館蔵
10. 仙台 小倉博著・仙台市教育会刊 大正13年 1冊 館蔵
11. 宮城県郷土誌 菊地勝之助著・宮城県初等教育学会編
昭和7年 1冊 館蔵
12. 仙台市街のパノラマ写真 昭和10年代 1点 館蔵

仙台の観光と東北産業博覧会

- 13. 松島塩釜仙台遊覧案内双六 宮城県物産商会方山亀之助刊
大正2年 1枚 三原良吉C
- 14. 秋保温泉上り双六 松井哲太郎著・発行 大正5年 1枚
三原良吉C
- 15. 七言絶句 青淵(渋沢栄一)筆 近代 1幅 伊澤家C
- 16. 竹花鳥図 山下梅儼筆 昭和3年 1幅 共生福祉会
- 17. 盆五大堂 大正~昭和 1枚 館蔵

特集展示室

屏風絵特集

2021.9/14~30

- 1. 花鳥押絵貼屏風 東東洋筆 江戸後期 6曲1双 伊澤家C
- 2. 孔雀図屏風 小池曲江筆 享和3年 6曲1双 館蔵
- 3. 露香晴翠図屏風 菅井梅閑筆 天保14年 2曲1隻
伊澤家C
- 4. 秋草図屏風 菊田伊洲筆 江戸後期 6曲1双
藤崎三郎助氏寄贈資料



4. 秋草図屏風 (左隻)

テーマ展示室 I

仙台藩の武器武器

2021.9/14~30

- 1. 鉄錆地五枚胴具足 伊達綱村所用 江戸前期 1領 館蔵
- 2. 黒漆五枚胴具足 伊達綱村所用 江戸前期 1領 伊文
- 3. 萌葱糸威胴丸具足 伝稲葉氏仙姫所用 江戸前期 1領
伊文
- 4. 重文 太刀 銘「義光」 建武4年 1口 亀岡八幡宮
- 5. 刀 金象嵌銘貞次 鎌倉 1口 佐藤敬次郎氏寄贈資料
- 6. 太刀 無銘(伝延寿国資) 鎌倉末期~南北朝 1口
藤崎三郎助氏寄贈資料
- 7. 四十八間総覆輪筋兜 室町中期 1頭 伊文
- 8. 日の丸文軍扇 延享元年 1握 伊文
- 9. 鼈甲半弓 江戸 1張 伊文
- 10. 茶猪毛鞆 江戸中期 1合 伊文
- 11. 亀甲蟹牡丹紋鞍籠 江戸後期 1組 伊文
- 12. 仙人図象嵌火縄銃 江戸後期 1口 館蔵

テーマ展示室 II

慶長遣欧使節関係資料

2021.9/14~30

- 1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写)
原図は1615年頃 1面 館蔵
- 2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
- 3. セビリア市宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 4. ローマ市街図 16C末 1面 館蔵
- 5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
- 6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
- 7. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作
1616~17年頃 1枚 館蔵
- 8. 支倉常長画像(銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 9. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 10. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 11. 支倉常長書状(複製) 勘三郎宛
原本は元和4年 1幅 館蔵
- 12. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
- 13. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
- 14. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
- 15. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵
- 16. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
- 17. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
- 18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
- 19. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像
1615年頃 1面 館蔵
- 20. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵



20. ローマ教皇パウロ五世像

- 21. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市民権証書(複製)
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵

コレクション展示室 I

特集展示 仙台・宮城の工芸の名品尽し

2021.5/12~6/20

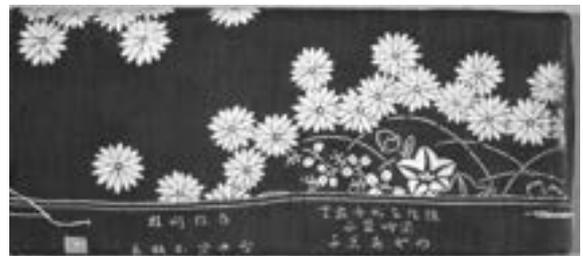
1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼
江戸(19C) 1口 伊澤家C
2. 鉢 堤焼 19C 1点 館蔵
3. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
4. 切立 堤焼 19C 1点 館蔵
5. 小甕 堤焼 19C 1点 館蔵
6. 小甕 堤焼 19C 1点 藤縄達夫氏寄贈資料
7. 埋木細工 鷹置物 大正~昭和(20C) 1組
鹿島ゆき子氏寄贈資料
8. 埋木細工 菱形茶托 石垣博作 昭和(20C) 5枚
仙台埋木細工同業会寄贈資料
9. 埋木細工 千鳥形菓子鉢 小竹健勇作
昭和(20C) 1枚 仙台埋木細工同業会寄贈資料
10. 埋木細工 花入 大正~昭和(20C) 1点
安斎博雄氏寄贈資料
11. 染付ふくら雀文手塩皿 切込焼
江戸末期~明治(19~20C) 5枚 西川瑞國C
12. 歳徳神名鉢 切込焼
江戸末期~明治(19~20C) 1口 近藤博則氏寄贈資料
13. 染付唐子寿老人文徳利 切込焼
江戸末期~明治(19~20C) 1点 古賀孝C
14. 瑠璃釉御神酒徳利 切込焼
江戸末期~明治(19~20C) 1対 館蔵
15. 三彩徳利 切込焼 江戸末期~明治(19~20C) 1口
鈴木孚氏寄贈資料
16. 菊文茶碗 五代目尾上菊五郎好 三浦乾也 印銘「乾也」
幕末~明治(19C) 1口 新井田C



16. 菊文茶碗

17. 乾山写鶴文黒楽茶碗 三浦乾也 彫銘「乾也」
幕末~明治(19C) 1口 新井田C
18. 花卉文絵替葉形向付 三浦乾也 銘「乾也」
幕末~明治(19C) 5枚1組 新井田C
19. 蓮形柄香炉 三浦乾也 刻銘「明治十七年六月天祿堂乾也」
明治17年6月 1合 新井田C
20. 桐松象眼秋草文蒔絵盆 柴田是真・三浦乾也合作
陶板貼付銘「乾也」・金蒔絵銘「是真」

- 幕末~明治(19C) 1枚 新井田C
21. 松図徳利・梅図徳利 三浦乾也
幕末~明治(19C) 2点 猪苗代実氏寄贈資料
22. 矢立 三浦乾也
幕末~明治(19C) 1点 猪苗代実氏寄贈資料
23. 竹一重切花入 伊達綱村作 江戸前期(17C) 1口
平田道子氏寄贈資料
24. 禾目天目茶碗 中国・南宋(13C) 1口 伊澤家C
25. 象嵌青磁石榴雲文平茶碗 朝鮮・高麗(12~13C) 1口
有井C
26. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
27. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
28. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
29. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
30. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
31. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵
32. 甕(鑲付) 堤焼 19C 1点 館蔵
33. 堤人形 政岡 江戸後期 1点 本出保治郎C
34. 花巻人形 相撲取り 江戸後期 1点 本出保治郎C
35. 三春人形 女暫 江戸後期 1点 足立孔C
36. 相良人形 亀かつぎ 江戸後期 1点 足立孔C
37. 好仙台平袴地 銘 光昭 甲田栄佑作 昭和 1反
(財)精好仙台平保存会寄贈
38. 精好仙台平袴地 紹 甲田栄佑作 昭和 1反
(財)精好仙台平保存会寄贈
39. 精好仙台平袴地 紹 関取用 甲田栄佑作 昭和 1反
(財)精好仙台平保存会寄贈
40. 精好仙台平袴地 紹 銘 平安 甲田栄佑作 昭和 1反
(財)精好仙台平保存会寄贈
41. 精好仙台平袴地 銘 永楽 甲田栄佑作 昭和 1反
(財)精好仙台平保存会寄贈
42. 精好仙台平袴地 銘 霊泉 甲田栄佑作 昭和 1反
(財)精好仙台平保存会寄贈
43. 常盤紺形 染見本 最上染工場製 昭和 4反
(財)精好仙台平保存会寄贈
44. 紙布織 諸紙布 昭和 1反 遠藤まし子氏寄贈
45. 正藍染 型染裂地 千葉あやの作 昭和 1反
島野志津子氏寄贈



45. 正藍染 型染裂地

※No.37-39は5/12~5/30、No.40-42は6/1~6/20展示。

やきもの

「館蔵のやきもの」 2021.9/14~30

1. 染付牡丹蜻唐草らっきょう徳利 切込焼
江戸(19C) 1口 伊澤家C
2. 染付牡丹唐草紋大皿 古伊万里(肥前磁器)
有田底銘「福」(変形福字) 底釘書「本」
江戸(19C前半) 1枚 伊文
3. 染付唐草紋大皿 古伊万里(肥前磁器) 有田
江戸(19C半ば) 1枚 伊文
4. 染付山水文大皿 古伊万里(肥前磁器)
底銘「天明成化年製」 江戸(19C) 1枚 伊文
5. 染付団龍菊流水文角皿 伊万里(有田)
底銘「天明成化年製」 江戸(17~18C) 5枚 伊文
6. 染付桜花文輪花皿 伊万里(有田)(底銘有)
江戸(17~18C) 2枚 伊文
7. 青磁菊花形変形皿 伊万里(有田)
江戸(18C) 3枚 伊文
8. 青磁鮑形皿 伊万里(有田)
江戸中期(18C) 2枚 伊文
9. 染付柘榴文湯呑茶碗 切込焼 銘「天保六年十月吉日仙台
加美郡宮崎村之内切籠ニ而湯倉ヨリ出ル石ヲ以製之」
底銘「湯倉製」「英長画」 天保6年 1点 個人蔵
10. 染付松文徳利 切込焼 1点 古賀C
11. 染付蜻唐草文らっきょう徳利 切込焼 19C 1口 和泉C
12. 瑠璃釉御神酒徳利 切込焼 1対 館蔵
13. 三彩徳利 切込焼 19C 1口 鈴木孚氏寄贈資料
14. 青磁平茶碗 銘「常盤」 朝鮮・高麗(12~13C) 1口
有井C
15. 平茶碗 銘「清風」 朝鮮・李朝(16C頃) 1口 ゴトウC
16. 刷毛目三島茶碗 朝鮮・李朝(16C頃) 1口 有井C
17. 粉引茶碗 朝鮮・李朝(15C~19C) 1口 有井C
18. 青井戸茶碗 銘「深山路」 朝鮮・李朝(16C~18C)
1口 有井C
19. 御本茶碗 朝鮮・李朝(17C後半~18C) 1口 伊澤家C
20. 茶碗 銘「弦月」 朝鮮・李朝(17C) 1口 ゴトウC
21. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
22. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
23. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
24. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
25. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
26. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵
27. 甕(鏝付) 堤焼 19C 1点 館蔵

茶道具

2021.9/14~30

1. 竹一重切花入 伊達綱村作 江戸前期 1口
平田道子氏寄贈資料
2. 山水人物図水牛蓋置 江戸 1口 伊文
3. 染付臥牛香合 青木米木作 京焼 江戸中期 1合 伊文

4. 月に萩文黒楽茶碗 三浦乾也 19C 1口 新井田C

古人形

「東北の古人形」 2021.9/14~30

1. 相良人形 口上 江戸後期 1点 館蔵
2. 相良人形 太鼓打ち唐子 江戸後期 1点 本出保治郎C
3. 相良人形 亀かつぎ童子 江戸後期 1点 足立孔C
4. 相良人形 這い子 江戸後期 1点 足立孔C
5. 堤人形 政岡 江戸後期 1点 本出保治郎C
6. 堤人形 白酒売り 江戸後期 1点 本出保治郎C
7. 堤人形 若衆と娘 江戸後期 1点 足立孔C
8. 堤人形 鯉つかみ 江戸後期 1点 個人蔵
9. 三春人形 羯鼓 江戸後期 1点 本出保治郎C
10. 三春人形 巴御前 江戸後期 1点 本出保治郎C
11. 三春人形 大黒 江戸後期 1点 本出保治郎C
12. 三春人形 恵比寿 江戸後期 1点 本出保治郎C
13. 三春人形 熊乗り金太郎 江戸後期 1点 本出保治郎C
14. 花巻人形 斧定九郎 江戸後期 1点 本出保治郎C
15. 花巻人形 衝立美人 江戸後期 1点 本出保治郎C
16. 花巻人形 便り 江戸後期 1点 本出保治郎C
17. 花巻人形 天神 江戸後期 1点 足立孔C

コレクション展示室II

「伊達政宗文書特集」 2021.9/14~30

1. 伊達政宗自筆書状 鬼岩(鬼庭石見守綱元)宛
(天正16年ヵ) 8月4日 1幅 鈴木祐子氏寄贈資料



1. 伊達政宗自筆書状

2. 伊達政宗自筆書状 (天正12~18年) 1幅 杉村顕道C
3. 伊達政宗書状 亙理兵庫頭(重宗)宛
(天正18年) 8月2日 1幅 個人蔵
4. 伊達政宗自筆書状 八久右(八嶋久右衛門増行)宛
(文禄2年) 12月10日 1幅 杉村顕道C
5. 伊達政宗自筆書状 (慶長3年) 8月20日 1幅 個人蔵
6. 伊達政宗書状 土井大(大炊助利勝)宛
(元和2年) 正月28日 1幅 塩沢早春氏寄贈資料
7. 伊達政宗書状 稲内匠(稲葉内匠頭正成)宛
(元和8~9年) 5月3日 1幅 個人蔵
8. 伊達政宗自筆書状 蟻坂善兵衛(仲久)宛
(寛永元年) 9月17日 1幅 個人蔵

9. 伊達政宗自筆書状 伊河内(伊達河内守宗清)宛
(元和6年)閏12月21日 1幅 及川雅子氏寄贈資料
10. 伊達政宗自筆書状 (元和8年)10月14日 1通 個人蔵
11. 伊達政宗自筆書状 伊三河守(伊達宗泰)宛
(寛永11年ヵ)11月26日 1幅 小林章二氏寄贈資料
12. 伊達政宗書状 (天正12年)4月19日 1幅
佐藤義光氏寄贈資料
13. 伊達政宗書状 三左(三坂左馬助)宛
(天正16年)6月8日 1幅 館蔵
14. 伊達政宗書状 加藤正兵衛(正方)宛
(寛永5年~7年)6月14日 1幅 吉田拓矢氏寄贈資料
15. 伊達政宗自筆書状 作十郎(只野勝吉)宛
(元和元~4年ヵ)12月8日 1幅 宮部和夫氏寄贈資料
16. 伊達政宗自筆書状 松庵(高屋宗三)宛
寛永4年七夕 1幅 個人蔵
17. 伊達政宗知行宛行判物 大嶺式部少輔(信祐)宛
天正17年11月27日付 1通 三塚智美氏寄贈資料
18. 貞山公御判鑑 江戸 1冊 館蔵
19. 伊達政宗自筆書状 即刻 1通 個人蔵
20. 伊達政宗自筆書状 めい(内馬場縫殿友成)宛
(年月未詳)27日 1通 個人蔵
21. 伊達政宗自筆書状 左平次(成田重継)宛
(年未詳)2月15日 1通 個人蔵
22. 伊達政宗黒印状 慶長19年9月10日
1通(3通貼継のうち) 鷹匠半澤家文書
23. 伊達政宗黒印状 郡山与右衛門・西山十三郎宛
元和8年4月1日 1通 館蔵
24. 伊達政宗黒印状 瀬成田源三郎・佐藤勝右衛門尉・
荒井久蔵・松本左京宛 寛永8年6月20日 1通
鷹匠佐藤家文書

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づく文化庁長官による勧告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに14館が公開館として指定されている。当館は、東北地方における主要館の一つとして位置づけられており、仙台市内のみならず東北地方の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。

本年度の承認による出品を行った文化財は下記のとおりである。

1. 重要文化財 銅造懸仏及び銅鏡 14面
宮城県 熊野那智神社蔵
2. 重要文化財 太刀(銘備州長船住義光・建武四年十二月) 1口
宮城県 亀岡八幡宮蔵

特別展・企画展

企画展

仙台市博物館開館60周年記念祭

「たっぷり わくわく 名品尽し」

会 期 令和3年5月12日(水)～6月20日(日)

前期：5月12日(水)～5月30日(日)

後期：6月1日(火)～6月20日(日)

開催日数 35日

観覧者数 5,301人(1日平均151人)

観 覧 料 常設展料金 一般・大学生460円(360円)、
高校生230円(180円)、小・中学生110円
(90円)

* () 内は30名以上の団体料金

主 催 仙台市博物館

後 援 河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞
仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞
社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、
仙台リビング新聞社、NHK仙台放送局、
tbc東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、
KHB東日本放送、エフエム仙台、ラジ
オ3 FM76.2

仙台市博物館が令和3年(2021)に開館60周年を迎えたことを記念したこの展覧会は、当初4月23日から開幕の予定であったが、2月13日の福島県沖地震による被害および新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月12日に開幕となった。

展示では、仙台の歴史や美術を代表する名品の魅力を多様な視点から紹介し、子どもも大人も心躍る楽しさを存分に感じていただける展示を目指した。特に、各来館者が主体的に観覧することで名品の魅力を発見できるような観覧コースの設定、学芸員の一押し解説、絵画を用いた体験コーナー、ワークシートを活用した持ち帰る展示を試みた。

また関連展示として、コレクション展示室Iで「特集展示 仙台・宮城の工芸の名品尽し」を、ミュージアムストリートで「震災10年 災害を生き延びた人びと」および、「開館60周年記念コーナー」のパネル展示などを行った。

観覧者からは、展示の仕方が来館者目線になっており、わかりやすかった、学芸員のポイント解説など説明がわかりやすかったなど、概ね好評を得た。

展示構成

第1部 ひたる 伊達政宗資料の粋

第2部 よみとく

武器・武具の「かたち」と「しるし」

第3部 たどる 支倉常長の旅

第4部 であう 伊達家の人びと ゆかりの品々

第5部 めぐる 旅して見つける仙台藩

第6部 くらべる 動物の絵と影絵

ようこそ、いろいろ動物園へ

特集展示 仙台・宮城の工芸の名品尽し



展示風景①



展示風景②



展示風景③

印刷物

ポスター B2判 1,400枚

ポスター B3判 150枚

チラシ A4判 55,000枚



ポスター B2判



体験用ワークシート



仙台市博物館のあゆみすごろく

関連イベント

(1) しろ・まち講座

- ① 「生まれ！動物にまつわる名品」
5月22日(土) 13:30~14:30
博物館ホール 参加22人
講師：菅原美咲（当館学芸員）

- ② 「名品ここだけの話—工芸の名品秘話」
9月18日(土) 13:30~14:30
博物館ホール 参加35人
講師：高橋あけみ（当館副館長）

※5月8日(土)開催予定であったが、展覧会の開幕が5月12日(水)となったことにより、9月18日(土)に延期して開催。

- (2) まちなか博物館講座「殿さまと動植物」
5月29日(土) 13:30~14:30
※オンライン(Zoom)による開催 参加23人
講師：菅原美咲（当館学芸員）
- (3) ミュージアムセミナー
5月16日(日) 10:00~11:30
博物館講習室・展示室 参加3人
- (4) 友の会広報セミナー
6月10日(木) 10:30~11:00 13:30~14:00
博物館ホール・展示室 参加52人
- (5) プレイミュージアムイベント
「ミニ掛け軸をつくろう」
会期中配布 配布数680部
- (6) パネル展示「震災10年 災害を生きた人びと」
会期中展示
「東日本大震災が仙台市沿岸部地域に与えた影響と現在のようす」
「東日本大震災後の仙台市沿岸部の風景」



関連展示①



関連展示②



関連展示③

展示資料目録

●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品、◆は宮城県指定文化財、◇は仙台市指定文化財

所蔵は全て館蔵品

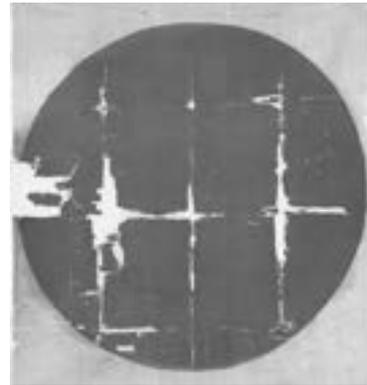
第1部 ひたる 伊達政宗資料の粹

1. ◇伊達政宗甲冑像 狩野探幽筆 江戸初期 1幅 伊文
2. ◇性山公治家記録 卷之一 元禄16年編 1冊 伊文
3. 伊達政宗書状 須田佐土(渡)守宛
(天正17年)6月5日 1幅 館蔵
4. ◎豊臣秀吉小田原陣陣立書
(天正17年)11月20日 1幅 伊文
5. ◎伊達政宗書状 宛所不明
(天正18年)6月14日 1幅 伊文
6. ◎長柄軍配団扇 豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領
桃山 1握 伊文
7. ◎伊達政宗書状 母(保春院)宛
文禄2年7月24日 1卷 伊文
8. 徳川家康領知覚書(百万石のお墨付き) 大崎少将
(伊達政宗)宛 慶長5年8月22日 1通 伊文
9. ◇伊達政宗和歌詠草「入そめて」 江戸初期 1幅 伊文
10. 伊達政宗書状 了庵(茂庭綱元)宛
(元和7年)10月6日付 1通 館蔵
11. ◇伊達政宗画像 狩野安信筆・酒井伯元賛 江戸 1幅
伊文
12. 伊達政宗書状 不干斎(佐久間正勝)宛
(寛永2年)9月29日 1幅 伊澤家C
13. 伊達政宗書状 不干斎(佐久間正勝)・佐大膳(佐久間勝之)
宛(元和8年)3月25日 1幅 武市家資料
14. ◎黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山 1領 伊文



14. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用

15. ◇黒漆五枚胴具足 銘「天文四年乙未十一月日」
伊達政宗所用 菅野重成拝領 桃山~江戸初期 1領
菅野家資料
16. ◎白地赤日の丸旗 桃山 1旒 伊文



16. 白地赤日の丸旗

17. 白地赤日の丸旗 江戸 1旒 館蔵
18. ◎山形文様陣羽織 伊達政宗所用 桃山 1領 伊文



18. 山形文様陣羽織

19. 黒羅背板地胴服 伊達政宗所用 菅野重成拝領
江戸初期 1領 菅野家資料
20. 白絹縮地雪薄紋単衣 伊達政宗所用 菅野重成拝領
江戸初期 1領 菅野家資料
21. ○菊花図屏風 伊達政宗詩歌書入
寛永5年 4曲1隻 館蔵
22. ○萩に鹿図屏風 伊達政宗詩歌書入
寛永5年 4曲1双のうち1隻 館蔵
23. ◇茶杓 伊達政宗作 山岸右近献上 江戸初期 1本 伊文
24. 道の記 伊達政宗筆 慶長20年3月6日 1卷 伊文
25. ◇金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿発掘資料
江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈資料
26. ◇金製ブローチ 瑞鳳殿発掘資料
江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈資料
27. 鉛筆(復元) 原資料:江戸初期 2点
三菱鉛筆株式会社寄贈資料
28. ◇墨 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 2点
伊達貞宗氏寄贈資料
29. ◇煙管・文鎮・鏡 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1式
伊達貞宗氏寄贈資料
30. ◇慶長一分金 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 3点
伊達貞宗氏寄贈資料
31. 木村宇右衛門覚書 木村宇右衛門可親著
承応元年頃 1冊 伊文

32. ○吉野懐紙 文禄3年2月29日 2巻 館蔵
 33. 鼈甲製口薬入 伊達政宗所用 江戸初期 1具 菅野家資料
 34. 水牛製胴乱 伊達政宗所用 江戸初期 1具 菅野家資料
 35. 鷹碟 伊達政宗所用 江戸初期 1指 伊文
 36. 伊達政宗鷹野掟書 元和2年12月3日 1幅 館蔵
 ※No.14、16、21は前期展示、No.15、17、22は後期展示、No.18は5/12～6/6展示、No.19は6/8～6/20展示

第2部 よみとく 武器・武具の「かたち」と「しるし」

37. ◎豊臣秀吉書状 伊達左京大夫(政宗)宛 (天正17年)6月9日 1通 伊文
 38. 太刀 無銘(「釧国行」) 豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領 鎌倉中期 1振 小笠原信夫氏寄贈資料
 39. 太刀 額銘「長谷部国信」 徳川吉宗所用・伊達宗村拝領 南北朝(14C) 1振 館蔵
 40. 剣 樋銘「奉寄進松島山王明神宝殿」ほか 初代国包・三代国包作 寛永18年 1振 赤羽刀(接取刀剣類)
 41. ◇脇差 附金梨地葵紋拵 安定・安幸・安家作 明暦元年 仙台東照宮奉納 1振 伊文
 42. 放駒の陣貝 桃山時代 1口 伊文
 43. 片倉景綱画像 猪野謙山筆 明治 1幅 片倉家資料
 44. 金九曜紋網代編軍配団扇 片倉重綱所用 江戸初期 1握 片倉家資料
 45. 白地黒鈎鐘旗 桃山～江戸初期 1旒 片倉家資料
 46. 太刀(伝片倉景綱・重綱所用) 銘「直□」または「真□」 南北朝(14C) 1振 片倉家資料
 47. 黒漆五枚胴具足 片倉重綱所用 江戸初期 1領 片倉家資料
 48. ◎小紋染胴服 伝豊臣秀吉所用 桃山 1領 片倉家資料
 49. ◇紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 江戸中期 1領 伊文
 50. 黒羅紗地九曜紋火事装束 江戸中期～後期 1領 大山勝義氏寄贈資料
 51. ◇孔雀羽根織込陣羽織 江戸中期 1領 伊文
 52. 金塗軍配団扇 団扇:室町・箱:江戸前期 1握 伊文
 53. 伊達家軍器図巻 江戸中期 1巻 伊文
 54. 惣士三百石以上指小旗・幕之図 江戸 1巻 後藤愛氏寄贈資料
 55. 惣士百五十石以上指小旗・幕之図 江戸 1巻 後藤愛氏寄贈資料
 56. 仙台藩分限帳 寛文2～10年 2冊 伊文
 57. ◇伊達世臣家譜・伊達世臣家譜続編 寛政4年・文政7年 3冊 伊文
 ※No.37、38、40、54は前期展示、No.39、41、55は後期展示、No.49は5/12～6/6展示、No.50は6/8～6/20展示

第3部 たどる 支倉常長の旅

58. 鮫皮貼洋櫃 桃山～江戸初期 1合 館蔵
 59. 伊達政宗書状 茂庭石見宛 (慶長17年～18年)8月12日 1幅 佐藤哲氏寄贈資料

60. ●鞍 17C初期 2背 館蔵
 61. ●鎧 17C初期 1双・1隻 館蔵
 62. ●ロザリオの聖母像 17C初期 1面 館蔵
 63. ●マント 17C初期 1具 館蔵
 64. ●ローマ市公民権証書 支倉常長宛 1615年11月 1通 館蔵



64. ローマ市公民権証書

65. ●ローマ教皇パウロ五世像 17C初期 1面 館蔵
 66. ●支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
 67. ●祭服 17C初期 1領 館蔵
 68. ●縞模様布 17C初期 1枚 館蔵
 69. ●壁掛 17C初期 1枚 館蔵
 70. ●十字架 17C初期 1口 館蔵
 71. ●テカ及び袋 17C初期 1具 館蔵
 72. ●レリカリオ 17C初期 1口 館蔵
 73. ●ディスチプリナ 17C初期 1口 館蔵
 74. ●印章 17C初期 2顆 館蔵
 75. ●四方手・野沓 17C初期 1具 館蔵
 76. ●轡 17C初期 2口 館蔵
 77. ●留金具 17C初期 10点 館蔵
 78. ●短剣 17C初期 2口 館蔵
 79. ●メダイ残欠 17C初期 6片 館蔵
 80. ●ロザリオ 17C初期 5連 館蔵
 81. ●十字架像 17C初期 1口 館蔵
 82. ●十字架及びメダイ 17C初期 1組 館蔵
 83. 伊達政宗遣欧使節記 イタリア語版 シピオーネ・アマーティ著 1615年刊 1冊 館蔵
 84. 伊達政宗遣欧使節記 ドイツ語版 シピオーネ・アマーティ著 1617年刊 1冊 館蔵
 85. ローマ教皇謁見図(『伊達政宗遣欧使節記』ドイツ語版) 1617年刊 1冊 館蔵
 86. ◇悲しみのマリア像 17C初期 1面 館蔵
 ※No.63、75～77は後期展示

第4部 であう 伊達家の人びと、ゆかりの品々

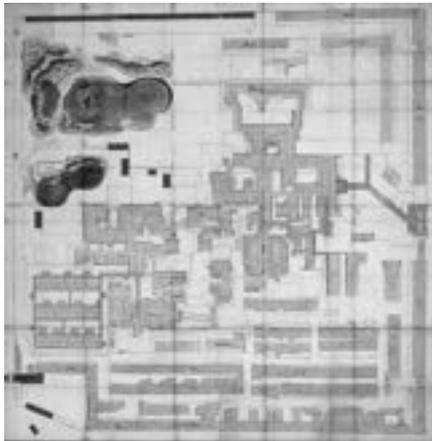
87. 伊達朝宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 88. ◎関東下知状 永仁5年9月13日 1通 伊文

89. ◎北畠顕家下文 伊達郡宛 建武元年9月10日 1通 伊文
90. 伊達成宗家伝秘書 伊達成宗筆
(書)室町中期・(箱)江戸中期 1具 伊文
91. 伊達成宗画像(伊達氏歴代画真のうち)
長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
92. ◇伊達出自正統世次考 元禄16年 3冊 伊文
93. ◎塵芥集(村田本) 天文5年4月14日 1冊 伊文
94. ◎棟役日記 天文4年3月 1冊 伊文
95. 段銭古帳 天文7年9月3日(天正14年写) 1冊 伊文
96. ◎伊達輝宗日記 伊達輝宗筆 天正2年 1通 伊文
97. ◎織田信長朱印状 伊達左京大夫(輝宗)宛
(天正5年)閏7月23日 1通 伊文
98. 伊達輝宗画像(伊達家歴代画真のうち)
長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
99. ◇伊達治家記録 元禄16年~明治7年 5冊 伊文
100. ◇伊達忠宗画像 江戸前期 1幅 伊文
101. 陽徳院画像 岡倉秋水模写・蘭洲彝徳原図
明治26年模写 1幅 伊文
102. 伊達綱宗画像(伊達家歴代画真のうち)
長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
103. ◇伊達綱村画像(4代藩主) 無明浄明筆・香国道蓮賛
享保4年 1幅 伊文
104. ◇伊達吉村画像(5代藩主) 伊達吉村筆・自賛
江戸中期 1幅 伊文
105. ◇長松院画像(伊達吉村夫人) 忠岡三千子筆
江戸中期 1幅 伊文
106. ◇伊達宗村画像(6代藩主) 菊田栄羽筆
江戸中期 1幅 伊文
107. ◇雲松院(伊達宗村夫人)画像 忠岡三千子筆
江戸中期 1幅 伊文
108. ◇伊達重村画像(8代藩主) 菊田栄鶴筆・伊達重村
和歌短冊貼込 江戸後期 1幅 伊文
109. ◇観心院画像(伊達重村夫人) 土井利徳筆
江戸後期 1幅 伊文
110. ◇伊達斉村画像(8代藩主) 土井利徳筆
江戸後期 1幅 伊文
111. ◇伊達周宗画像(9代藩主) 奥山常雄筆
江戸後期 1幅 伊文
112. ◇伊達斉宗画像(10代藩主) 手戸盛之筆
江戸後期 1幅 伊文
113. ◇伊達斉義画像(11代藩主) 堀田正衡筆
江戸後期 1幅 伊文
114. ◇伊達斉邦画像(12代藩主) 菊田伊徳筆
江戸後期 1幅 伊文
115. 伊達慶邦画像 明治 1幅 伊文
116. ◇備晃院画像(伊達慶邦夫人) 堀田正衡筆
江戸後期 1幅 伊文
117. ◎伊達政宗所用印章 桃山 1顆 伊文
118. ◎伝馬用印章 江戸 1顆 伊文
119. ◎伊達綱宗所用印章 江戸前期 1顆 伊文
120. ◎伊達宗村所用印章 江戸中期 1顆 伊文
121. ◎伊達宗村所用印章 江戸中期 1顆 伊文
122. ◎伊達重村所用印章 江戸後期 1顆 伊文
123. ◎伊達重村所用印章 江戸後期 3顆1組 伊文
124. ◎伊達斉村所用印章 江戸後期 1顆 伊文
125. ◎伊達周宗所用印章 江戸後期 1顆 伊文
126. ◎伊達斉宗所用印章 江戸後期 1顆 伊文
127. ◎伊達斉義所用印章 江戸後期 1顆 伊文
128. ◎伊達斉邦所用印章 江戸後期 1顆 伊文
129. ◎伊達慶邦所用印章 江戸後期 1顆 伊文
130. 六所玉河和歌御手鑑 伊達吉村筆 江戸中期 1帖 伊文
131. たかがり・すなどり図巻 伊達吉村筆
江戸中期 2巻のうち 伊文
132. 閑上浜御飯屋十二支額 伊達吉村筆 享保10年 12面 伊文
133. 残月亭六歌仙押し絵額 江戸 6面のうち ゴトウC
134. 仙台領分名所手鑑 伊達宗村書・狩野典信筆
江戸中期 1帖 中嶋成夫氏寄贈資料
135. ◎三沢初子所用帯 三沢初子所用 江戸前期 12条のうち 伊文
136. ◇霊昭女・花鳥図 伊達綱宗筆 江戸前期 3幅対 伊文
137. 孔雀・鳳凰図 伊達綱宗筆 江戸前期 2幅 伊文
138. ◇歴代藩主茶杓と茶杓筆筭 伊達政宗ほか作
江戸初期~中期 1基 伊文
139. 村子姫霊夢図 狩野古信筆 林信篤賛
享保6年 1幅 館蔵
140. ◇黒漆五枚胴具足 伊達忠宗所用 江戸 1領 伊文
141. ◎銀伊予札白糸素懸威胴丸具足
豊臣秀吉所用・伊達政宗拜領 桃山 1領 伊文
142. ◇朱黻漆紫糸素懸威六枚胴具足 三宝荒神形兜付
伝上杉謙信所用 室町~桃山 1領 館蔵
143. 能管 銘「鬼一文字」 笛筒は江戸中期 1管 館蔵
144. 脚付ギヤマン杯 安政4年 1対
赤井きち・晋氏寄贈資料
145. 百万塔 奈良 1塔 伊澤家C
146. 白磁四耳壺 唐(8C) 1口 ゴトウC
147. 定窯白磁 1口 ゴトウC
148. 勝色金日の丸塩竈神号旗 江戸 1旒
千葉登志子氏寄贈資料
149. 緋精好長袴 江戸後期 1腰 館蔵
150. ◇竹菱梅葵紋蒔絵女乗物 江戸後期 1挺 館蔵
151. 村梨地葵紋蒔絵調度 江戸中後期 1式
聖和学園寄贈資料
152. ◇葵紋菊蒔絵耳盥・台輪 江戸中期 1具 伊文
153. 花樹に貝尽し蒔絵調度 江戸前期 1式 館蔵
154. 葵紋橘蒔絵櫛台 江戸後期 1式 館蔵
155. 若松竹橘紋膳椀類 蒔絵 中西喜太郎作
安政4年 1式 館蔵
156. ◇花鳥山水蒔絵箆 石村忠貞作 元禄2年 1張 伊文
157. 雪薄竹に雀紋桜枝散蒔絵書棚 江戸中期 1基 館蔵

158. 松竹梅牡丹紋蒔絵貝桶 江戸中期 1合 伊文
 159. 葵紋竹菱蒔絵雛調度 江戸後期 1式 館蔵
 No.88、89、91、94、136、141、143、146、153、154、156
 は前期展示、No.95~98、137、142、144、147、155、157は
 後期展示、No.100~107は5/12~6/6展示、No.108~116は
 6/8~6/20展示、No.131、133、135は会期中展示替え

第5部 めぐる 旅して見つける仙台

160. 竹図屏風 慶長15年 2曲1隻 伊文
 161. ◆扇面図屏風 慶長15年 6曲1双のうち1隻 伊文
 162. 仙台藩村分絵図 元禄15年頃 1幅 館蔵
 163. ◇仙台城下絵図 寛政元年頃 1鋪 片倉家資料
 164. 名取郡北方根岸村・平岡村入合絵図 文政年間 1鋪 館蔵
 165. 亘理城絵図(要害図) 江戸前期 1鋪 伊文
 166. 江戸芝口上屋敷絵図 寛保3年以降 1幅 佐藤巧氏寄贈資料



166. 江戸芝口上屋敷絵図

167. 江戸藩邸芝口上屋敷庭園図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 伊文
 168. 仙台城普請窺絵図 元禄7年11月16日 1鋪 藤縄達夫氏寄贈資料
 169. 仙台城普請奉窺候絵図 宝永4年9月7日 1鋪 伊澤家C
 170. ◇菊桐紋釘隠・唐草文金具 江戸初期 各1口 杉村豊太郎氏寄贈資料
 171. ◇仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図 江戸 1巻 千田文彦氏寄贈資料
 172. 奥州仙台名所尽集 江戸後期 1巻 尚文館C
 173. 奥州名所図会 大場雄淵著 江戸後期 2冊 報恩会
 174. 御領内名所図会 佐久間晴岳筆 嘉永5年以降 1巻 報恩会
 175. 塩竈松島図巻 小池曲江筆 文化7年 1巻 館蔵
 176. 仙台領奥州街道絵図 荒川如慶筆 江戸中期 1帖 館蔵
 177. 奥州仙台領郷帳 正保2年 3冊 報恩会
 178. 楽山公行列図巻 江戸末期~明治 2巻 伊文

179. 安政四年御野初行列図巻 江戸末期 1巻 伊文
 180. ◇仙台橋(大橋)の擬宝珠(慶長6年) 1点 齋藤報恩会寄贈資料
 181. ◇榴ヶ岡花見図屏風 江戸中期 6曲1隻 阿部次郎C
 182. 仙台城下図屏風 吉成東温筆 慶応元年 6曲1隻 三原良吉C
 183. ぼんぼこ祭図 遠藤曰人筆 江戸後期 1幅 館蔵
 184. 谷風・小野川立合いの図 勝川春章画 天明年間 1面 館蔵
 185. ◇明治元年現状仙台城市之図 明治元年 1面 館蔵
 186. ◇仙台城下絵図 文久2年9月 1幅 報恩会
 187. 玉蟲家日記 素軒(玉虫幸茂)ほか筆 元文3年~天保11年 3冊 報恩会
 188. 参詣記 佐吉筆 文政3・4年 1冊 報恩会
 189. 料理指南記 原本:橋川房常筆 原本は享保18年・安永2年写 1冊 館蔵
 190. 環海異聞 大槻玄沢・志村弘強著 原南嶺私註 天保4年4月 2冊 館蔵
 191. ◇入北記 玉蟲左太夫筆 安政4年 9冊 玉蟲左太夫関係資料
 192. ◇航米日録 玉蟲左太夫筆 万延元年 10冊 玉蟲左太夫関係資料
 193. ◇世界之図 林子平筆写 安永4年 1鋪 中村徳重郎C
 194. 海国兵談 林子平著 寛政3年刊 3冊 館蔵
 195. 漢土加留多・阿蘭陀加留多 18C 8枚 藤塚家資料
 196. 蝦夷錦の袖口 18C 1点 藤塚家資料
 ※No.166、168、181、183、185、189は前期展示、No.167、169、182、186、187は後期展示

第6部 くらべる 動物の絵と影絵

ようこそ、いろいろ動物園へ

197. 虎図 東東洋筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C



197. 虎図

198. 虎図 菅井梅閑筆 文化9年 1幅 館蔵
 199. 虎図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C
 200. 龍虎図 小池曲江筆 天保6年 2幅 館蔵
 201. 孔雀図 小池曲江筆 寛政6年 1幅 館蔵
 202. 孔雀図 小池曲江筆 寛政10年 1幅 石原謙太郎C
 203. 桐に鳳凰図 小池曲江筆 天保10年 1幅 館蔵
 204. 駱駝図 菊田伊徳筆 文政7年 1面 伊文

205. 双鹿図 東東菜筆 江戸後期 1幅
 206. 象図 菅井梅関筆 江戸後期 1幅

伊文
 新津宗助C



206. 象図

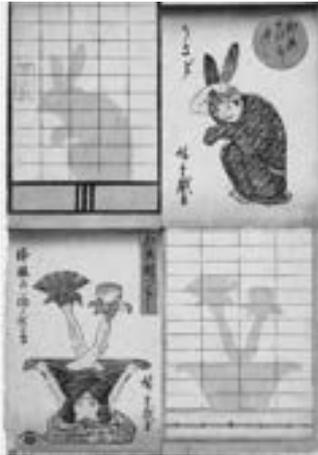
207. ◇河図 東東洋筆 文化14年 1幅
 208. 鷺図 東東洋筆 文政12年 1幅
 209. 昇龍図 菅井梅関筆 天保6年 1幅
 210. 龍図 東東洋筆 安永7年 1幅

館蔵
 館蔵
 館蔵

東量三氏・東眞氏寄贈資料

211. 花鳥雑画卷 東東洋筆 文化3年 1巻
 212. 即興かげぼし尽し 根上りの松・梅に鷺
 歌川広重画 天保年間 1枚
 213. 即興かげぼし尽し 塩引さけの魚・茶がま
 歌川広重画 天保年間 1枚
 214. 即興かげぼし尽し うさぎ・鉢植の福寿草
 歌川広重画 天保年間 1枚

館蔵
 館蔵
 館蔵
 館蔵



214. 即興かげぼし尽し うさぎ・鉢植の福寿草

215. 即興かげぼし尽し 岩に雁・ねこ
 歌川広重画 天保年間 1枚

館蔵

216. みぶり絵のうち 鳥 歌川豊国画 文化6年 1枚
 217. みぶり絵のうち 猫 歌川豊国画 文化6年 1枚

阿部次郎C
 阿部次郎C



217. みぶり絵のうち 猫

218. みぶり絵のうち かに 歌川豊国画 文化6年 1枚
 阿部次郎C
 219. みぶり絵のうち かめ 歌川豊国画 文化6年 1枚
 阿部次郎C
 220. 其面影程能写絵 おかづり・えびにあかがい
 歌川国芳画 弘化4年～嘉永4年 1組 館蔵
 221. 其面影程能写絵 獵人にたぬき・金魚にひごいっ子
 歌川国芳画 弘化4年～嘉永4年 1組 館蔵
 ※No.201、212、213、216、217、220は前期展示、No.202、203、
 214、215、218、219、221は後期展示

特別展

「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」

会 期 令和3年7月9日(金)～9月5日(日)

開館日数 51日間

観覧者数 66,141人(1日平均約1,297人)

観 覧 料 一般1,600円(前売1,500円/平日限定
前売1,300円)、高校・大学生1,400円、
小・中学生900円

※平日料金あり(各区分100円引き。前売・
他の割引との併用不可。)

主 催 「古代エジプト展」仙台展実行委員会
(仙台市博物館、河北新報社、仙台放送)、
ライデン国立古代博物館

協 賛 大日本印刷

協 力 ヤマトグローバルロジスティクスジャパン

後 援 外務省、オランダ王国大使館、宮城県、
宮城県教育委員会、毎日新聞仙台支局、
朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、
産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙
台支局、仙台リビング新聞社、NHK仙
台放送局、tbc東北放送、ミヤギテレビ、
KHB東日本放送、エフエム仙台、ラジ
オ3FM76.2

オランダにあるライデン国立古代博物館では、ヨーロッパ有数のエジプトコレクションを所蔵している。本展では、質・量ともに優れた同館のコレクションより、人や動物のミイラ、棺、石碑、パピルスなど厳選された資料約250点を展示し、古代エジプト人の生活や社会、死生観といった文明のさまざまな側面にせまる展示を行った。さらに、科学技術を駆使した研究成果から判明した、古代エジプト人の医学的な知識やミイラ作りの過程、色や形に対する美意識に関する最新の知見も紹介した。

新型コロナウイルスの感染拡大への対策が必要な時期の開催であったものの、対策を徹底して運営を行い、観覧者にもご協力をいただくことで無事に終了することができた。

展示では木棺を立てて展示した立体展示やミイラのCTスキャン映像といったこれまでのエジプト展には無い内容について、観覧者から満足の声が多く聞かれた。

展示構成

第1章 エジプトを探検する

第2章 エジプトを発見する

第3章 エジプトを解読する

第4章 エジプトをスキャンする



開会式



展示風景①



展示風景②

印刷物

ポスター B 1判 60枚

B 2判 1,630枚

チラシ A 4判 110,000枚

割引券 200,000枚

※図録は巡回図録を販売(A 4判)



ポスターB2判

関連行事

(1) 記念講演会

「杜と森：自然から読み解く古代エジプト文明の
ミイラと棺」

7月10日(土) 13:30～14:30

博物館ホール 参加31人

講師：中野智章氏（本展監修者、中部大学教授）



記念講演会

(2) しろ・まち講座

「解き明かせ！古代エジプトの謎」

7月31日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加41人

講師：小田嶋なつみ（当館学芸員）

(3) ミュージアムセミナー

7月29日(木) 10:30～12:00 参加38人

(4) 友の会広報セミナー

7月12日(月) ①10:30～12:00 参加34人

②13:30～15:00 参加35人

(5) 夏休み自由研究サポートプロジェクト

古代エジプト展用 子どもガイドシート、新聞
用紙および作成例を配布 配布枚数7,339枚

(6) 新型コロナウイルス感染症対策について

当展覧会は混雑が予想されたため、基本的な感染症対策を徹底して運営するとともに、展示室の収容人数に応じた入場規制を実施した。ほかにも、団体割引の中止、平日限定前売券の発売、土曜日の18:30分までの開館時間延長、ツイッターで混雑情報の発信などを実施し、来館者の分散を図った。

また、8月12日(木)より宮城県・仙台市独自の緊急事態宣言発令、8月20日(金)より宮城県へのまん延防止等重点措置適用、8月27日(金)より緊急事態措置区域への追加がなされた。これに対し当館では、仙台市のガイドラインに則り、前売券販売施設であることから、予定通り9月5日(日)まで開館した。



会場内の感染対策掲示

展示資料リスト

※掲載資料は全てライデン国立古代博物館所蔵

※資料名、年代、出土地・制作地の順に記載

※欠番 (No.24、37、41、42、50、151、202、204、213、215、221) は出品せず図録のみ掲載。

第1章 エジプトを探検する

1. アブシールのピラミッド複合体模型 2001年 オランダ
2. ギザの大スフィンクス (『コルネリス・ドゥ・ブラウンの旅』より) 1698年
3. ルクソール神殿 (『エジプト誌』第3巻より) 1809~22年
4. ヒエログリフの表 (『エジプト誌』第5巻より) 1809~22年
5. ロゼッタ・ストーン (レプリカ) 1972年 ロンドン
6. 敵を討つラメセス2世 (『エジプトとヌビアの記念物』第1巻より) 1832~34年
7. 外国から連れてこられた動物 (『エジプトとヌビアの記念物』第2巻より) 1832~34年
8. テーベの貴族墓に描かれた文様 (『エジプトとヌビアの記念物』第2巻より) 1832~34年
9. ツタンカーメン王の倚像 新王国、第18王朝、前1330年頃 テーベ
10. 円筒形壺 初期王朝、第1王朝 (前2900~2730年頃) アブー・ラワシュ
11. 壺 初期王朝、第1王朝 (前2900~2730年頃) アブー・ラワシュ
12. 皿 初期王朝、第1王朝 (前2900~2730年頃) アブー・ラワシュ
13. ミニチュア円筒形壺 古王国、第4王朝 (前2543~2436年頃) アブー・ラワシュ
14. 壺 後期メロエ (2~4C) ショカン
15. 瓶 後期メロエ (2~4C) ショカン
16. オイル・ランプの断片 後期メロエ (2~4C) ショカン
17. アブダッラー・ニルキ教会の模型 1982~83年 オランダ
18. 高台付壺 古ヌビア (8~15C頃) アブダッラー・ニルキ教会
19. コプト十字架の断片 古ヌビア (8~15C頃) アブダッラー・ニルキ教会
20. マヤとメリトの墓の模型 1997年 オランダ
21. ホルミンの供養像 新王国、第19王朝、セティ1世からラメセス2世の治世 (前1290~1213年頃) サッカラ
22. アメンヘテブ・フィの方形座像 新王国、第19王朝、ラメセス2世の治世 (前1279~1213年頃) サッカラ
23. イウイウの供養像 新王国、第18王朝 (前1539~1292年頃) サッカラ
25. アメンヘテブ・フィのピラミディオン 新王国、第18王朝 アメンヘテブ3世の治世 (前1390~1353年頃) サッカラ
26. 王の書記パウティのピラミディオン 新王国、第19王朝、セティ1世の治世 (前1290~1279年頃) サッカラ



26. 王の書記パウティのピラミディオン

27. パカルの石碑 新王国、第18王朝、ツタンカーメンからアイの治世 (前1332~1320年頃) サッカラ
 28. バゲルゲルのナオス形石碑 新王国、第19王朝 (前1292~1191年頃) サッカラ
 29. バゲルゲルのナオス形石碑 新王国、第19王朝 (前1292~1191年頃) サッカラ
 30. バゲルゲルのナオス形石碑 新王国、第19王朝 (前1292~1191年頃) サッカラ
 31. バゲルゲルのナオス形石碑 新王国、第19王朝 (前1292~1191年頃) サッカラ
 32. サッカラの将軍ホルエムヘブの墓から出土したレリーフ (レプリカ) 20C オランダ
 33. 将軍ホルエムヘブの供養像 新王国、第18王朝、ツタンカーメンの治世 (前1332~1324年頃) サッカラ
- ### 第2章 エジプトを発見する
34. ワニの描かれた壺 先王朝、ナカーダI期 (前3750~3650年頃) エジプト
 35. 船の描かれた壺 先王朝、ナカーダII期 (前3500~3300年頃) エジプト
 36. ペルイブセン王の印影がついた土器の栓 初期王朝、第2王朝 (前2660~2650年頃) アビドス
 38. 名前不詳の供養碑 第1中間期、第11王朝、前2000年頃 ゲベレイン (?)
 39. クウと家族の供養碑 中王国、第12王朝、アメンエムハト2世の治世 (前1878~1843年頃) アビドス
 40. カームスとセネブセンの石碑 第2中間期、第17王朝 (前1540年頃) (?) リザイカート
 43. アメンエムヘブの碑 新王国、第19王朝 (前1292~1191年頃) エジプト
 44. フルーツ 新王国時代 (前1539~1077年頃) エジプト
 45. パマアエフの碑 第3中間期、第22王朝 (前943~746年頃) テーベ
 46. タネトアメンのプタハ・ソカル・オシリス像 第3中間期、第21王朝 (前1076~944年頃) テーベ
 47. 呪術テキストが記された彫像の断片 後期王朝、第26王朝 (前664~525年頃) エジプト

48. ホルの碑 後期王朝、第26王朝（前664～525年頃） テーベ
49. イシスの像 グレコ・ローマン、ローマ エジプト
51. 神官の小像 後期王朝もしくはプトレマイオス朝（前722～30年頃） エジプト
52. プタハイルディスが奉献した神官の小像 後期王朝もしくはプトレマイオス朝（前722～30年頃） エジプト
53. アメン神に捧げられたカーエムテルの像 新王国、第19王朝（前1292～1191年頃） ディール・エル=メディーナ
54. シチュラ 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
55. シストラム グレコ・ローマン、前332年から後1 C頃 エジプト
56. シストラムの断片 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
57. 香炉の部分 新王国時代、第18王朝末から第19王朝（前1300～1191年頃） エジプト
58. 神の標章の装飾 後期王朝、第26王朝（前664～525年頃） エジプト
59. イシスとオシリスが彫られた石碑 新王国、第18王朝から第19王朝（前1300年頃） アビドス
60. 膝にホルス神を載せたイシス女神の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
61. ハルボクラテスの立像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
62. 二重冠をかぶるハヤブサ 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
63. パディコンスの『死者の書』 第3中間期、第21王朝（前1076～944年頃） エジプト



63. パディコンスの『死者の書』

64. 台座にのったプタハ神の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
65. トト神の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
66. 角の間に太陽円盤と羽のついた冠をかぶるハトホル女神（？）の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
67. ムウト神の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
68. モンチュウ神の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
69. 月の神の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
70. ネフェルテム神の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
71. 蛇の頭を持つ神像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
72. プトレマイオス王の立像 グレコ・ローマン、プトレマイオス朝、前3 C エジプト
73. バステト女神の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
74. 台座にのったイクニューモン 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
75. 猫の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
76. イクニューモン 後期王朝（前722～332年頃） エジプト



76. イクニューモン

77. コブラ 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
78. ヒヒの像 新王国、第18王朝（前1539～1292年頃） エジプト
79. オクシリンコス魚 新王国後期（前1170～1150年頃） エジプト
80. コウモリ 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
81. サソリ 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
82. ハリネズミ 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
83. アトゥム神の像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト

第3章 エジプトを解読する

84. ネスナクトの『死者の書』 グレコ・ローマン、プトレマイオス朝（前304～30年頃） エジプト
85. ネスナクトの『死者の書』 グレコ・ローマン、プトレマイオス朝（前304～30年頃） エジプト
86. ネスナクトの『死者の書』 グレコ・ローマン、プトレマイオス朝（前304～30年頃） エジプト
87. ネスナクトの『死者の書』 グレコ・ローマン、プトレマイオス朝（前304～30年頃） エジプト
88. アセトウェレトの『死者の書』 後期王朝、第30王朝（前380～343年頃） テーベ
89. 心臓スカラベ 後期王朝、第26王朝（前664～525年頃） エジプト
90. 心臓スカラベ 年代不詳 エジプト
91. バァ 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
92. バァ 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
93. バァのついたタァとチャィのシャプティ 新王国、第19王朝（前1292～1191年頃） サッカラ（？）
94. 供物卓 中王国（前1980～1760年頃） アビドス
95. セベクテンの石碑 中王国（前1980～1760年頃） アビドス
96. 黄金の顔を持つパヘルペンエスの像 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
97. 睡蓮の花を持つ女性像 グレコ・ローマン、プトレマイオス朝（前304～30年頃） エジプト
98. 家族の群像 新王国、第18王朝、アメンヘテプ2世の治世（前1425～1400年頃） エジプト
99. イルナクトアメンとワウィの像 新王国、第19王朝（前1292～1191年頃） エジプト
100. 黄金の耳飾り 新王国、第18王朝（前1539～1292年頃）以降 エジプト
101. 黄金の耳飾り 新王国、第18王朝（前1539～1292年頃）以降 エジプト

102. 黄金の耳飾り 新王国、第18王朝（前1539～1292年頃）以降
エジプト
103. 黄金の耳飾り 新王国、第18王朝（前1539～1292年頃）以降
エジプト
104. 雄牛の耳飾り グレコ・ローマン、プトレマイオス朝
（前304～30年頃） エジプト
105. 護符とビーズの首飾り 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
106. ホルスの眼が付いた首飾り 新王国（前1539～1077年頃）
エジプト
107. 護符のついた首飾り 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
108. 羊頭の付いた首飾り 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
109. 多くのスカラベが付いた首飾り 年代不詳 エジプト
110. さまざまな色のガラス製ビーズが付いた首飾り 年代不詳
エジプト
111. 大型金製ビーズのついた首飾り 新王国
（前1539～1077年頃） エジプト
112. 花形のペンダントが付いた首飾り 新王国
（前1539～1077年頃） エジプト
113. 胸飾り 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
114. 醸造所の模型 中王国（前1980～1760年頃） エジプト
115. 船の模型 中王国、第11王朝（前2009～1940年頃） エジプト
116. 楕円形のバスケット 新王国、第18王朝
（前1539～1292年頃） エジプト
117. 杯 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
118. 隼のついた鏡 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
119. 野生ヤギの把手付アンフォラ 新王国
（前1539～1077年頃） エジプト
120. シチュラ 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
121. タツア 新王国、第18王朝から第19王朝、
アメンヘテプ2世からラメセス2世の治世
（前1425～1213年頃） エジプト
122. 双把手付アンフォラ 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
123. 双把手付多色ガラス壺 新王国、第18王朝、
アメンヘテプ3世からアクエンアテンの治世
（前1390～1336年頃） エジプト
124. ヤシ柱形ガラス製瓶 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
125. バッキのセネト・ゲーム箱 新王国、第18王朝から
第19王朝（前1539～1191年頃） エジプト
126. 少女の形をした把手付軟膏スプーン 新王国
（前1539～1077年頃） エジプト
127. ハトホルの把手が付いた鏡 新王国（前1539～1077年頃）
テーベ（?）
128. 木製の枕 新王国、第18王朝（前1539～1292年頃） エジプト
129. オシリスの姿をしたホルのパピルス容器 後期王朝、
第26王朝（前664～525年頃） テーベ
130. イレトホルルウのプタハ・ソカル・オシリス像
グレコ・ローマン、プトレマイオス朝（前304～30年頃）
エジプト
131. ネヒのシャブティ 第2中間期（前1759～1539年頃）
アビドス（?）
132. プサムテクのシャブティ 後期王朝（前722～332年頃）
エジプト
133. ホルウジャのシャブティ 後期王朝、第30王朝
（前380～343年頃） ハワラ
134. タアのシャブティ 新王国、第19王朝
（前1292～1191年頃） テーベ
135. ビアトのシャブティ 新王国、第18王朝、
アクエンアテンの治世（前1353～1336年頃） エジプト
136. イピィの棺の模型 新王国、第18王朝から第19王朝
（前1539～1191年頃） テーベ（?）
137. イピィのシャブティ 新王国、第18王朝から第19王朝
（前1539～1191年頃） テーベ（?）
138. メリトアメンのシャブティ 第3中間期、第21王朝
（前1076～944年頃） ディール・エル＝バハリ
139. ネスパネフェルヘルのシャブティ 第3中間期、第21王朝
（前1076～944年頃） ディール・エル＝バハリ
140. メリのシャブティ 新王国、第18王朝、アメンヘテプ3世
の治世（前1390～1353年頃） テーベ（?）
141. パヘリベジェトのシャブティ 新王国、第19王朝
（前1292～1191年頃） エジプト
142. コンスウヘテプのミイラ覆い 第3中間期、第20王朝から
第21王朝（前1190～944年頃） テーベ
- 143-1、143-2 コンスウヘテプの内棺 第3中間期、
第20王朝から第21王朝（前1190～944年頃） テーベ
144. アメンヘテプのミイラ覆い 第3中間期、第21王朝
（前1076～944年頃） テーベ
- 145-1、145-2. アメンヘテプの内棺 第3中間期、第21王朝
（前1076～944年頃） テーベ
- 146-1、146-2. パネシィの外棺 第3中間期、第22王朝
（前943～746年頃） テーベ
147. ネヘムスウのカルトナーージュ棺 第3中間期、第22王朝
（前943～746年頃） テーベ
- 148-1、148-2. ホルの外棺 後期王朝、第25王朝
（前722～655年頃） テーベ
- 149-1、149-2. ハイトエムハトの棺 後期王朝
（前722～332年頃） サッカラまたはエル・ヒバ（?）
150. 男のミイラの肖像 グレコ・ローマン、ローマ（1～2 C）
ファイユーム（?）



148. ホルの外棺

152. 金彩のミイラマスク グレコ・ローマン、
プトレマイオス朝（前304～30年頃） エジプト
153. デンレグの葬祭コーン 新王国（前1539～1077年頃） テーベ
154. バァの葬祭コーン 後期王朝、第26王朝
（前664～610年頃） テーベ
155. ンケベルラーセネブの葬祭コーン 王国、第18王朝、
トトメス3世の治世（前1479～1425年頃） テーベ
156. モンチュウエムハトの葬祭コーン 後期王朝、
第25王朝から第26王朝（前722～525年頃） テーベ
157. ミイラ作りの道具 後期王朝（前722～332年頃）
エジプト
158. 死者の内臓を納めた木箱 後期王朝、第30王朝
（前380年～343年頃） エジプト
159. 樹脂 前500～後300年 エジプト
160. 石製ナイフ 新王国もしくは後期王朝（？）
（前1539～332年頃） エジプト
161. ミイラの包帯 グレコ・ローマン、プトレマイオス朝
（前304～30年頃） テーベ
162. ハレレムのミイラ 後期王朝、第25王朝から第26王朝
（前722～525年頃） テーベ
163. 護符のリストが記されたパピルス グレコ・ローマン、
プトレマイオス朝（前304～30年頃） サッカラ
164. 蛇形護符 年代不詳 エジプト
165. ジェド柱の護符 年代不詳 エジプト
166. ジェド柱の護符 年代不詳 エジプト
167. ジェド柱の護符 年代不詳 エジプト
168. ウジャットの眼形護符 年代不詳 エジプト
169. 枕形護符 年代不詳 エジプト
170. パピルス柱形護符 新王国（前1539～1077年頃）
エジプト
171. アヌビス形護符 年代不詳 エジプト
172. ドゥアムトエフ神の護符 年代不詳 エジプト
173. ハピ神の護符 年代不詳 エジプト
174. ケベフセヌエフ神の護符 年代不詳 エジプト
175. イムセト神の護符 年代不詳 エジプト
176. イシス神の護符 年代不詳 エジプト
177. ネフティス神の護符 年代不詳 エジプト
178. イシスの結び目の護符 年代不詳 エジプト
179. 有翼スカラベの護符 年代不詳 エジプト
180. 階段形護符 年代不詳 エジプト
181. 指形護符 年代不詳 エジプト
182. 亜麻布でできた護符 年代不詳 エジプト
183. ベス神の護符 年代不詳 エジプト
184. タウェレット神の護符 後期王朝、第26王朝
（前664～525年頃） エジプト
185. 男根を強調した像の護符 グレコ・ローマン、
プトレマイオス朝（前304～30年） エジプト
186. 羊頭形護符 新王国（？）（前1539～1077年頃） エジプト
187. ハトホル女神の護符 年代不詳 エジプト

第4章 エジプトをスキャンする

188. 女性のミイラ 第3中間期、第22王朝（前817年頃） テーベ
189. タディスもしくはタ（ネト）カルウのミイラ 第3中間期、
第22王朝（前800年頃） テーベ
190. 男性のミイラ 第3中間期、第22王朝（前800年頃）
テーベ（？）
191. センサオスのミイラ グレコ・ローマン、ローマ、109年
テーベ
192. センサオスの顔の復元過程を示した模型 1998年
デルフト（オランダ）
193. センサオスの顔の復元模型 1998年 デルフト（オランダ）
194. 偽のトキ（？）のミイラ 後期王朝もしくはグレコ・ロー
マン（前722年もしくはそれ以降） エジプト
195. 猫のミイラ 後期王朝もしくはグレコ・ローマン
（前722年もしくはそれ以降） エジプト
196. ハヤブサのミイラ グレコ・ローマン、ローマ
（前30～後395年頃） エジプト
197. トキのミイラを入れた壺 グレコ・ローマン、
プトレマイオス朝、前3～1 C サッカラ（？）
198. トキの壺 ローマ（前30～後395年頃） ヘルモポリス
199. トキのミイラ ローマ（前30～後395年頃） エジプト
200. ワニのミイラ ローマ（前30～後395年頃） エジプト
201. 蛇のミイラ 年代不詳 エジプト
203. 楕円形のカノボス壺 中王国（前1980～1760年頃）
ダハシュール（？）
205. イレトルウのカノボス壺 後期王朝（前722～332年頃）
エジプト



205. イレトルウのカノボス壺

206. ウアフイブラーのカノボス壺 後期王朝
（前722～332年頃） エジプト
207. 葬祭用（カノボス用）箱 後期王朝（前722～332年頃）
アクミム（エジプト）
208. ホルネジュイテフの内臓を納めた木箱 グレコ・ローマン、
プトレマイオス朝（前250～200年頃） テーベ
209. パウァアメンのカルトナーージュ 後期王朝、第25王朝から
第26王朝（前722～525年頃） テーベ
210. カルトナーージュ製の足覆い グレコ・ローマン、
プトレマイオス朝（前304～30年頃） サッカラ

211. カルトナーージュ製の襟飾り グレコ・ローマン、
プトレマイオス朝（前304～30年頃） エジプト
212. 木棺 グレコ・ローマン、プトレマイオス朝
（前304～30年頃） エジプト
214. 木棺のマスク断片 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
216. 木棺につけられたひげ 新王国、第18王朝
（前1539～1292年頃） エジプト
217. 木棺につけられた神のひげ 後期王朝（前722～332年頃）
エジプト
218. 木棺につけられた神のひげ 後期王朝（前722～332年頃）
エジプト
219. 木棺用の象眼の眼 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
220. 木棺用の象眼の眼 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
222. 王の書記ジェフティの筆記用パレット 新王国、第18王朝、
トトメス3世の治世（前1479～1425年頃） エジプト
223. 容器形護符 第3中間期（前1076～723年頃） テーベ
224. ペン 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
225. ペン 新王国（前1539-1077年頃） エジプト
226. ペン 新王国（前1539～1077年頃） エジプト
227. 第19王朝の魔術/医術パピルス 新王国、第19王朝
（前1292～1191年頃） サッカラ
228. ラメセス2世の称号が記された魔術/医術パピルス
新王国、第19王朝（前1292～1191年頃） サッカラ
229. パセルの神話パピルス 第3中間期、第21王朝
（前1076～944年頃） テーベ
241. オシリス神のアテフ冠の左羽 後期王朝
（前722～332年頃） エジプト
242. 座っているトキ 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
243. トキの足 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
244. トキの頭部 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
245. 人間の足 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
246. 人間の足 後期王朝（前722～332年頃） エジプト



229. パセルの神話パピルス

230. ラメセス朝の手紙 新王国、第19王朝（前1292～1191年頃）
サッカラ
231. コプト語写本の断片 コプト（頃） エジプト
232. サギの像用の鋳型 後期王朝もしくはプトレマイオス朝
（前722～30年頃） エジプト
233. サギの像用の鋳型 後期王朝もしくはプトレマイオス朝
（前722～30年頃） エジプト
234. 花の鋳型 新王国から後期王朝（前1539～332年頃） エジプト
235. ロゼット用鋳型 新王国から後期王朝（前1539～332年頃）
エジプト
236. 青銅製ベス像 後期王朝もしくはプトレマイオス朝
（前722～30年頃） エジプト
237. ベス像の鋳型 後期王朝もしくはプトレマイオス朝
（前722～30年頃） エジプト
238. イシス女神 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
239. イシス女神の冠 後期王朝（前722～332年頃） エジプト
240. ネイト女神の頭部 後期王朝（前722～332年頃） エジプト

4. 資料の収集保管

受贈資料

令和3年度は13の個人・団体から1,501件1,533点(概数)の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者(敬称略)／資料名／数量の順に記載
学校法人聖和学園 理事長 鈴木繁雄／村梨地葵紋蒔
絵調度ほか／3件3点

横山尚平・横山欣平／仙台城本丸跡伊達政宗騎馬像
写真／1件1点

山口醇／愛宕山頂から見た仙台市街の写真／1件1
点

大久保良雄コレクション／榎本武揚像ほか／15件44
点

佐藤義光／伊達政宗書状ほか／11件11点

宮部和夫／伊達政宗書状／1件1点

森下由紀／雛人形及び雛調度／1件1点

大和田嬌子／和時計／1件1点

伊澤平一(伊澤家コレクション)／太刀 無銘 拵
共ほか／5件5点

松本光／仙台藩士松本家資料／1399件1399点

渡邊正巳／仙台城絵図／1件1点

西村容太郎／婚礼資料ほか／3件4点

早坂文雄／仙台市榴岡尋常小学校医療室落成及道路
開通記念絵葉書ほか／59件61点

購入資料

令和3年度の購入資料は0件であった。

寄託資料

令和3年度、当館では116人11,082件の寄託を受
けた。

資料修理

令和3年度は18点の修理を行った。

(1) 表具の仕立て直し・太巻装

伊達政宗書状 宛所欠(天正17年)10月2日付
1幅 計1点

(2) 太巻装

伊達晴宗書状・伊達政宗書状 3通1巻
斎藤報恩会寄贈資料 計3点

伊達政宗書状 伊河内守(伊達宗清)宛
(元和6年)潤極月21日付 1幅 計2点

(3) 裏打ち・つなぎ目直し・容器底上げ

松林蝠也斎書状 1巻 計1点

(4) 桐箱への固定

仙台ガラス筭 6本 計1点

(5) 肌裏剥がし・裏打ち・仮巻き

仙台北城下鳥瞰図のうち仙台北城下絵図(文久2年)
1幅 斎藤報恩会寄贈資料 計1点

(6) 浮世絵台紙貼り

浮世絵 歌川国貞画 大判1枚物8枚 計8点

(7) プレイミュージアム資料修理

びんざさら 1点 計1点

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世
代に継承するため当館では収蔵庫および展示室にお
いては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットし
た蛍光灯およびLEDを使用している。

また虫菌害への対策として、下記のとおり(1)加害
生物および浮遊菌・塵埃調査、(2)くん蒸庫における
くん蒸を実施し、資料の殺虫・殺菌処理を行った。

(1) 加害生物および浮遊菌・塵埃調査

目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定

塵埃・浮遊菌の数量把握

実施日① 令和3年9月8日～9月21日

(トラップ設置：令和3年9月8日～9月21日、
浮遊菌採集：令和3年9月21日)

実施日② 令和4年2月2日～2月18日

(トラップ設置：令和4年2月2日～2月17日、
塵埃調査：令和4年2月17日～18日)

方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。

菌類・塵埃はエアースンプラーによる採集
と培養による属名同定。

調査場所①：展示室・収蔵庫など館内99カ所に粘
着トラップを設置。同じく16カ所にお
いてエアースンプラーを採取。

調査場所②：展示室・収蔵庫など館内94カ所に粘
着トラップを設置。同じく18カ所にお
いてエアースンプラーを採取。

効果：調査結果をうけ加害生物の侵入を防ぐための対策を講じた。昆虫の侵入が認められた箇所を含む整理整頓と清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも館内数カ所に粘着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。

(2) くん蒸庫におけるくん蒸

目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。

実施日：①令和3年8月2日～6日

②令和3年11月8日～11日

③令和3年12月10日～14日

方法：すべてエキヒュームS（酸化エチレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はいずれも殺滅され、殺虫・殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

資料の貸出

令和3年度は6の施設に30件34点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

港区立郷土歴史館／特別展「江戸の武家屋敷—政治・生活・文化の舞台—」／仙台藩江戸上屋敷絵図1件1点／令和3年3月25日～8月5日

仙台藩白老元陣屋資料館／特別展「仙台藩ゆかりの"DATE"な工芸～受け継がれた美意識と伝統の技～」／伊達政宗所用硯（複製）1件1点／令和3年6月24日～8月19日

北海道立近代美術館／「へそまがり日本美術 禅画からヘタウマまで」展／遠藤曰人「猫兇図」など6件6点／令和3年7月17日～9月1日

佐賀県立名護屋城博物館／企画展「綺羅、星の如く—戦国の雄、肥前名護屋参陣—」／重要文化財 富塚宗綱宛て伊達政宗書状ほか4件4点／令和3年9月1日～11月19日

瑞巖寺宝物館／企画展「瑞巖寺100世 洞水東初禅師展—没後350年を記念して—」／洞水東初漢詩和韻「惟時寛永」、洞水東初書状2件2点／令和3年8月27日～12月11日

東北歴史博物館／特別展「みちのく 武士が愛した絵画」／萩に鹿図屏風ほか16件20点／令和3年9月23日～12月18日

写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。令和3年度の利用申込は230件843点であった。

「重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」はのべ16回、「国宝・ユネスコ世界記憶遺産 支倉常長像」はのべ20回の利用があった。



重文 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用



ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像

表2 収蔵指定文化財一覧

令和4年3月31日現在

国指定文化財（国宝）

項目	資料名	員数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年6月22日

※慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市公民権証書・支倉常長像・ローマ教皇パウロ五世像の3点はユネスコ記憶遺産（平成25年6月19日登録）

国指定文化財（重要文化財）

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	1領	昭和53年6月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付(伊達政宗所用) 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	昭和54年6月6日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾 1頭 頭巾 1頭 団扇 3握 軍扇 2握	1領	昭和54年6月6日
工芸品	帯(三沢初子所用) 附 総鹿子裂 2枚 入日記(正徳2年4月) 1通	12条	平成3年6月21日
書跡	塵芥集	1冊	平成15年5月29日
古文書	伊達家文書(1,046通)	26巻、21冊、 20幅、953通、 1鋪、2綴、2枚	令和2年9月30日
古文書	伊達家印章 附 印譜(44通) 3冊、2帖、39通	127顆	令和2年9月30日

宮城県指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	6曲1双 2曲1双	平成5年12月24日
工芸	薙刀 銘国包	1口	昭和34年8月31日
考古資料	土偶／鍛冶沢遺跡出土	1箇	平成24年5月1日
歴史資料	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図(写)	1軸	平成20年5月2日

仙台市指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像(狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込)	1幅	昭和44年7月31日
絵画	菊絵和歌屏風	2隻	昭和51年7月1日
絵画	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	昭和51年7月1日
絵画	菅井梅関 水亭午翠図	1幅	昭和51年7月1日
絵画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図(2曲屏風) 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図(東東洋筆)	1双 6面 4面	昭和60年9月4日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	昭和60年9月4日

項目	資 料 名	員 数	指定年月日
絵画	絹本著色霊昭女、牡丹、芙蓉図(伊達綱宗筆)	3 幅	昭和60年 9 月 4 日
絵画	紙本著色河図之図 (東東洋筆)	1 幅	昭和60年 9 月 4 日
絵画	銅板油彩悲しみのマリア像	1 面	昭和60年 9 月 4 日
絵画	瀟湘八景図(雪村周継筆)	6 幅	平成 7 年 3 月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	服飾類 (伊達政宗所用) 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1具 1領 1領 1領 1腰 1腰 1腰 1条	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織 (伊達重村所用)	1領	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2 筒 伊達忠宗作 2 筒 伊達綱宗作 6 筒 伊達綱村作 7 筒 伊達吉村作 36筒 仙台藩主作 7 筒 (以上茶杓箆筒入) 伊達忠宗作 1 筒	61筒	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	1 個 1 個	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1 合	1 面	昭和60年 9 月 4 日
工芸品	黒漆五枚胴具足(伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領)	1 領	平成20年 3 月24日
工芸品	朱黼漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付(伝上杉謙信所用)	1 領	平成20年 3 月24日
工芸品	脇差 附 金梨地葵紋拵	1 口	平成20年 3 月24日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盪	1 具	平成24年12月21日
工芸品	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1 挺	平成26年 7 月31日
古文書	晴宗公采地下賜録	2 冊	昭和51年 7 月 1 日
古文書	印章 (仙台伊達家伝来)	133類	昭和60年 9 月 4 日
古文書	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696冊	昭和60年 9 月 4 日
古文書	伊達世臣家譜及続編(仙台市博物館本)	268冊	昭和60年 9 月 4 日
古文書	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首卷 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10冊	1 冊 9 卷 9 冊 10巻14冊 1 冊	昭和60年 9 月 4 日
古文書	林子平自筆写本絵図分類 附 六無斎遺詠 1冊	8 枚	昭和60年 9 月 4 日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年 9 月 4 日

項目	資 料 名	員 数	指定年月日
考古資料	伊達政宗墓所出土品		昭和60年9月4日
	糸巻太刀刀身	1口	
	糸巻太刀拵	1腰	
	黒漆葛蒔絵文箱	1合	
	青龍付文鎮(文箱内容品)	1点	
	墨(文箱内容品)	1挺	
	黒漆白梅蒔絵箱	1合	
	梨地菊蒔絵箱	1合	
	黒漆鉄線蒔絵香合	1合	
	梨地梅笹蒔絵硯箱	1合	
	筆入(硯箱内容品)	1点	
	墨(硯箱内容品)	1挺	
	硯(硯箱内容品)	1面	
	水滴(硯箱内容品)	1点	
	梨地煙管箱	1合	
	煙管羅字(煙管箱内容品)	2点	
	梨地菊蒔絵印籠	1具	
	皮袋	1点	
	慶長1分金(皮袋内容品)	3枚	
	携帯用磁石(皮袋内容品)	1点	
	金製ブローチ(皮袋内容品)	1点	
練玉(皮袋緒締)	1点		
銀製服飾品	1点		
円鏡	1点		
毛拔	2点		
雲母製菜板	5枚		
葵紋金製菜板	1枚		
金具	一括		
残欠類	一括		
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	奥州仙台城絵図(推定正保2～3年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下五輦卦絵図(推定元禄4～5年)	4鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(推定天明6～寛政元年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(文久2年)	1幅	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱 1合	1幅	平成13年3月22日
歴史資料	旧大橋の擬宝珠	1口	平成13年3月22日

表3 収蔵資料一覧

令和4年3月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,293
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
石母田家資料	古文書等	83
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
大内源太右衛門コレクション	絵画、歴史資料等	90
大久保良雄コレクション	書跡	1,180
岡家資料	古文書等	11,000◇
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46
亀田孜コレクション	拓本、写真等	537◇
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340◇
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥蔵関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	256
小松家資料	仙台平等裂地	10
斎藤報恩会寄贈資料	絵図、古文書、古記録等	3,000◇
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	3,079◇
武田家資料	古文書、古記録、服飾等	192
武市家資料	古文書、古記録、具足	293
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
西川瑞國コレクション	陶磁器等	518
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343◇
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245◇
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	(一括)
書跡	書跡、文芸等	471
工芸・彫刻	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,927
絵画	絵画	1,184
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	18,513

総計 99,916点

(新規収蔵資料1,533点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く)
 点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。
 ◇整理中の資料群のうち整理が完了した点数、または概数を記載。

5. 教育・普及

講座・イベント

1. リピーター勧誘イベント

「よろいのシールをあつめよう！」

シール・台紙配布 5月12日(水)～6月20日(日)
7月9日(金)～9月5日(日)
9月14日(火)～9月30日(木)

表4 よろいシール参加状況

年度	新規参加者	特典進呈
R3	136人	12人

歴代仙台藩主のよろいシールを作成し、希望があれば常設展観覧者1名につき、シール1枚を配布するキャンペーンを継続。

シールを全種類集めた参加者には特典（政宗のよろいクリアファイル）を進呈した。



2. 博物館七夕飾り

令和3年7月9日(金)～8月22日(日)

エントランスホール

柳生地区（仙台市太白区）に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具（吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠）を作り、展示した。短冊は、博物館ツイッターにて願い事を募集し、職員が代筆して飾り付けた。



3. 夏休みサポートプロジェクト

令和3年7月24日(土)～8月24日(火)

令和3年度は特別展「ライデン古代国立博物館所蔵 古代エジプト展」の開催に合わせて、特別展のこどもガイドシートを作成し配布した。その他、新聞用紙や新聞作成例等を配付し、児童・生徒の調べ学習の一助となるようにした。（総配布数 3種 7,339枚）また、博物館ホームページのキッズコーナーに、調べ学習サポートのページを設け、歴ネットシートや新聞用紙を掲載し、必要に応じて活用できるようにした。

4. 仙台っ子歴史探検隊

令和3年8月21日(土) 9:30～11:00

館庭・講習室 参加者 11人

小学4年生から6年生を対象に、博物館資料を見学したり、体験活動をしたりしながら、仙台の歴史や文化について学ぶイベント。令和3年度は、館庭内を巡るクイズラリーと講習室で「政宗のよろい調べ」を行った。

平成26年度から博物館実習の期間中に実施し、教育普及の実践的な実習として、館職員の指導のもと、実習生が「クイズラリー」の運営に関わっている。

子どもたちを2つのグループに分け、博物館実習生を補助員としてそれぞれに配置した。「クイズラリー」では、熱心に職員の解説を聞いたり、実習生に相談したりしながら、問題を解決していく姿が見られた。また、「よろい調べ」では実際によろいに触れながら気が付いたことを質問するなど、興味を持ちながら学びを深めていた。



館庭でのクイズラリーの様子



よろいをじっくり調べる様子

5. 親子体験イベント

夏休み工作教室

「紙つばめをつくろう」

令和3年8月22日(日)

1回目 9:30~11:30 2回目 13:30~15:30

講習室 参加者 20人

1回目:子供4人、大人6人

2回目:子供5人、大人5人

小中学生親子を対象とした夏休みの工作教室を行った。感染症対策として、午前と午後の2回に分け、少人数での参加とした。

今回は閉室中のプレイミュージアムと関連させ、展示している資料や昔の玩具のおもしろさなどを紹介、その後からくり玩具の紙つばめを製作した。どの親子も製作活動を楽しむ姿が見られた。最初はつくった紙つばめがうまく回らなかったが、親子で試行錯誤したところコツがつかめて回るようになり、喜ぶ様子なども見られた。参加者からは「9月にプレイミュージアムが開室したら来たい。」「コロナ禍でもこのようなイベントを開催していただきありがたい。」などの感想が聞かれた。



親子でふれあいながらつくる様子

6. しろ・まち講座 42~44

仙台城と城下町仙台についての理解を一層深めたり、展覧会の見どころについて紹介したりするために講座を実施している。令和3年度は地震被害や新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となり、また、No.43については当初の予定(6月5日)から延期となるなど開催日の変更があったが、予定していた3つの講座とも実施することができた。感染症対策として、事前申し込み制とし、人数を制限して開催した。会場は博物館ホールで13:30~14:30に開催した。

表5 令和3年度 しろ・まち講座

No.	月日	講師・演題	参加者
42	5/22 (土)	菅原美咲(当館学芸員) 「名品ここだけの話 集まれ! 動物にまつわる名品」	22人
43	9/18 (土)	高橋あけみ(当館副館長) 「名品ここだけの話-工芸の名 品秘話」	35人
44	7/31 (土)	小田嶋なつみ(当館学芸員) 「解き明かせ!古代エジプトの 謎」	41人



しろ・まち講座43

7. まちなか博物館講座 10

平成28年度より東北工業大学との連携事業として、歴史や美術に関する講座を実施している。令和3年度は、企画展「たっぷり わくわく 名品尽し」に関連し、仙台藩の藩主と動植物に関わる資料や、その背景にあるエピソードなどを紹介する講座(第10回)を、オンライン(Zoom)による動画配信で行った。

表6 令和3年度 まちなか博物館講座

No.	月日	講師・演題	参加者
10	5/29 (土)	菅原美咲(当館学芸員) 「殿さまと動植物」	23人



まちなか博物館講座10

8. 生涯学習推進(館内講師・館外講師派遣)

団体・機関などからの依頼を受けて、感染症対策を講じながら学芸員等の館職員が館内もしくは館外で講話を行った。令和3年度は10月から改修工事による休館となったこともあり、館外講師の件数が令和2年度より11件ほど増えた。

下表は、当館で受理された「講師派遣申込書(館内・館外)」を基に作成した講師派遣状況である。なお、ここでは、一般を対象とした講師派遣状況についてのみ記載し、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を対象とした講師派遣状況(館内・館外)については、「学校教育との連携」の頁に記載している。

表7 令和3年度 館内外講師派遣状況

講師派遣(館内・館外)	件数	対象人数
館内講師 ○特集展示の解説等	3件	45人
館外講師	23件	1,159人
合計	26件	1,204人

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。この部屋のミュージアム・アシスタント(1名)がその手伝いをしている。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物(常設展示)と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物(イベント)の2種類がある。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、体験型ではなく、見て楽しむ展示室として開室した。過去の特別イベントの紹介コーナー、遊び絵コーナーなどの他、参加型の体験イベントの代わりに持ち帰り用の工作セットを配布するコーナーを設置した。

※特別展「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」の7/9(金)～9/5(日)の期間は、多くの来場者が見込まれたため、感染症対策として閉室。



1. 常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす音を出す・うつしとる・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

「変身する」の利用者行動の中に含まれる「政宗のかぶとをかぶってみよう」は人気のある常設展示となっている。(令和3年度は体験なし)

表8 令和3年度 主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（埴・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居	
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・べたたくた・藍づきお蔵・餅つき兔・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・かっぱのすいか喰らい・ずぼんぼほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形	
音を出す	箏／法螺貝／銅鐸／神楽鈴／五鈴鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯨・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器	
写し取る	平面	収蔵品の透過写真や複製版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用）
	立体	複製の縄文土器（型取器を使用）
はかる	長さ	物差し（曲尺・鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー
	量 重さ	枡（一升・五合・一合）／計量カップ ヘルスマーター／台秤
織る	平織機（カラコ） 織りの組織見本	編む 百足編み 花結び
変身する	複製や復元品	政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖
	その他	十二単着せ替え人形／草鞋／お面（仙台張子）／手拭
考 え る	からくりの復元 アイ・トリック	二挺天府式和時計 ゆがみ絵／トロンプリュウ（だまし絵）／ゾートロープ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞘絵／立体眼鏡／万華鏡類
	ゲーム	投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ
	パズル	組木パズル／大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネット式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチャパズル日本地図
学ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書	

以上は、購入、委託製作、当室製作からなる

(1) 入場者数

令和3年度 4,576人

(2) 配布物

① よろいのワークシート 223人

② 「体はものさし」テキスト 148人

2. イベント

変身タイム

よろいや小袖などを着用して変身するイベント。例年、年3回実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回とも中止とした。

3. 特別イベント

特別イベントを企画する際の原則は以下の通りである。

- (1) 入室には常設観覧料を必要とするため、イベント参加を目的に訪れる利用者に配慮し、材料費無料とし、用具などの必要なものはすべて用意する。
- (2) 表示やテキストを見ながら、できるだけ自分でできる内容とする。
- (3) 内容は以下に分類されるものを取り上げる。

- 常設展示資料に焦点をあてたもの
- 年中行事や季節にあわせたもの
- ◎ 特別展や企画展にちなんだもの

表9 令和3年度特別イベント一覧

期間	配布数	内 容
◎ ミニ掛軸をつくろう		
5/12(水)～6/20(日) 35日間	680セット	企画展「たっぷり わくわく 名品尽くし」に関連した、掛軸づくりの工程を楽しんでもらうイベント。感染症対策として、持ち帰り用の製作セットを配布した。展示資料の掛軸の絵柄4種から好きな絵柄のセットを選び、自宅で説明書を見て、掛軸の名称などを確かめながらじっくり製作できるようにした。
● べたたくたをつくって遊ぼう		
9/14(火)～9/30(木) 16日間	291セット	プレイミュージアムで展示しているからくり玩具「べたたくた」を簡単な材料で作り、楽しんでもらえるように持ち帰り用の製作セットを配布した。当館ホームページのキッズコーナー「チャレンジ!おうちで楽しむ博物館」にも掲載しており、それらを紹介するコーナーも設けた。

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積される。その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するため、図書などの二次資料で提供している。また、歴史的分野の生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の要素であり、当センターを実践の場と位置付けている。

更に、利用者のニーズにも対応できるよう運営している。ミュージアムアシスタント2人（うち司書1人）が、利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表10参照）。

令和3年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館あるいは閉室を余儀なくされた。更に、5月28日（金）午前センター内天井の水漏れが発生したため、急遽閉室としたが、翌日午後には復旧し開室した。

休館・閉室期間中も外線電話による問合せ・質問等については対応した。

なお、図書収蔵スペースの狭隘化対策および大規模改修工事に伴い、館内の一部の図書を赤石文化財収蔵庫へ移動した。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

開室中の対策として、仙台市のガイドラインに基づいた利用案内を入口に掲示し、利用者に「利用票」の記入や短時間の利用を呼びかけた。また、室内は座席数を減らし、飛沫防止対策として透明ビニールやアクリル板を設置した。

地震被害状況

令和4年3月16日に発生した地震では、配架されていた図書の落下は見られたものの、蔵書などに大きな被害はなかった。また、大規模改修工事の休館中であったため、利用者への影響は抑えられた。

提供資料

1. 図書資料

図書は自由閲覧とし、センター内書架に配している蔵書以外にも要望により閲覧に供しているが、全て貸し出しには応じていない。

内容は、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史および分野別の全集、美術全集、百科事典および分野別の辞典類、古典文学などである。

令和3年度の受入図書は1,107冊で、図書整理の結果、蔵書数は84,255冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は6,255冊である。

また、センター内の企画として、特別展・企画展

表10 令和3年度 情報資料センター利用状況（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	—	98	127	251	424	189							1,089
相談質問	14	11	7	26	23	22							103
外線問合せ	235	313	421	689	1,022	482							3,162
映像利用	利用者	—	—	—	—	—							—
	利用(件)	—	—	—	—	—							—
図書複写利用	利用者	—	17	16	16	28	30						107
	複写(枚)	—	331	267	201	720	360						1,879
マイクロフィルム利用	利用者	—	1	8	9	12	21						51
	複写(枚)	—	26	507	509	263	2,412						3,717
画像提供装置利用者数 (情報資料センター内)	—	—	—	—	—	—							—
収蔵資料検索アクセス数 (情報資料センター)	—	—	—	—	—	—							—

- ・5月11日まで臨時休館（令和3年2月13日地震被害修理工事、新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
- ・6月21日～7月8日：展示替えのため臨時休館
- ・8月29日～9月5日：緊急事態宣言のため情報資料センター閉室。
- ・9月6日～9月13日：新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館。
- ・10月1日～大規模改修工事のため長期休館。

※臨時休館中、いずれも外線問合せは継続、相談質問は電話で対応(10月1日以降除く)。

など展示に関連した特設図書コーナーを設置した。さらに、「夏休み自由研究サポートプロジェクト」の一環として、仙台の歴史や文化に関する本を紹介する「調べ学習コーナー」を設置した。

特設図書コーナーは今年度4回設置し、設置冊数は延べ115冊であった。



「奥羽再仕置430年」関連図書コーナー

2. 収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心に、絵巻物・浮世絵等の写真を添付したカードを整冊し、開架書架に配している。

3. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。マイクロリーダープリンター1台を設置し、有料（申込制）で複写プリントのサービスを行っている（利用件数は表10参照）。

フィルムの資料は伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などが閲覧可能である。

4. 映像資料

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止とした。

例年は申込制の利用とし、館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示・行事の情報、また全国の博物館・美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

6. デジタルデータの活用

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、休止した。通常運用は以下のとおりである。

総合展示室（5台）に設置された来館者用情報提供システムと同様のものを1台設置。特に、当センターとプレイミュージアムに設置しているものは収蔵品や関係施設を検索しやすいキーワード検索機能を備えている。

学校教育との連携

1. 学校の博物館利用状況

表11から分かるように、令和3年度の学校の博物館の総利用状況は38件・935人（前年度比件数32件減・767人減）であった。新型コロナウイルス感染症および大規模改修工事に伴う10月からの休館の影響で前年度より利用件数、来館人数ともに減少した。市内学校の利用状況は28件・796人（前年度比8件減・179人減）であった。市内の小学校の来館件数は年間を通して7件（前年度比9件減）、市内の中学校の来館件数は年間を通して2件（前年度比同等）であった。市内の来館は平成27年の仙台市地下鉄東西線の開業により、交通手段として地下鉄を利用する場合も増えてきていたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用数が減少している。令和6年の再開館後は、市内学校の学習利用も促進していきたい。

市外学校の来館件数は10件・139人（前年度比24件減・588人減）であった。例年は4月から6月にかけて隣県の小・中学校の利用が多かったが、2月に発生した地震被害に伴う臨時休館が5月中旬まで続いたことも、来館人数の減少に大きく影響した。

学習形態については、市内の小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間に位置付け、グループの

表11 令和3年度 学校における博物館利用状況

（上段：令和3年度 下段：令和2年度）

	内 訳	件 数 (件)	人 数 (人)
利 用 数	市 内	28	796
		36	975
	市 外	10	139
		34	727
合 計	38	935	
	70	1,702	
学 習 形 態 数	一 斉	31	
		40	
	グ ル ー プ	7	
		30	
	合 計	38	
70			
利 用 目 的 数	常 設 展	5	139
		70	1,702
	企 画 展	12	457
		0	0
	特 別 展	21	339
		0	0
合 計	38	935	
70	1,702		

※ 複数の利用目的があった学校があるため、「利用件数」計と「利用目的件数」計は一致しない。

表12 来館児童生徒数（人）

	R 1	R 2	R 3
小 学 校	4,866	1,130	434
中 学 校	5,226	281	94
高校・大学等	1,737	291	407
合 計 者 数	11,829	1,702	935

表13 月別状況（上段：令和3年度 下段：令和2年度 単位：件・人）

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合 計				
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数			
仙 台 市 内	小	0	0	0	0	5	326	0	0	0	0	2	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	411	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	169	8	391	2	130	0	0	2	31	0	0	0	0	16	721
	中	0	0	0	0	0	0	1	6	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	27
	高	0	0	0	0	2	40	2	61	4	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	228
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	37	
	大	0	0	1	10	3	70	3	21	2	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	134
		0	0	0	0	0	0	2	37	1	7	0	0	3	45	4	69	0	0	1	11	0	0	0	0	0	0	11	169
	他	0	0	0	0	0	0	1	1	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9	1	1	0	0	2	11	0	0	5	21		
小計	0	0	1	10	10	436	7	89	8	176	2	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	796		
	0	0	0	0	0	0	2	37	1	7	0	0	10	263	15	484	3	131	1	11	4	42	0	0	36	975			
仙 台 市 外	小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23		
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	349	3	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	409	
	中	0	0	0	0	1	11	2	25	2	31	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	81	
		0	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	12	145	4	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	254	
	高	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	17	3	19	1	10	0	0	0	0	0	0	0	8	46	
	大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	他	0	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	
		1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	
小計	0	0	0	0	1	11	4	43	2	31	3	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	139		
	1	18	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	21	511	10	175	1	10	0	0	0	0	0	0	0	34	727		
合計	0	0	1	10	11	447	11	132	10	207	5	139	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	935		
	1	18	0	0	0	0	3	50	1	7	0	0	31	774	25	659	4	141	1	11	4	42	0	0	70	1,702			

※ 1 臨時休館期間：令和3年4月1日～5月11日（地震被害のため）、令和3年6月21日～7月8日（展示替えのため）、令和3年9月6日～9月13日（新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため）、令和3年10月1日～（大規模改修工事のため）

※ 2 人数は、園児・児童・生徒・学生の数である（引率者の数は除外してある）。

※ 3 仙台市内は、入館料減免（事前申込）による来館者数及び当日来館者（どこでもパスポート利用含む）数から作成した。

※ 4 仙台市外は、来館者数（当日申込含）から作成した。

※ 5 大学と高等専門学校は、平成27年度まで「他」の枠組みで集計していたが、平成28年度より「大学等」の枠を設けて別に集計を行った。

※ 6 他は、小中一貫校、幼稚園、特別支援学校、院内学級、児童相談所、杜のひろば、放課後等デイサービス事業所等とした。

利用だけでなく、児童・生徒がまとまって入館し、博物館のプログラム（講話、体験等）を利用する学校も少なくない。

2. 学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げるため、博物館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学、職場訪問、貸出教材リスト、出前授業、教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。

また、教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料になるよう、学校向けプログラムの紹介や館内の行事日程などを掲載したリーフレットを、宮城県内の各学校に送付している。令和3年度は、2月に発生した地震被害に伴う臨時休館が5月中旬まで続いたこともあり、例年よりも時期を遅らせて送付した。

3. 学校教員対象講座

(1) ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に県内の教員を対象に行うセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらうことを目的としている。学芸員が展示の見所を解説した後、展示室の自由観覧とした。

- ・特別展「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」

参加者：21人

日 時：令和3年7月29日(木) 10:30~12:00

(2) 博物館活用研修

指導主事による社会科、図工・美術科を中心とした博物館学習に関する講話、学習プログラムの体験などを通して、博物館見学に対する意識付けを図り、博物館活用のヒントになるような研修の機会を提供した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、時間を短縮して開催した。

日 時：令和3年7月29日(木) 9:30~12:00

参加者：20人

(3) 学校・各種教育機関との連携研修

以下のように各教育機関と連携し、研修会を開催した。主に博物館指導主事、学芸員が講師となり、講座や体験実習を行った。各研修会の事後アンケートからは、博物館を利用した学習プログラムや貸出

教材を活用した授業づくりに対する関心の高まりがみられた。学校教育における博物館の活用を促す機会として、今後も充実させていきたい。

・社会教育施設連携研修

日 時：令和3年7月30日(金) 9:10~12:00

内 容：校外学習等で博物館と仙台城跡を活用した学習活動の紹介および見学

参加者：9人

・小中学校図工・美術科研修

日 時：令和3年8月3日(火) 9:30~16:30

内 容：講話「図工・美術科における博物館の活用について」「版画体験」「特別展の解説」等

参加者：17人

4. 展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説について、ボランティアが主に対応している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ボランティアの展示室内での活動が休止となったため、実施することができなかった。

5. 職場体験

キャリア教育の浸透にともない、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。令和3年度は、大規模改修工事に伴う10月からの休館により、中学校の職場体験の受け入れを見合わせた。一方、職場体験が中止となった中学校に出向き、博物館の仕事に関する講話を行った。他に県内外の小・中学生の来館時に、職業に関する質問等に随時対応した。

6. 博物館教材の貸出

令和3年度の博物館教材の貸出件数は、8件であった。最も件数の多かった貸出教材は「楽山公行列図巻」（6件）で、他には慶長遣欧使節関係資料に関するパネル資料等の貸出があった。

7. 館内講師・館外講師派遣

学校や市民センター、一般団体からの要望に応じて館職員が館内外で講話を行っている。中でも児童・生徒が博物館を見学する際には、より楽しく見学できるよう、「学習プログラム」を利用してほしいと考えている。

館内講師については、特に小・中学校で、社会科

プログラム「伊達政宗と仙台」の利用が多い。大学からの依頼では、展覧会の展示解説のほか、文化財保護や博物館の概要や活用といった内容の希望が多い。

また図工・美術科の体験プログラムを利用する学校としては小学校が多く、特別支援学校や福祉施設等の利用も増えてきている。「もんきりがたで遊ぼう」では、もんきり遊びに挑戦した後に、展示室で家紋を探しながら興味深く見学する様子が見られた。

館外講師については、主に小学校で出前授業を行った。図工・美術科プログラムの「もんきりがたで遊ぼう」は、学年を問わず手軽に体験できることから、好評を得ている。

表14 学習プログラム一覧

	プログラム名	内容
社会科	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	慶長遣欧使節と支倉常長	慶長遣欧使節の目的や支倉常長の功績について学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	オリジナル教材を使い、参勤交代の様子について学ぶ
	政宗のよろいを調べよう	体験用よろいを使い、よろいの材質や構造について学ぶ
図工・美術科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	土人形って何だろう	絵付けをとおして埴人形の歴史や特徴を学ぶ
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞やミニ屏風の製作をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ
	蒔絵であそぼう	蒔絵の製作をとおして蒔絵の美術作品や歴史について学ぶ

表15は、当館で受理された「講師派遣依頼（館内・館外）」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。（学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照）

表15 講師派遣一覧（学校関係）

講師派遣（館内・館外）	件数※	対象人数※
館内講師	17件	583人
（内訳）○社会科プログラム	7件	355人
○図工・美術科プログラム	3件	64人
○その他の講話・講義	7件	164人
館外講師	18件	1,394人
（内訳）○小学校（出前授業）	17件	1,314人
○市内大学	1件	80人
合計	35件	1,452人

※1校で複数のプログラムを行うことがあるため、館内講師件数の総数、対象人数の総数と、それぞれの内訳の合計は一致しない。

8. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、実習生の受け入れをしている。令和3年度は市内外の大学から10人の実習生を受け入れた。実習は5日間で行い、歴史・美術に関する講話および実技を中心に実習した。

日 時：8月17日(火)～8月21日(土)
9：00～16：00

9. キャンパスメンバーズ制度

平成25年4月1日から開始したキャンパスメンバーズ制度の加入校は、令和3年4月現在で16校となった。キャンパスメンバーズ加入校との連携事業としては、館内イベントへの学生サポーターの活用（令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止）のほか、博物館活用研修や、一昨年度から開始した東北工業大学とのまちなか博物館講座（詳しくは「講座・イベント」の頁を参照）がある。

令和3年度 加入校一覧（五十音順）

尚絅学院大学／聖和学園短期大学／仙台高等専門学校／仙台白百合女子大学／東北医科薬科大学／東北学院大学／東北工業大学／東北生活文化大学／東北生活文化大学短期大学部／東北大学／東北文化学園専門学校／東北文化学園大学／放送大学宮城学習センター／宮城学院女子大学／宮城教育大学／宮城大学

生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台・宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化および地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。

参加機関 17施設

仙台市科学館／仙台うみの杜水族館／せんだい3.11メモリアル交流館／仙台市縄文の森広場／仙台市天文台／仙台市富沢遺跡保存館／仙台市博物館*／仙台市八木山動物公園／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／せんだいメディアテーク*／東北学院大学博物館／東北大学総合学術博物館／東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館／東北福祉大学・鉄道交流ステーション／仙台市教育委員会(生涯学習部)*

※ * は事務局を示す。

1. ミュージアムユニバース

～すてき・ふしぎ・おもしろい～

開催期間：令和3年12月18日(土)～26日(日)

10：00～18：00（最終日は15：00まで）

参加人数：3,416人（9日間）

開催場所：せんだいメディアテーク1階

ミュージアムの魅力や新しい楽しみ方を伝え、体感してもらうことを目的に、各館の収蔵品や取り組みを紹介する「展示の広場」や、ものづくりやあそびを通して各館の特色を味わえる「体験広場」を展開した。

(1) 「展示の広場」

江戸時代の横綱・谷風の原寸パネルや遊び絵などを展示した。



横綱・谷風の原寸パネルなどの展示風景

(2) 体験の広場

○ミニ屏風づくり

日時：12月18日(土) 13：00～15：00

参加者：計25人 ※30分毎に先着10名で実施



「ミニ屏風づくり」の様子

○もんきり遊び

日時：12月18日(土) 15：00～17：00

参加者：計35人 ※30分毎に先着10名で実施



「もんきり遊び」の様子

(3) ミュージアムグッズショップ

イベント期間にあわせて、博物館オリジナルグッズのうち、人気の高いクリアファイルや水玉模様陣羽織のハンカチ、ローマ市公民権証書がデザインされたトートバックなど11点が、せんだいメディアテーク1階カネイリ・ミュージアムショップ6の特設コーナーで販売された。



オリジナルグッズの販売の様子

2. SMMA各館の交流

SMMA参加館の職員を対象とした研修会は、ミュージアムの分野を超えて日常業務の中で同じような悩みや課題を抱える職員のために、意見・情報交換、ワークショップ、外部講師を招いて講習会等を実施するものである。

平成28年度から引き続き令和3年度も博物館がSMMAの研修・交流企画部会の担当となり、SMMA各館からの研修・交流等についての要望を受けて実施した。

SMMA研修会

「ミュージアムでのバリアフリー対応について

～聴覚障害とコミュニケーション～」

日 時：令和3年11月11日(木) 15:00～16:30

開催方法：オンライン・対面

(発信会場：メディアテーク7階スタッフルーム)

内 容： 障害のある方々や配慮を必要とする方々のミュージアムの利用の観点から、どのようなことに配慮すべきか、どのような取り組みが望まれているのかを学び、ミュージアムへのアクセシビリティを考えるための研修を実施した。

講 師：宮城県聴覚障害者情報センター
施設長 松本 隆一氏

参加者：26人



研修会の様子（オンライン画面）

この他、運営会議や実行委員会を通して、SMMAの運営について協議するとともに、各館の情報交換を行った。

仙台歴史ミュージアムネットワーク（歴ネット）

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため、市内8つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成した。歴ネットと略称。事務局は当館に置かれている。平成30年度より史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設が加わり9館となった。

参加施設 9施設

地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／仙台市博物館*／仙台城見聞館／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設

※ * は事務局を示す。

1. 連携事業の実施

(1) 歴ネットクイズラリー

令和3年10月9日から令和4年1月30日まで開催した（仙台市博物館と戦災復興記念館は、大規模改修工事により休館中のため、会場となったのは全部で7館）。クイズラリーは、参加者がオリジナルクイズに答えて各館を回遊しながら仙台の歴史・文化を学ぶことができるイベントである。今年度は、4館達成者には仙台市博物館か戦災復興記念館のオリジナルグッズを、7館達成者には歴ネット各館オリジナルグッズ詰め合わせと歴ネットクリアブックをプレゼントした。また、文化芸術振興費補助金事業の一環として台紙やスタンプを外部業者に委託して作成し、親しみやすいデザインにしたり、その台紙を学校や市民センターでも配布したりしたことで、より幅広い年齢層の方々に参加していただくことができた。全館達成者のアンケート記述からは、歴ネットクイズラリーが、参加者にとって今まで行ったことのない館に足を運んだり、仙台の歴史を学んだりする良い機会となっていることがうかがえる。

期間：令和3年10月9日(土)～令和4年1月30日(日)

台紙配布数：5,913枚

4館達成者：224人

7館達成者：132人



歴ネットクイズラリーポスター

(2) SMMAミュージアムユニバースへの参加

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ミュージアムユニバースが展示中心の開催となったため、イベントには参加することができなかつた。一方、ユニバース会場内に例年館内で行っている伝統門松のレプリカ展示を実施した。

(3) 仙台の伝統門松復元事業

かつて、仙台やその周辺で飾られていた伝統的な門松を、泉区根白石で昔ながらの門松を受け継ぐ旧家の方の協力を得て再現し、平成24年度より継続して歴ネット各館で展示をしている。伝統門松の展示は市民に仙台の伝統や歴史に触れてもらう機会となっている。また、昨年度に引き続き、門松に取り付けるしめ縄作りの研修を担当者が中心となっている。

さらに、今年度は文化芸術振興費補助金事業の一環として、SMMAと共同で「仙台の伝統門松」が出来上がるまでの様子を伝える映像作品「受け継ぐー仙台の伝統門松ー」を制作し、完成させている。なお、映像作品の撮影・編集は、地元の映像クリエイターの協力を得て行った。映像作品は門松の材料となる稲わらが得られるまでの過程（田植え～稲刈り）やしめ縄作り、飾り付け等の様子を収録し、展示に協力している旧家の方のインタビューなども交え、門松が長い時間と様々な過程を経て出来上がることを伝えるものとなっている。また、映像作品はせんだいTube（仙台市公式動画チャンネル）および仙台市内各図書館等に配架されているDVDで視聴することができる。

展示期間：令和3年12月18日(土)～令和4年2月13日(日)

※各施設で展示期間を設定

展示会場：地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設／せんだいメディアテーク(仙台市博物館のレプリカ展示)

研 修

日 時：令和3年12月8日(水) 13:00～16:00

会 場：仙台市縄文の森広場 活動室および工房

内 容：「ケンダイ（しめ縄）作り」

参加者：歴ネット職員、外部見学者

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小して開催した。



研修「ケンダイ（しめ縄）作り」

2. 広報・その他

(1) 歴ネット会議

令和3年度は5回（内1回はオンライン形式）の会議を設け、連携事業についての検討や情報交換を行った。

(2) 歴ネットシートの作成・配布

参加館が統一規格のシートを用い、各館で仙台の歴史や文化について紹介した。

○令和3年度シート配布数：約3,790枚

※仙台市博物館分・7種

(3) 連携事業の広報

連携事業についてはチラシを作成し、各館で配布した。また、SMMAウェブサイト「見験楽学」にて、情報発信を行った。

広報・情報発信

展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にもさまざまな方法・媒体があり、博物館だよりなどの印刷物、ホームページ・SNSを併せたインターネットによる広報を基本に、電照広告等各種媒体を活用し、多角的な情報発信に努めている。

令和3年度は、臨時休館やそれに伴う事業の変更・休止、10月からの大規模改修に伴う休館等の情報を速やかに、かつ正確に周知するために、インターネットを通じた即時的な情報発信や、印刷物の内容を変更する機会が頻繁にあった。

また、博物館に来館できなくてもご自宅等で博物館の企画を楽しんでいただけるよう、インターネットを活用した情報発信に取り組んでいる。

1. 広報用印刷物

令和3年度は、博物館だよりを5回発行・配布した。博物館だよりは令和3年10月発行のvol.203から長期休館に合わせて、デザイン・内容とも新たにリニューアルした。休館中は、博物館ならではの切り口で仙台の歴史・美術・文化にまつわることや休館中の活動、トピックスを紹介し、幅広い層に楽しく読んでもらえるような構成とした。資料の魅力をより感じられるようにサイズを大きくし、全面カラーとなっている。なお、これらはホームページへPDFデータを掲載し、自由に閲覧できるようにしている。

- (1) 博物館だより（原則隔月発行） vol.200～202
225×420mm 四つ折り 観音開き



館だよりvol.200

- (2) 休館中の博物館だより（原則3カ月毎発行）
vol.203～204

A3判 二つ折り 見開きカラー4ページ



館だよりvol.203

2. 広報資料の発送および取材・記事掲載依頼への対応

マスコミ等をはじめとする関係機関による情報発信も当館広報にとって大切である。そのため各機関への情報提供として、上記広報用印刷物や展覧会のチラシなどを発行時に送付。また、展覧会等に対する各社からの取材や原稿の掲載・校正依頼、照会・回答などにも随時対応した（約200件）。

コロナウイルス感染拡大防止のため対面取材を控え、電話やメールによる対応を中心とした。

3. 「国際センター駅」への広告掲出について

平成27年の仙台市地下鉄東西線開業により、JR仙台駅から当館への主なアクセス手段が東西線となったため、当館最寄りの国際センター駅内に電照広告やデジタルサイネージを掲出。近隣の国際センターや青葉山交流広場、東北大学で行われる催しの利用者等へのPRとして活用している。

4. インターネット広報

- (1) ホームページ

博物館の利用案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、伊達政宗、支倉常長をはじめとする主な収蔵資料約50件の情報を閲覧できるコーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

令和3年度の当館ホームページ（トップページ）のアクセス数は330,860件であった。特別展会期中は例年通りアクセス数が増加した。10月からの休館

後も休館中のイベント情報や改修工事についての情報源として一定の需要があり、情報提供の場として重要な役割を担っている。



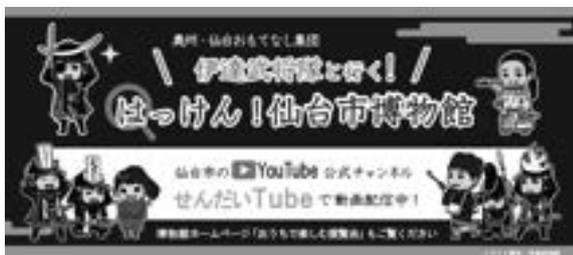
博物館ホームページ

(2) おうちで楽しむ展覧会(ホームページ・YouTube)
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国的な外出自粛などの状況があることや10月からの改修工事による休館をふまえ、博物館の企画を自宅等でもご覧いただけるように、ホームページ・YouTubeを通じて情報発信を行った。

①伊達武将隊と行く！はっけん！仙台市博物館

令和2年度から「伊達武将隊」と当館学芸員が特集展示および館内資料の魅力などを紹介する動画を制作し、せんだいTube（仙台市公式動画チャンネル）で配信している。仙台の歴史・文化・美術など多様な視点から資料の魅力に触れ、より多くの人に興味を持っていただく機会とした。

令和3年度は館内資料の魅力を紹介する「政宗公の具足体験！」や「高札場を考察?!」を公開した。



○政宗公の具足体験！

伊達武将隊の政宗様が博物館の具足（複製）の着付けに挑戦。具足の特徴や仕掛けなどについて学芸員の解説を交えながら、2種類の具足を紹介。



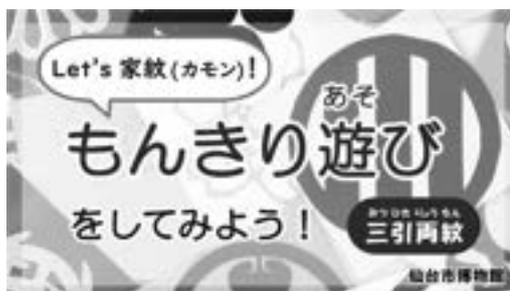
○高札場を考察?!

館内にある「高札場」の再現展示を見ながら、高札場の役割や書かれた内容について"考察"。かつて高札場が建てられていた芭蕉の辻についても紹介。



②Let's家紋(カモン)! もんきり遊びをしてみよう!

休館中で来館できない子供たちが、仙台の歴史を知る機会となるように、学校でも活用できる動画を館職員で自作した。1作目として図工等で活用できる「もんきりがた遊び」の動画をせんだいTubeにて配信。引き続き、社会科で活用できる動画などを制作していく予定である。



③チャレンジ! おうちで楽しむ博物館(ホームページ)

児童生徒の学習へ役立ててもらうために、ホームページに「チャレンジ! おうちで楽しむ博物館」を掲載している。自宅でも楽しみながら取り組める「もんきりがた遊び」や郷土玩具づくりなどの工作の紹介や、収蔵資料に関するクイズのページがある。



「チャレンジ! おうちで楽しむ博物館」クイズシート

(3) ツイッター

平成27年12月5日から運用を開始した「仙台市博物館公式ツイッター」では、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の特徴である即時性・拡散性を活かし、展覧会やイベント等の情報を発信。また、歴史や伊達政宗等に関心の高いフォロワーが多いため、展示資料の紹介や歴史のこぼれ話などもツイートしている。フォロワー数は、令和3年度末時点で約5,100人（前年度末より約700人増）。10月からの休館中は、改修工事に伴う作業や、収蔵資料の紹介、館周辺の自然や季節の移ろい、出前講座・授業の報告などさまざまなトピックスを取り上げ、随時発信している。今後も利用者の興味関心に訴える情報提供を積極的に行うなど、継続的なフォロワー獲得に努める。



博物館ツイッター掲載画面

5. ポケット学芸員

展示ガイドアプリ「ポケット学芸員(Pocket Curator)」を令和3年11月8日(月)から導入した。スマートフォンやタブレットを使って資料の解説を文字や音声、画像で知ることができる。主な収蔵資料のなかから約200件を紹介して、休館中も多くの方に利用していただくことで博物館への興味関心を広げ、再開館後の誘客促進にもつなげる。なお、この

アプリは早稲田システム開発(株) (Waseda System Development) の提供システムであり、無料で利用することができる。



ポケット学芸員アプリ画面

刊行物・グッズ等

令和3年度は、下記のとおり3種の刊行物を発行した。(市史活用推進事業で作成された刊行物については、「7. 市史活用推進事業」参照)

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、令和3年度は、A4クリアファイル(銅国行)、ジグソーパズル(仙台北下図屏風)の製作を行った。

1. 刊行物

- (1) 「仙台市博物館年報」第48号
令和3年6月30日発行 A4判 84頁
- (2) 「仙台市博物館 館蔵名品図録 改訂版」
令和4年3月29日発行 A4判 210頁
- (3) 「仙台市博物館調査研究報告」第42号
令和4年3月31日発行 B5判 88頁



仙台市博物館 館蔵名品図録
改訂版



調査研究報告第42号

2. オリジナルグッズ

令和3年度の販売用製作は以下のとおり。

- (1) A4クリアファイル 400円(税込)



A4クリアファイル(銅国行)
右は紙を挟んだ様子

- (2) ジグソーパズル 1,320円(税込)



ジグソーパズル(仙台北下図屏風)

6. 調査・研究

令和3年度『仙台市博物館調査研究報告』第42号には、以下の論文を掲載した。(掲載順)

瑞巖寺本堂障壁画の芍薬

一園芸熱を背景とする品種の描き分けについて一樋口 智之

本稿では、元和6年(1620)から同8年にかけて制作された瑞巖寺本堂障壁画のうち、孔雀の間に描かれた芍薬について、10種ほどの品種が描き分けられていることに着目し、これは、人々による芍薬愛好と品種開発が進んだ当時の時代状況を反映したものであることを明らかにした。また、瑞巖寺を建立した伊達政宗も芍薬を愛好していたことを紹介し、制作を担当した絵師・狩野左京による政宗への配慮、もしくは政宗の意向による可能性も指摘した。

伊達氏の徳政

長澤 伸樹

本稿では、戦国期伊達氏による「徳政」の実態とその歴史的意義について、おもに関連史料がまとまって確認できる伊達晴宗・輝宗父子の事例を中心に再検討を試みた。そのうえで、徳政が代替わりや対外戦争などの節目に集中して見られることから、伊達氏にとって家中統制や自己の権力基盤強化につながるという認識のもと、領国支配を下支えする政策の一つとして機動的に実施されていたことを指摘した。

伊達政宗の書状 一形態と数量一

村岡 淳子

本稿では『仙台市史 資料編 伊達政宗文書』全四巻および本編では「伊達政宗文書・補遺(一)～(十四)」(『市史せんだいVol.17～30』所収)の成果をもとに、政宗の筆跡が確認できる資料のうち、特に数が多い「書状」について、発給年代を3期に分け、形態(右筆・自筆の別、花押、料紙)ごとに分類し、それぞれの数を示すことで、時期ごとの傾向を紹介した。

資料紹介

伊達政宗子息発給書状

黒田 風花

仙台市博物館で所蔵している伊達政宗文書は、『仙台市史 資料編 伊達政宗文書』や『市史せんだい』収録の「伊達政宗文書・補遺」等で紹介されているが、政宗と同時代の人物の発給文書には未紹介のものも多い。また近年、他施設において政宗の子息に関する展示・刊行活動が行われてきている。これを受け、本稿では仙台市博物館で所蔵する政宗の子息が発給した書状について、未翻刻資料を中心に紹介した。

戦前期、仙台市の観光行政と「杜の都」の確立

中武 敏彦

本稿では戦前期の仙台市政における「杜の都」観の位置づけを考察した。昭和初期まで「杜の都」は、工業化の遅れた寂しい都市イメージで捉えられ、市政における位置づけも低かった。しかし、観光振興が新たな政策課題となった昭和10年代になると、仙台市=伊達政宗騎馬像=「杜の都」というイメージを積極的に宣伝し、同時に観光振興策の一環として、緑化運動など「杜の都」の街づくりが都市政策の目標となって行った過程を明らかにした。

◇令和4年度研究テーマ◇

令和4年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

仏教彫刻・工芸史の研究	酒井昌一郎
近世の仙台藩・伊達家及び絵図の研究	水野 沙織
近世の伊達家と仙台藩の研究	菅原 美咲
中近世の庶民信仰美術、東北地方の絵画の研究	寺澤 慎吾
中世・近世の絵画および東北の工芸について	小田嶋なつみ
中世・近世の領主権力の研究	黒田 風花
中世・近世の仏教関係の金工品の研究	大内 直輝
社会科における博物館の活用について	村上 聡
図画工作科・美術科における博物館の活用について	飯淵 泉

表16 仙台市博物館調査研究報告一覧

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.1	1. 仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－ 2. 仙台北丸の障壁画をめぐる 3. 大槻磐溪書翰集について 4. 伊達政宗の印章・印影について 5. 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鶴飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年3月 完売
No.2	1. 養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 2. 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋安右衛門－ 3. 伊達家旧蔵の印章について 4. (史料紹介)宮城県の自由民権運動に関する新史料 5. 名取市熊野神社蔵 木造狛犬調査報告	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年3月 完売
No.3	1. 角懸鹿谷の美術 2. 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 3. 大槻俊斎の書状について 4. 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鶴飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年3月 完売
No.4	1. 仙台藩寛永期検地帳について－「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の分析 2. 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 3. 伊達政宗・伊達忠宗所用兎の銘について 4. 旧支倉家関係資料について	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年3月 完売
No.5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具4点の復元研究報告ならびに修理報告	庄子晃子・鈴木治平	昭和60年3月 完売
No.6	仙台北城館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年3月(平成10年3月増刷) 完売
No.7	1. 円山応挙試論 2. 伊達の黒箱文書について 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(一) 4. 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鶴飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年3月 完売
No.8	1. ローマ、ボルゲーゼ宮「支倉常長」像の作者について 2. 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 3. 「支倉常長追放文書」の年代について 4. 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ 5. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(二)	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年3月 完売
No.9	1. 新博物館への一考察－反省と展望－ 2. 学校教育における博物館利用学習 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(三) 4. 仙台藩関係の婚礼調度について 5. 慈光明院蔵 種子華鬘について 6. 柴田町金谷貝塚出土の權杖木製品 7. 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 8. 伊達政宗の「鉛筆」調査報告 I～V	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P.コッラディーニ・芳野明 訳 内藤俊彦・西本洋二・村山斌夫・小井川百合子	平成元年3月 完売
No.10	1. 東北地方における山伏筈 2. 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 3. 白雲の研究－未紹介の真景帖を中心に－ 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(四) 5. 館蔵考古資料の紹介 I 6. トチの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成2年3月 完売
No.11	1. 「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について 2. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(五) 3. 館蔵考古資料の紹介 II－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 4. 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成3年3月 920円
No.12	1. 戦国期奥羽の在家をめぐる 2. 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 3. 朱罨漆紫色素懸威具足・三宝荒神形兜付について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(六) 5. 画像情報提供装置の導入について 6. 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 7. 仙台北城三ノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成4年3月 完売
No.13	1. 東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサーラ・レージアの肖像画について－ 2. 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 3. 財団法人斎藤報恩会所蔵「遠藤山城文書」について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(七)	K.H.フィオーレ・小関史絵 訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成5年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発 行 年 ・ 頒 価 等
No.14	1. 観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 2. 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一面－ 3. 東京国立博物館所蔵の「小袖図」(伊達家旧蔵)などについて 4. 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書の修理について 5. 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成6年3月 完売
No.15	1. 『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 2. 「支倉六右衛門遺物」と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 3. 観瀾閣宝物目録について(二)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺) 4. 伊達政宗の母・義姫の出兵の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 5. 『松島風土記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 6. 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 7. 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成7年3月 完売
No.16	1. 「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 2. 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 3. 「古川状」について 4. 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 5. 伊達政宗の使節団(1614年)	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R.フラード・ 今江克彦 訳	平成8年3月 920円
No.17	1. 博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 2. 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 3. 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・「玉日記」の再検討－ 4. 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 5. 宮城県仙台市青山二丁目B遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成9年3月 完売
No.18	1. 円爾弁門最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一面－ 2. 仙台藩の小人について 3. 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年3月 920円
No.19	1. 伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋およびその変遷－ 2. 資料紹介 戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料から－ 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 4. 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野 拓大・磯目隆夫・ 篠遠喜彦	平成11年3月 完売
No.20	1. 新収資料・国分家資料について 2. 伊達家文書の形成過程(一) 3. 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 4. 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 5. 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査およびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・ 齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年3月 920円
No.21	1. 百富士画をめぐる－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 2. 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年3月 920円
No.22	1. 仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 2. 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における博物館利用の報告－ 3. 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について 4. ローマ教皇パウロ5世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場から－ 5. 佐藤家本について(補遺)	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ	平成14年3月 920円
No.23	1. 陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 2. 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 3. 調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について 4. 仙台市博物館における広報活動について 5. 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年3月 920円
No.24	1. 仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ 2. もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年3月 920円
No.25	1. 絵仏師徳応・貞綱の肖像画制作について－瑞巖寺僧関係作品を中心に－ 2. 伊達氏における印判状の成立 3. 資料紹介 佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年3月 完売
No.26	1. ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三棚について－黒棚(ベネチア東洋美術館蔵)・厨子棚(鍋島報効会蔵)・書棚(仙台市博物館蔵)－ 2. 伊達家文書の形成過程(二) 3. 資料紹介 文化三年御屏風本帳附渡帳 4. 資料紹介 尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・ 齋藤潤 船渡崇	平成18年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発 行 年 ・ 頒 価 等
No.27	1. 陸奥国分寺の仏像―主に表面仕上げに関するデータから― 2. 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介―10周年を迎えて― 3. 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年3月 920円
No.28	1. 支倉常長像の模写と写真―大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」 説の検証を兼ねて― 2. 柳宗悦と東北―昭和九年～昭和十五年― 3. 資料紹介 御証文方御本牒手控―仙台藩における資料管理の側面―	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年3月 完売
No.29	1. 失われたみちのく図巻―谷元旦・大野文泉の東北地方写生図をめぐる― 2. 伊達政宗公三百年祭について	内山淳一 水野沙織	平成21年3月 920円
No.30	1. 史料紹介「領内境日記」―伊達吉村の軍制整備との関係から― 2. 小田原参陣における伊達領の警固体制 3. 十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木三男 酒井昌一郎	平成22年3月 920円
No.31	1. 奥の正法寺と偽繪旨 2. 資料紹介「伊達の黒箱」文書について (一) 3. 新「スタディシート」の一年―その構成と活用方法を中心に― 4. 仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について	佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美	平成23年3月 920円
No.32 ・ 33 合併号	1. 「御奥方格式」について―美術工芸的アプローチ― 2. 安政六年武市九郎三郎通達の蝦夷地警固日記 3. 「葦名鞠負戌辰記事」に関する一考察 4. 花獄神社安置の不動明王二童子像について 5. 蔵王町下別当遺跡の「人面裝飾土器」―特に著保内野遺跡出土国 宝「土偶」との比較から―	高橋あけみ 水野沙織 栗原伸一郎 酒井昌一郎 竹田幸司・安倍 千春・西脇対名夫	平成25年3月 完売
No.34	1. 屏風のなかの動物たち―伊藤若冲とその周辺作品をめぐる― 2. 資料紹介―「伊達の黒箱」文書について (二)― 3. 慶長遣欧使節をめぐる諸問題―大使支倉の名乗りと「震災復興派 遺説」について―	内山淳一 菅原美咲 佐々木徹	平成26年3月 920円
No.35	1. 中尊寺蔵「平泉諸寺参詣曼荼羅」について 2. 登米市懐古館所蔵資料 伊達政宗筆 古歌「咲時ハ」(一幅)に ついて―その成立事情と伝来の経緯― 3. 史料紹介『成宗公御上洛之日記写』に関する一考察 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について (上)	寺澤慎吾 佐藤憲一 星川礼応 松田清	平成27年3月 920円
No.36	1. 伊達家文書に遺る「小文の礼紙」についての調査報告 2. 「伊達家文書」所収「岩城親隆書状」の再検討 3. 戦国時代後期における宮城郡・黒川郡の交通について 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について (下)	明石治郎 泉田邦彦・星川 礼応 三好俊文 松田清	平成28年3月 完売
No.37	1. 支倉常長の将来品「合羽と前蓑」再考 2. 狩野古信筆「村子姫霊夢図」について ―制作背景の考察と絵師・狩野古信の事績を中心に― 3. 資料紹介 仙台藩士猪狩家伝来の戦国・江戸初期文書 4. 資料紹介 「小松家記録」 ―仙台藩御織物師の家の江戸から昭和の記録―	的場節子 寺澤慎吾 菅野正道 鈴木かおる	平成29年3月 完売
No.38	1. 秋田蘭画再考―実景との関わりを中心に― 2. 仙台藩の贈答―江戸中・後期を中心に― 3. 伊達政宗関係文書にみえる切封の折紙書状について 4. 資料紹介 戦国期伊達氏関連未紹介資料	内山淳一 菅原美咲 明石治郎 菅野正道	平成30年3月 1,020円
No.39	1. 光明寺蔵奈良絵本「いつくしま」について 2. 戦国期南奥羽の流通と交通 3. 戦国期伊達氏家臣についての一考察 4. 市内小学生における仙台市博物館の利活用の現状と展望 ―児童の意識調査と博物館職員への聞き取り調査を通して―	小田嶋なつみ 長澤伸樹 黒田風花 犬久保裕隆・高 橋龍馬・永山達 郎・村田智朗・ 土井謙治	平成31年3月 完売
No.40	1. 仙台祭絵の研究 2. 資料紹介 「鷹匠半澤家資料」について 3. 伊達政宗の「捻」 4. 佐久間洞巖について	浅野秀剛 菅原美咲 明石治郎 寺澤慎吾	令和2年3月 1,020円
No.41	1. 仙台市国分尼寺観音菩薩立像の墨書銘について 2. 仙台藩儒役遊佐家の事跡―資料レスキュー活動による保全資料の紹介― 3. 戊辰戦争時の仙台藩の軍 4. 資料紹介 刀工本郷国包関係資料について	佐々木徹 倉橋真紀 中武敏彦 酒井昌一郎	令和3年3月 920円
No.42	1. 瑞巖寺本堂障壁画の芍薬―園芸熱を背景とする品種の描き分けについて― 2. 伊達氏の徳政 3. 伊達政宗の書状―形態と数量― 4. 資料紹介 伊達政宗子息発給書状 5. 戦前期、仙台市の観光行政と「杜の都」の確立	樋口智之 長澤伸樹 村岡淳子 黒田風花 中武敏彦	令和4年3月 1,100円

(価格〈税込〉および内容については令和4年5月17日現在、以下続刊)

7. 仙台市史活用推進事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成2年度からは当館が事業を所管し、館内に設置された市史編さん室が事務局となって平成26年度までに通史編9巻、資料編13巻、特別編9巻、年表・索引1巻の合計32巻を刊行するとともに、関連資料の調査・収集や、普及事業を展開してきた。

平成27年2月に最終巻となる『年表・索引』が刊行されたことで市史編さん事業は終了し、事務局として実務を担ってきた市史編さん室は廃止となった。

平成27年度からは、市史編さん事業で蓄積された多くの成果の活用を図るとともに、市域の歴史に関する調査や資料収集を行う「仙台市史活用推進事業」が新たに開始され、市史編さん事業の残務処理を含めて、組織改正によって設置された学芸普及室がその担当となった。

「仙台市史活用推進事業」の7年目となる令和3年度の業務としては、前年度から引き続いて、市民向けの普及書作成や他機関との連携を含めた普及事業の開催、収集した資料の整理、東日本大震災に対応した資料保全活動と震災アーカイブ事業に取り組んだ。

また、令和3年度より市史編さん収集資料の一部について、(仮称)仙台市公文書館(令和5年度開館予定)を所管する文書法制課への移管を行った。今後も公文書館での利活用が期待される資料については移管を行う予定である。

1. 講座等

(1) 仙台市史講座

仙台市史講座は、市史編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に市内59カ所に設置されている市民センターとの共催で、年2回程度実施してきたものである。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択してきた。

令和3年度は、「仙台市内の城館」をテーマに、下記の通り実施した。

第42回仙台市史講座

演題：「仙台市内の戦国期城館

—史料と遺構から探る—」

講師：竹井英文氏

(東北学院大学文学部歴史学科准教授)

日時：令和3年9月25日(土) 13:30~14:30

会場：博物館ホール

受講者：39人



市史講座の開催状況(第42回)

(2) 図書館連携講座

平成27年度から仙台市図書館と連携し、各図書館を会場に実施している。令和3年度は、①「それでも行きたい!〇〇な旅」、②「土地の記録」をテーマとし、①では江戸時代から現代に至る旅のアクシデントを歴史講話(博物館担当)とブックトーク(図書館担当)で紹介した。

②では東日本大震災で津波被害を受けた地域のあゆみを紹介するパネル展示を実施した。なお、講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

①テーマ：「それでも行きたい!〇〇な旅」

講師：菅原美咲(当館学芸員)

伊藤恒子氏(仙台市民図書館司書)

日時：令和3年11月13日(土) 13:30~14:30

会場：せんだいメディアテーク

受講者：93人

②テーマ：「土地の記録—仙台市東部沿岸地域の 絵図・地図をよむ—」

講師：倉橋真紀(当館職員)

日時：令和4年2月19日(土) 14:00~15:00

会場：仙台市若林図書館

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

パネル展示「仙台市東部沿岸地域の歴史と記録

—忘れない—」

日時：令和4年2月11日(金・祝)

~2月27日(日) 9:30~17:30

会場：仙台市若林区文化センター

アートギャラリー「わかぶん」

来場者：379人



「それでも行きたい！〇〇な旅」の開催状況



パネル展示「仙台市東部沿岸地域の歴史と記録」

2. 刊行物

令和3年度は、完売となっていた『「仙台市史」活用資料集』vol.4、vol.5をそれぞれ増刷し、あわせて『市史せんだい Vol.30』（最終号）を発行した。

(1) 『「仙台市史」活用資料集vol.4 宮城野区の歴史探し』700部発行

令和3年7月31日第2刷発行 A4判 16頁

(2) 『「仙台市史」活用資料集vol.5 太白区の歴史探し—西部—』700部発行

令和3年7月31日第2刷発行 A4判 16頁

(3) 『市史せんだい Vol.30』1,000部発行

令和3年12月24日発行 A5判 154頁

第一特集 歴史資料の保存・活用と自治体史編さん事業

座談会

論文 歴史資料を守り、伝えるために一大規模自然災害からの地域歴史資料救出・保全から考える—(川内淳史)

報告 市史編さん収集資料の概要—古文書・公文書等の資料群を中心に—(倉橋真紀)

第二特集 伊達政宗文書

史料紹介 伊達政宗文書・補遺(十四)

伊達政宗文書・補遺(一)～(十四)

総目録



市史せんだいVol.30

3. 広報事業

市史編さん事業の成果を広く市民に周知し、地域の歴史や文化に対する関心を高めることと、『仙台市史』の販売促進を目的に、さまざまな広報事業に取り組んでいる。

仙台商工会議所機関誌『飛翔』での連載

『飛翔』には『仙台市史』の広報事業の一貫として平成21年から連載記事を掲載してきた。令和3年度は、4月号に、令和3年1月号(令和2年度)から4回にわたり連載した「東日本大震災から10年 仙台と災害の歴史」の最終回を掲載した。5月号以降は、街道や藩政時代の旅を紹介する「資料で旅する仙台藩の『道』」を連載した。また、執筆は学芸普及室および学芸企画室の職員が担当した。内容、執筆者は次の通り。

令和3年

4月号「地震と仙台城の修復」(佐々木徹)

5月号「松尾芭蕉が訪れた「武隈の松」
(樋口智之)

6月号「仙台城下の道と町」(黒田風花)

7月号「伊達政宗の観光接待」(明石治郎)

8月号「二口街道」(菅原美咲)

9月号「広瀬川水系の流木」(黒田風花)

10月号「七ヶ宿街道」(長澤伸樹)

11月号「浜街道」(中武敏彦)

12月号「人生の新たな旅立ちへ 女乗物」
(小田嶋なつみ)

令和4年

1月号「金華山道」(寺澤慎吾)

2月号「伏見の伊達街道」(明石治郎)

3月号「旅する仙台藩主」(菅原美咲)

4. 調査・資料収集

市域に関連する歴史資料の調査や収集については、仙台市史編さん委員会から仙台市長あてに平成25年8月に提出された提言書で、事業終了後も市域に関連する歴史資料の調査や収集を継続的に実施することが要望されたことを受けて、仙台市史活用推進事業の中で継続的に行っている。調査資料については、デジタルカメラ等を用いた撮影や目録作成などを行っている。また、市史編さん事業で調査・収集した資料のデータベース作成、デジタル化の作業も継続実施した。

(1) 主な調査先・資料群

登米市／登米市歴史博物館
北海道／だて歴史文化ミュージアム・大雄寺・
国立アイヌ民族博物館

(2) 購入資料

- ①仙台藩士関係文書 一括
- ②加藤喜一郎書状 1通

5. 資料保全・震災アーカイブ活動

令和2年度に引き続き、東日本大震災で被害を受けた歴史資料を対象に資料レスキュー活動(整理・保全等)を行い、整理が終了した資料については、所蔵者の意向を踏まえながら、順次返却を行っている。

また、当館が行ってきた資料レスキュー活動を紹介するパネルや災害の歴史に関わるパネル展示を、令和3年度も引き続き行った。

仙台市教育センターでは、震災関連パネルの貸し出しの周知や、市史編さん事業の成果品を紹介し、授業等で活用してもらえよう教職員向けにパネル展示を行った。

また、仙台国際センターで開催された「仙台防災未来フォーラム2022」では、令和2年度に引き続きブース出展を行った。令和2年度はパネル展示と冊子「仙台市博物館の資料レスキュー活動」の配付のみであったが、令和3年度は展示内容に合わせ、『「仙台市史」活用資料集』(vol.2～5、7、8)を販売した(完売分、vol.1、6は除く)。

せんだい3.11メモリアル交流館では、令和2年度に引き続き東日本大震災の発生日(3月11日)前後の日程でパネル展示を行った。

そのほか、若林図書館でのパネル展示を行っている(61頁「図書館連携講座」を参照)。

なお、臨時休館等により館内でのパネル展示は実施していない。

○活動状況

①令和3年7月30日(金)～8月23日(月)

パネル展「仙台市博物館出張パネル展示 仙台市

内各区の災害の記録」

(会場：仙台市教育センター)

②令和4年3月5日(土)

「仙台防災未来フォーラム2022」ブース出展
パネル展「仙台市域の災害の歴史—江戸時代から
現代まで—」

博物館ブース来場者：198人

『「仙台市史」活用資料集』 販売数計：23冊

「仙台市博物館の資料レスキュー活動」

配付数計：8冊

(会場：仙台国際センター展示棟)

③令和4年3月9日(水)～3月21日(月・祝)

パネル展「地域の記憶をつなぐ—仙台市沿岸部の
風景と歴史—」(「東日本大震災が仙台市
沿岸部地域に与えた影響と現在のようす」、
「高砂の風景と暮らし—昭和から平成ま
まで—」のパネル群を展示)

来場者数：2,212人

※3月16日(水)深夜に発生した地震の影響によ
り3月17日(木)は臨時休館

(会場：せんだい3.11メモリアル交流館)

6. 資料移管

仙台市史編さん委員会から仙台市長あてに提出された提言書(平成21年3月、平成25年8月)において、仙台市が公文書館を設置し、仙台市史編さん事業で収集した資料や情報を利活用すべきことが提言されている。この度、(仮称)仙台市公文書館が開設される運び(令和5年度予定)となったことから、同館を所管する文書法制課へ、仙台市史編さん収集資料のうち公文書館での利活用が期待される資料について移管を行った。令和3年度はおもに公文書に由来する文書群を優先的に移管したが、今後も同課と協議の上、順次移管を行っていく。なお、移管した資料は、歴史的公文書として保存・公開される予定である。

移管資料群名

- (1) 平成8～26年度市史編さん室収集廃棄文書(旧仙台市公文書)
- (2) 平成17年度市史編さん室収集廃棄文書のうち鶴寿苑文書
- (3) 平成20年度市史編さん室収集廃棄文書のうち農業委員会事務局文書
- (4) 泉町役場文書
- (5) 岩切支所旧蔵資料
- (6) 秋保町教育委員会資料
- (7) 仙台市行政文書
- (8) 旧宮城町行政文書
- (9) 各区固定資産税課保存年限満了航空写真

8. ボランティア

仙台市博物館では「仙台市博物館ボランティア(三の丸会)」が展示解説をボランティアで行っている。平成9年に組織されたこの団体は令和3年で25年目を迎え、令和3年度の登録者は106名であった。ボランティア活動は通常、活動班(各班10人~11人の12班編成)に分かれ、月に2回程度活動してきた。活動内容は常設展示室での資料解説が主で、他にもプレイミュージアムでの活動補助、平成22年度からは館庭(三の丸跡)案内をしてきた。しかし今年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により、令和2年度に引き続き資料解説等を中心とする活動は休止した。

また、会の運営や情報交換は月1回の役員会で行われてきた。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は年1回の総会で決定してきた。今年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により、令和2年度に引き続いて役員会の開催は不定期とし、総会は書面開催とした。

ボランティアの任期については平成19年度より5年任期制を導入している。しかし市民からボランティア活動への要望が高まり、新規ボランティアの採用の仕方について見直しを図る必要が出てきたことから、平成27年度、任期についての見直しを行った。その結果、5年任期後の再応募は妨げないが連続した活動は10年までとすること、10年活動後は一度退会することが役員会等を通して了承された。また、平成29年度より5年以上活動をした退会者には登録・更新式において感謝状を贈呈している。

1. 新規会員の募集・養成講座等

令和3年度は、10月から令和6年の3月末(予定)まで大規模改修工事による休館が決まっているため、新規ボランティアの募集は行わなかった。

一方、令和2年度に採用した新規会員対象とするボランティア養成講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を延期せざるを得ず、令和3年3月に全2回・10講座で、例年よりも規模を縮小して開催することとなった。しかし、第1回講座を実施した後、新型コロナウイルス感染症の急拡大により第2回講座の開催を急遽延期せざるを得なくな

り、開催日を調整。結果的に休館前の9月26日(日)に開催する運びとなった。



ボランティア養成講座

- 令和2年度第2回(令和3年9月26日(日))
会場: 博物館講習室
内容: 歴史部門展示の説明/美術部門の展示説明
参加者数: 10名

2. 令和3年度の活動の経過

令和3年度の三の丸会の活動は、2月13日(日)に発生した地震被害に伴う臨時休館により、5月まで休止。再開後の企画展開催に合わせて、会期中の解説活動等について館担当者と会役員間で協議したが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、活動は引き続き休止とした。その後、7月3日(土)に館ホールにて役員会を開催。7月9日(金)から9月5日(日)までの特別展を挟み、9月中旬から休館前までの解説活動の実施について検討したが、8月下旬からの政府による新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の発令により、断念せざるを得なくなった。また、5月から9月までの間、館の施設を使用した部・班活動についても、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて休止した。

一方、館担当者と会役員間で協議し、休館中の三の丸会の活動の在り方について検討。休館中、三の丸会は休会とし、組織的な活動は行わないが、各部・各班による活動や、博物館学芸員等を講師とした講座等を実施し、再開後の活動再開に向けて、会員が各自で学ぶ機会を確保すること等を確認し、休館前の役員会等の開催について準備を進めた。9月には役員会と曜日班(各曜日1班・2班)ごとに合同説明会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の発令により延期。役員会は休館前の9月26日(日)に館ホールで開催することができたが、合同説明会は、10月19日(火)~24日(日)の期間中に史跡陸奥国分寺・尼寺ガイドン

ス施設で開催した。

3. 博物館主催による主な研修

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しているギャラリートークおよび接遇研修（生涯学習課と共催）等の研修会は開催することができなかった。一方、会役員からの要望もあり、休館後の会員の学びの機会を確保することを目的として、館学芸員を講師とした講座を1月下旬から2月上旬に計画。新型コロナウイルス感染症急拡大の影響により開催は延期となったが、令和4年度以降に順次開催していくことを検討している。



三の丸会会報 第76号
(令和3年7月発行)

4. ボランティアと博物館との懇談会

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しているボランティアと博物館との懇談会は開催することができなかった。一方、館関係者と会役員が今後の活動方針等について協議する「臨時協議会」を随時開催した。

5. ボランティア新規会員との懇談会

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しているボランティア新規会員との懇談会は開催することができなかった。

6. 部会活動

ボランティアは活動班の他に、5つの部会のいずれかに属し活動している。休館中も各部が計画を立て、参加希望者を中心として活動を継続する予定。

<三の丸会部会主催による主な研修>

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している新規会員向け研修、館外研修（ボランティア三の丸会研修旅行）、研修部主催・教養講座等の研修会は、開催することができなかった。

表17 三の丸会の部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成等を行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当する。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による寄稿文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの観覧者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。部会では勉強会の他、英語ガイド実例集を作成。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を月に1度実施。

9. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成された。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。

会員は賛助会員（会費 1 口 5,000円）・普通会員（会費 3,000円）・学生会員（会費 2,000円）からなる。令和3年度の会員数は237人であった。すべての会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、役員で構成される役員会において決定されており、本年度の役員会は、臨時役員会を含めて10回開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、研修会を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、それぞれ活動を行った。

会の事業実績は、右記のとおりである。広報セミナー2回、見学セミナーを2回実施し会員の参加を得ることができた。なお、本年度1回実施予定だった日帰り研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、館職員講座および副館長講演会は令和4年度に延期となった。

表18 令和3年度会員内訳

	性別	年代	人数(人)	
賛助会員	—	—	18	
普通 会 員	男 性	10代	0	102
		20代	0	
		30代	0	
		40代	1	
		50代	9	
		60代	27	
		70代	30	
		80代	14	
		90代	0	
		不明	21	
	女 性	10代	0	108
		20代	0	
		30代	0	
		40代	0	
50代		10		
60代		28		
70代	40			
80代	20			
90代	0			
不明	10			
不明			8	
学生会員	—	—	1	
計			237	

令和3年度 友の会事業実績

1. 総会

4/27 資料発送による書面表決 表決数155票

2. 事業

(1) 会報「仙台市博物館友の会だより」発行
194号～195号 計2号

(2) 行事

5/19 見学セミナー 仙台文学館
同行 小田嶋なつみ学芸員
黒田風花学芸員 参加21人

6/10 企画展示広報セミナー
「仙台市博物館開館60周年記念祭
たっぷりわくわく名品尽し」
講師 菅原美咲学芸員 参加52人

7/12 特別展示広報セミナー
「ライデン国立古代博物館所蔵
古代エジプト展」
講師 小田嶋なつみ学芸員 参加69人

10/21 見学セミナー 東北歴史博物館
同行 小田嶋なつみ学芸員
黒田風花学芸員 参加38人

1/28 博物館職員講座
「仙台の三十三観音」
講師 酒井昌一郎 学芸企画室長
→延期

2/18 副館長講演会
「展覧会ができるまで
—担当学芸員 ここだけの話—」
講師 高橋あけみ副館長
→延期

10. 大規模改修工事

仙台市博物館は開館から35年以上が経過し、老朽化が進んでいる。そのため、仙台市公共施設総合マネジメントプラン（都市整備局所管）に基づき、令和3年10月1日から令和6年3月31日（予定）まで休館し、施設設備の長寿命化および利用環境・展示環境の向上を図る改修工事を行っている。

これらの工事は建築・機械・電気設備など複数の工事業者が並行して施工する。工事を適切に進行管理できるよう、関係機関・工事業者・当館では、月2回の定例打ち合わせや随時の打ち合わせを行い、工事の工程や進捗状況の確認、課題の共有・対応方針の協議などを重ねて進めている。

1. 工事の主な内容

(1) 長寿命化改修工事

建築：外壁洗浄、内装・トイレ等の改修

機械：空調設備・給排水衛生設備・防犯設備・消火設備・ガス設備等の更新

電気：照明LED化・非常用自家発電機・避雷針・火災報知機等の更新

(2) 展示室リニューアル

企画展示室

展示ケースの改修・ガラス更新・照明LED化
テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ

展示ケースのガラス更新・照明LED化

2 進捗状況

○ 工事の様子

令和3年10月から工事が始まり、現場調査や工程作成を経て、リニューアルする展示ケースの解体や、給排水設備のうち受水槽の撤去等が行われてきた。なお、令和4年2月からは館内で水が使用できなくなったため、館外の敷地に仮設したプレハブの給湯室やトイレを利用している。

○ 工事に伴う資料の移動

工事期間中も、資料（文化財）を適切な温湿度の下で保管する必要があるが、空調設備を更新する間はその空調が停止する。そのため、空調を順次更新するよう工程を組んでいる。学芸員は工事の進行に応じて資料を梱包し、温湿度管理ができる部屋へ順次移動を行っている。



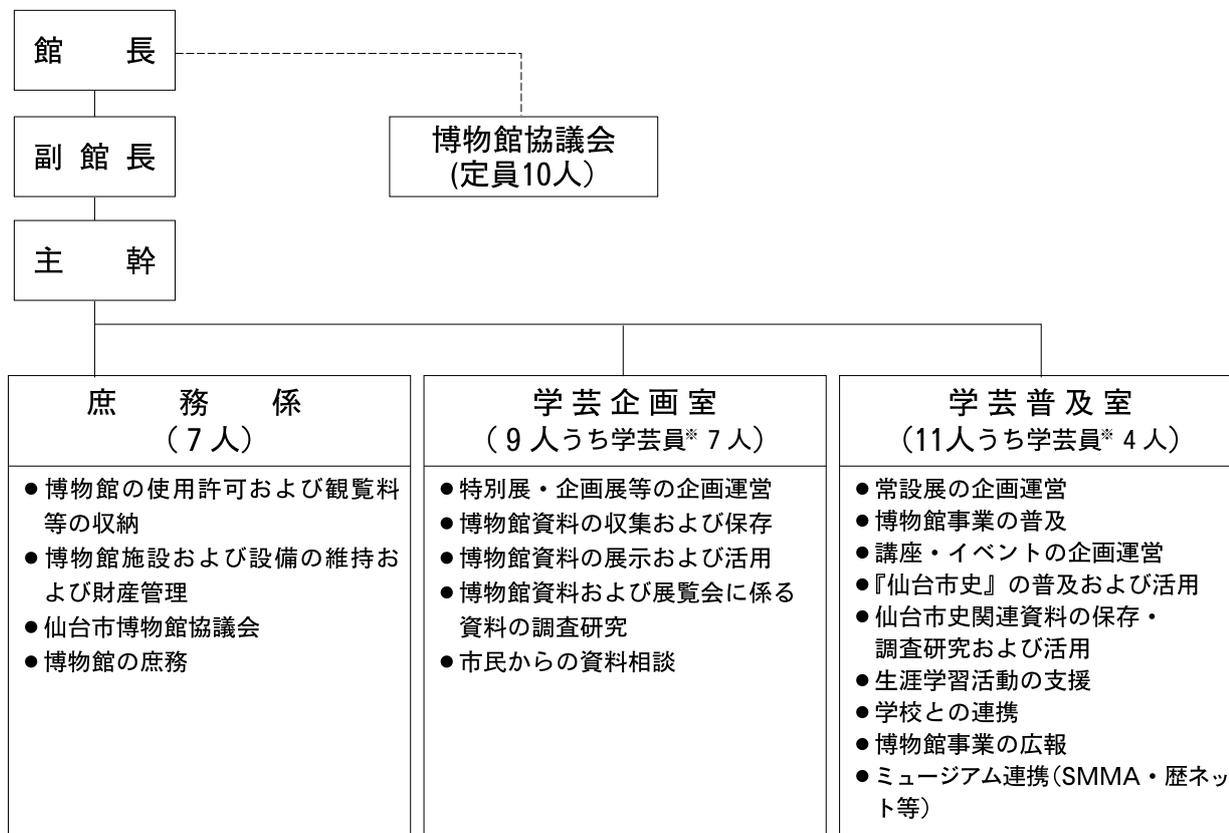
当館外観。工事では外壁の劣化改修および洗浄を行う。

表19 工事のスケジュール（予定）

期間	場所	工事等の内容
令和3年10月～令和4年3月	施工箇所全般	現地調査・工程作成・受水槽撤去・展示ケース解体等
令和4年4月～7月	収蔵庫（Ⅰ・Ⅱ）等	空調設備・給排水衛生設備・防犯設備・消火設備等の更新（順次実施）、照明LED化、外壁洗浄、トイレ等改修、展示ケース更新等
令和4年8月～10月	収蔵庫（上記以外）	
令和4年11月～令和5年2月	各展示室	
令和5年3月～7月	ギャラリー・ホール・プレイミュージアム等	
令和5年8月～9月	施工箇所全般	各種検査・空調総合調整等
令和5年10月～令和6年3月	館内全般	枯らし期間（館内環境整備・空気環境清浄化）
令和6年4月	再開館	

11. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（令和3年4月1日現在）



※展示に携わった人員

予算概要（令和3年4月1日現在）

表20 令和3年度予算概要

(単位：千円)

費目	当初予算額	摘要
1 運営管理費	(1) 光熱水費	42,040 電気、上・下水道、ガス使用料
	(2) 管理運営委託費	93,667 警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3) 施設修繕費	6,480 機械設備等修繕費
	(4) 資料修繕費	1,299 収蔵資料修繕費
	(5) その他管理運営費	14,078 教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	157,564
2 資料購入費	0	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費	18,099	特別展覧会開催に要する経費
4 市史活用推進費	5,746	市史活用推進・刊行に要する経費
5 維持修繕費	680,558	大規模改修工事に要する経費
合計	861,967	

※令和3年2月の福島県沖地震にかかる災害復旧費は除く

職 員（令和3年4月1日現在）

館 副 主 長 館 主 長 幹 高 橋 樋 口 泰 あけみ 之 智

室・係	職 名	氏 名
庶 務 係	係 長	高 橋 薫
	総 括 主 任	佐 藤 正 彦
	総 括 主 任	門 馬 純 子
	主 事	田 中 茉 衣
	会計年度任用職員	阿 部 千 恵
	会計年度任用職員	遠 藤 遼 亮
	会計年度任用職員	小 岩 育 子
学 芸 企 画 室	室 長	酒 井 昌 一 郎
	主 任	佐々木 徹
	主 任	菅 原 美 咲
	主 事	小 田 嶋 な つ み
	主 事	黒 田 風 花
	会計年度任用職員	明 石 治 郎
	会計年度任用職員	鈴 木 か お る
	会計年度任用職員	中 武 敏 彦
	会計年度任用職員	佐 藤 由 夏 理
学 芸 普 及 室	室 長	(樋口主幹事務取扱)
	主 査	村 上 明 日 香
	指 導 主 事	飯 淵 泉
	指 導 主 事	村 上 聡
	主 事	寺 澤 慎 吾
	会計年度任用職員	村 岡 淳 子
	会計年度任用職員	氏 家 文 枝
	会計年度任用職員	二 上 玲 子
	会計年度任用職員	倉 橋 真 紀
	会計年度任用職員	長 澤 伸 樹
	会計年度任用職員	阿 部 さ や か

仙台市博物館協議会

令和3年度 仙台市博物館協議会委員

(五十音順・敬称略 ◎=会長 ○=副会長)

跡部 薫	仙台市議会議員
○尾崎 彰宏	東北大学総長特命教授
菊池 勇夫	宮城学院女子大学名誉教授
◎佐川 正敏	東北学院大学教授
佐治ゆかり	秋田公立美術大学教授
佐藤 憲子	仙台市放課後子ども教室 遠見塚 YOU-GOクラブ コーディネーター
高橋 綾子	仙台市立南小泉中学校校長
伊達 泰宗	伊達家伯記念會(株)代表取締役
長岡 龍作	東北大学大学院教授
森 美智子	東北学院大学名誉教授

令和3年度 協議内容

○第1回 令和3年5月25日(火)

1 報告事項

- (1) 令和3年度のスケジュールについて
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策について
- (3) 令和3年2月～令和3年4月の観覧者数について
- (4) 企画展 仙台市博物館開館60周年記念祭「たっぷり わくわく 名品尽し」の中間報告について
- (5) 教育普及事業について
- (6) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて
- (7) 各種機関との連携事業について
- (8) レストラン運営会社の撤退について
- (9) 防煙垂れ壁の落下原因について

2 協議事項

- (1) 特別展「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」について

○第2回 令和3年7月20日(火)

1 報告事項

- (1) 令和3年5月～令和3年6月の観覧者数について
- (2) 企画展 仙台市博物館開館60周年記念祭「たっぷり わくわく 名品尽し」の結果報告について

- (3) 特別展「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」の中間報告について
- (4) 教育普及事業について
- (5) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて

2 協議事項

- (1) 大規模改修期間中の活動について

○第3回 令和4年3月15日(火)

1 報告事項

- (1) 令和3年7月～令和3年9月の観覧者数について
- (2) 特別展「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」の結果報告について
- (3) 教育普及事業について
- (4) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて
- (5) 令和3年度の各種機関との連携事業について
- (6) 長寿命化改修工事の進捗について
- (7) 令和4年度の展示活動について

2 協議事項

- (1) メディアテークにおける体験展示について

3 その他

- (1) 令和4年度の博物館協議会開催日程について

12. 利用状況

月別観覧者数

表21 令和3年度 月別観覧者数（人）

	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1,328	16	17	1,361	0	0	0	0	670	2,031
6	1,500	7	22	1,529	0	0	0	0	1,741	3,270
7	18,280	1,178	431	19,889	0	0	0	0	3,028	22,917
8	26,532	2,846	847	30,225	0	0	0	0	6,084	36,309
9	8,108	673	154	8,935	0	0	0	0	1,955	10,890
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	55,748	4,720	1,471	61,939	0	0	0	0	13,478	75,417

展示開館日数 102日

※令和3年度の臨時休館

4月1日～5月11日 地震被害および新型コロナウイルス感染拡大防止のため

6月21日～7月8日 展示替えのため

9月6日～9月13日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

10月1日～3月31日（至 令和6年3月31日予定）大規模改修工事のため

（特別展「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」は団体割引料金の設定なし）

施設利用状況 ※ギャラリー利用状況については実績なし

表22 ホール利用状況

利用団体名	日数	利用内容
博物館	27	講演会等
計	27	

講師等利用状況

表23 講師利用件数等

年度	内訳	件数(件)				計	人数(人)				計
		館内		館外			館内		館外		
		学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
令和3年度		15	3	19	23	60	570	45	1,394	1,159	3,168

表24 レファレンス等の状況(件)

年度	内訳	資料相談・ 質問対応等	マスコミ 対応	資料閲覧 対応等	写真貸出・ 利用	計
令和3年度		224	145	23※	218	610

※大規模改修工事期間中は、資料閲覧対応等不可のため、写真貸出・利用に含む。

表25【参考】 館外実施分含む博物館利用状況(人)

	人数
観覧者数	75,417
学校・各種教育機関との連携研修(参加者数)	26
情報資料センター利用者数(電話相談等を除く)	1,089
館外講師派遣(対象人数)	2,553
仙台市史講座(参加者数)	39
図書館連携講座(参加者数)	93
計	79,217

視察対応状況 実績なし

13. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日

仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設置）

第一条 歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条 別表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条 施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第

一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一 天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき

二 市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき

（使用許可の取消し等）

第六条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

一 観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき

二 使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条 博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条 博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）

第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の任命の基準は、博物館法施行規則（昭和三十年文部省令第二十四号）第十八条に規定する基準とする。

3 協議会の委員の定数は、10人とする。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委 任)

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則 (昭63、12・改正) 抄

この条例は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則 (平3、12・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 次項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平9、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。
(経過措置の原則)
- 2 次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平15、7・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平16、3・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平24、3・改正)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平28、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成28年10月1日から施行する。
(使用料に関する経過措置)
- 2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規定を適用することができる。

附 則 (平31、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。
(使用料及び利用料金に関する経過措置の原則)
- 2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。
- 3 施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

別表第一(第三条関係)

(平28、3・改正)

区 分		金額(1人につき)
常 設 展	個人利用	
	一 般	460円
	高 校 生	230円
	小学生・中学生	110円
展	団体利用	
	一 般	360円
	高 校 生	180円
	小学生・中学生	90円
特 別 展		1,700円の範囲内で教育委員会が定める額

備考

- 一 特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。
- 二 団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。
- 三 常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に1人の割合で無料とする。

別表第二（第四条、第五条関係）

（平3、12・平9、3・平28、3・平31、
3・改正）

使用区分 \ 使用時間	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:30)
ホール	5,500円	7,200円
ギャラリー	3,900円	4,800円

備考

- 一 全日（午前9時～午後4時30分）の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。
- 二 使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。
- 三 本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前、午後4時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合は、当該使用料の2分の1とする。
- 五 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 六 暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年1月24日

仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣 旨）

第一条 この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

- 一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- 二 休日の翌日（土曜日、日曜日、十月の第二月曜日の翌日又は休日に当たる日を除く。）
- 三 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで
- 四 その他教育委員会が必要と認める日

（入館者の遵守事項）

第四条 入館者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしないこと
- 三 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 四 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 五 その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条 教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

- 一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の

者

- 二 酔者
- 三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者
- 四 係員の指示に従わない者
- 五 その他管理上支障があると認められる者
(観覧券)

第六条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

- 2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。
(使用許可の手続)

第七条 条例第四条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 前項の使用申込書の受付は、使用日の3月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、6月前から行うことができる。
- 3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。
(市長が必要と認めるときの使用料の納期限)

第七条の二 条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

- 一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日
- 二 教育委員会が特別な事由があると認める場合
教育委員会が定める日

(市長が必要と認めるときの使用料の額の特例)

第七条の三 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

- 2 条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に

応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間 零
- 二 使用日の一月前の日の翌日から使用日の七日前の日までの期間 条例第五条第一項の規定による使用料（以下「従前の使用料」という。）の額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、零
- 三 使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間 従前の使用料の額
- 3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。
(使用者の遵守事項)

第八条 使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと
- 二 使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと
- 三 入場人員は収容定員を超えないこと
- 四 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること
- 五 許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 六 許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと
- 七 使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること
(観覧料等の返還)

第九条 観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

- 2 使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。
- 3 使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、

それぞれ当該各号に定める額とする。

一 第七条の三第二項第一号に掲げる期間 既納の使用料の全額

二 第七条の三第二項第二号に掲げる期間 既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（付帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、既納の使用料の全額）

4 使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。（観覧料等の減免）

第十条 観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条 条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

2 条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額と同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条 仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めたときに開催する。

2 会長は、会議を招集し、その議長となる。
3 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。
4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

（実施細目）

第十五条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭和63、2・改正）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成9、3・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。（経過措置）

2 改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成9、9・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15、9・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成15年11月16日から施行する。ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附 則（平16、3・改正）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平17、3・改正）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平27、3・改正）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

別表（第十一条関係）

（平9、3・改正）

一 付帯設備使用料

区 分	単 位	金額（1回につき）
舞台照明設備	1式	1,000円
音響設備	1式	2,100円
視聴覚設備	1式	1,000円

備考 1回とは、使用1回（使用が2日以上にわたる場合は、1日）をいう。

二 暖房し、又は冷房する場合の加算額

区 分	加算額（1時間につき）
ホー ル	500円
ギャラリー	400円

備考 暖房し、又は冷房する時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げる。

仙台市博物館資料取扱要綱

（平成29年1月12日教育長決裁）

（趣旨）

第1条 この要綱は、仙台市博物館（以下「博物館」という。）における、美術工芸品や歴史資料等の文化財（以下「文化財」という。）の購入、寄贈、寄託、貸出および借用等に関する取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱における博物館資料とは、博物館が購入、寄贈等により所蔵している文化財を指す。

2 寄託資料とは、所蔵者からの寄託の申し出を受け、博物館が展示活用等のため受託した文化財を指す。

3 借用資料とは、博物館における展示や調査研究等のため、所蔵者から一時的に借用する文化財を指す。

（博物館資料等の収集方針）

第3条 博物館資料の購入、寄贈は博物館資料の収集方針（別紙1）に沿って行うものとする。また寄託についても博物館資料の収集方針に準じて行うものとする。

（購入）

第4条 仙台市博物館長（以下「館長」という。）は資料の購入にあたり、1件につき100万円以上に相当する場合、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の審議を経るものとする。

2 1件につき100万円以上に相当しない場合でも、館長が必要と認める場合は、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の意見を聴取することができる。

3 館長は、博物館資料を購入したときは、仙台市博物館資料購入台帳および仙台市が定める備品台帳に登載するものとする。

（寄贈）

第5条 館長は、文化財を寄贈しようとする者（以下「寄贈者」という。）から、資料寄贈申込書（様式1）の提出を受け、審査するものとする。

2 館長は、文化財の寄贈を受納したときは、資料寄贈受納書（様式2）を発行し、これを仙台市博物館資料寄贈台帳に登載するものとする。

3 館長は、文化財の寄贈者に対し、感謝状等によ

り感謝の意を表することができる。

(寄託)

第6条 館長は、所蔵者から文化財の寄託の申し出があった場合は、これを受託することができる。

2 館長は、文化財を寄託しようとする者（以下「寄託者」という。）から、資料寄託申込書（様式3）の提出を受け、審査のうえ可否を決する。

3 館長は、文化財を寄託者から受領したときは、寄託者に資料受託書（様式4）を発行するとともに、仙台市博物館寄託台帳に登録するものとする。

4 寄託資料の受託期間は原則として1年度以内とし、寄託者から特に申し出がない限り、必要に応じて更新できるものとする。

5 寄託の更新手続きは年度ごとに行ない、原則として前年度末の3月末日までに寄託者に更新通知を行うものとする。

6 寄託資料の受け入れ時および返還時の輸送または修理については、寄託者の負担とする。ただし、館長が展示および保管のため緊急に輸送または修理する必要があると認めるときは、寄託者と協議のうえ、博物館の負担で行うことができる。

7 館長は、寄託資料の保管について博物館の所蔵資料と同等に扱い、その責を負う。ただし、災害その他不可抗力によって汚損、破損および亡失等があった場合はこの限りではない。

(寄託の変更等)

第7条 館長は、寄託資料の全部を返還するときは、資料受託書と引き換えに文化財を引き渡し、その際、寄託者は受領書（様式5）を館長へ提出するものとする。

2 館長は、寄託資料の一部を返還するときは、寄託者から寄託一部解除願い書（様式6）の提出を受け、新たな資料受託書を発行するものとする。

3 館長は、寄託者が相続または譲渡等により変更となり、かつ引き続き寄託を希望する場合は、新寄託者から寄託者変更届（様式7）の提出を受けるものとする。また寄託者の住所が変更となった場合も寄託者変更届の提出を受けるものとする。

4 上記1項から3項までの届出を受けた場合は、仙台市博物館寄託台帳を更新し管理するものとする。

5 寄託資料の特別利用および展覧会等への一時貸出については、それを行おうとする者が寄託者の承諾を得たうえで、必要な手続きを行わなければ

ならない。

(借用)

第8条 館長は、博物館における展示、調査研究等のため、所蔵者から一時的に文化財を借用する場合、資料借用書（様式8）を発行し、資料借用書の控えを保管する。

2 借用資料は、借用目的が達せられた場合、すみやかに資料借用書と引き換えに所蔵者に返納する。

3 借用期間は1年以内とし、借用期間を延長する場合は、あらためて資料借用書を発行するものとする。

4 所蔵者が資料借用書を紛失した場合は、借用資料の返納の際、所蔵者から受領書の提出を受けるものとする。

(博物館資料の貸出)

第9条 館長は、博物館資料の借用依頼があった場合は、審査のうえ貸し出すことができる。

2 館長は、博物館資料の貸出を承諾したときは、出品承諾書（様式9または資料の貸出に当たって承諾を受けた者（以下「借用者」という。）の定めるもの）を発行し、仙台市博物館資料貸出台帳に登録するものとする。

3 貸出資料の件数は、貸出依頼のあった展覧会等1件につき20件以内とし、貸出期間は60日以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、この限りではない。

4 館長は、資料の貸出を行うときは、借用者から借用書を受け取るものとする。

5 館長は、貸し出した資料の返還を受けるときは、資料の汚損、破損等の有無を確認し、借用書を借用者に返還するものとする。

(博物館資料の特別利用)

第10条 館長は、博物館内において博物館資料の閲覧や撮影を行おうとする者から、仙台市博物館資料特別閲覧・撮影申込書兼承認書（様式10）の提出を受け、これを承認する場合は承認書として発行するものとする。

(写真等の利用)

第11条 館長は、博物館資料の写真等（フィルム、電子データ、映像を含む）の貸出および掲載等を求める者から、仙台市博物館写真利用・減免申込書（様式11）の提出を受け、これを承認する場合は仙台市博物館写真利用・減免承認書（様式12）を発行するものとする。

2 写真の利用については別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、資料の取り扱いについて必要な事項は館長が別に定める。

附則

この要綱は、平成29年1月12日から施行する。

※仙台市博物館資料取扱要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ 制度設置要綱

(平成25年2月4日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度（以下「制度」という。）の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。
(設置目的)

第2条 仙台市博物館（以下「博物館」という。）は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

(対象)

第3条 制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

(名称)

第4条 制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」（以下「メンバー」という。）と称する。

(特典)

第5条 メンバーの特典は、次のとおりとする。

- (1) メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除
- (2) 博物館が発行する印刷物の提供
- (3) 博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力
- (4) その他博物館長が認めた事項

2 前項第1号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

(入会手続)

第6条 制度に入会を希望する大学等は、別紙様式1に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」（以下「申込書」という。）により入会手続を行うものとする。

2 博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式2に定めるメンバー証を発行するものとする。

(会費)

第7条 会費は、年会費とし、別表のとおりとする。

ただし、次条第2項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄2のとおりとする。

2 前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。

3 博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

(有効期間)

第8条 メンバーの有効期間は、原則として毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。

2 大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

(退会)

第9条 メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

2 博物館は、メンバーとして適当でないと認められる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。

3 退会した場合の会費は、原則として返還しない。

(事務)

第10条 制度の事務は博物館が行う。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年4月1日改正)

この改正は、平成31年4月1日から施行する。

別表 区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

- 1 学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。
- 2 年度中の入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

※ 仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館のあゆみ

旧 館

昭和34年 3月	博物館建設調査着手
35年 1月	学識経験者による基本構想検討
3月	博物館建設費予算計上
9月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年 6月	同工事竣工（鉄筋コンクリート2階建一部地階 総床面積883㎡）
7月	博物館条例設定
9月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行、仙台市博物館開館
38年 7～11月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積244㎡）
43年 3～11月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積879㎡）
46年12月～47年 3月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積405㎡）
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年 3月	新館建築のため休館
5月	旧博物館解体工事開始
7月	旧博物館解体工事完了

新 館

昭和57年 4月	博物館基本構想策定委員会設置
7月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
9月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年 5月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年 1月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年 7月	建築工事完了
11月	定礎式
61年 2月	展示工事完了
3月	新博物館開館
62年 9月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年 8月	新博物館入場者300万人達成
13年 6月	「慶長遣欧使節関係資料」47点 歴史資料国宝第1号指定
19年 9月	「仙台北城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21年 3月	「仙台北城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21年 9月	「仙台北城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年 3月	改修工事完了
22年 4月	リニューアルオープン
23年 3～4月	東日本大震災に伴う復旧工事（1期）
4月	開館50周年
6～7月	復旧工事（2期）
24年 1～2月	復旧工事（3期）、完全復旧
7月	開館以来の入館者数が700万人を突破
25年 6月	国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「支倉常長像」等3点がユネスコ記憶遺産に認定
26年12月～27年 2月	空気熱交換機改修工事（1期）
27年 9月～28年 2月	空気熱交換機改修工事（2期）
29年 1～3月	空調設備改修工事（1期）
30年 1～3月	空調設備改修工事（2期）
令和2年 1～3月	冷温水循環ポンプ改修工事・受変電設備更新工事
3年 3月	大規模改修工事（長寿命化・展示リニューアル）設計完了
10月	大規模改修工事（長寿命化・展示リニューアル）着工

仙台市博物館年報

第49号 令和3年度

編集・発行 仙台市博物館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉
Tel.022(225)2557/0814

印刷 株式会社 孔栄社
仙台市青葉区立町16-13
Tel.022(262)4545

令和4年7月15日発行
©Sendai City Museum 2022

再生紙を使用しています